

11. 景気の先行きに対する判断理由

景気の先行きに対する判断の理由について、その主だったもの及び特徴的と考えられるものを取りまとめると以下のとおりであった。

1. 北海道（地域別調査機関：株式会社北海道二十一世紀総合研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連 (北海道)		百貨店（役員）	・緊急事態宣言が解除されたこと、ワクチン接種が徐々に進んでいくことから、今後については緩やかに景気が回復することになる。
		コンビニ（エリア担当）	・東京オリンピックが開催されること、ワクチン接種が進むことから、今後の景気は良くなる。
		観光名所（従業員）	・ワクチン接種のスピードが加速していることから、日常の余暇活動が上向きになることが期待できる。現時点でも、ワクチン接種が終わったから遊びに来たという観光客の声を聞いている。
		商店街（代表者）	・今後、まん延防止等重点措置が解除され、財政出動や消費税減税などの対策が行われることになれば、景気は一気に回復することになる。
		商店街（代表者）	・政府が65歳以上の高齢者のワクチン接種完了時期を7月末としていることから、2～3か月後には他市及び道外客からの観光客が増加することになる。そのため、交通、宿泊、飲食、土産品などの売上が伸びると期待している。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	・ワクチン接種が進み始めているため、今後の景気はやや良くなる。東日本大震災のときに被災者の行動が諸外国から絶賛されたように、今回の首相からのお願いにしたがって感染者数を減少させることができたのであれば、諸外国に日本人の見事さを示す良いチャンスであったと思うと残念な面もある。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	・少しずつだがワクチン接種が進んでいることが安心感につながり、近場での旅行や飲食から、飛行機を利用したちょっとした遠出の旅行というふうになり、徐々に人の移動が活発になることを期待している。このため、ワクチン接種のスピードと感染状況次第ではあるが、2～3か月後の景気はやや良くなる。メンタルが明るくなるのが何よりの希望であり、これ以上新型コロナウイルスが長引かないことを願っている。
		一般小売店〔酒〕（経営者）	・ワクチン接種が進んでいることで、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発出されるケースが少なくなると期待できるため、先行きは明るくなる。
		百貨店（売場主任）	・新型コロナウイルスの感染者数が現状のまま推移すれば、買物しようという消費者心理が高まってくることが期待できるため、今後の景気はやや良くなる。
		百貨店（販売促進担当）	・このまま感染者数の減少傾向が続けば、夏物商材の動きが活発になり、景気が上向くことになる。
		百貨店（営業販促担当）	・2～3か月後には65歳以上のワクチン接種がほぼ終わっていると見込まれる。それ以外の年代についても、職域接種や集団接種が進むとみられるため、今後については徐々に客足が回復することになる。
		スーパー（店長）	・ワクチン接種と東京オリンピックの開催により、現在のネガティブな傾向が若干改善されることになる。
		スーパー（店長）	・1か月以上に渡る緊急事態宣言が解除され、ワクチン接種も徐々に進んでいることから、外出する人が増えてくると期待している。ただし、テレワークの推進や海外旅行の自粛などの動きはそう簡単には変わらないと考えられるため、前々年の水準に回復するまでにはまだ時間が掛かる。
		スーパー（企画担当）	・ワクチン接種が進むことで、夏季行楽に向けて人流が増加することが期待できるため、観光を中心に好影響が生じることになる。
	スーパー（役員）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進むにつれて、人の動きが通常時に戻ってくることが期待できる。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		コンビニ（エリア担当）	・週末に外出する人が増えてきていること、新型コロナウイルスのワクチン接種が進んでいること、感染状況が落ち着き出していることなどから、前年よりも夏休みの行動範囲が拡大するとみられる。そのため、客の動きも上向いてくると期待している。
		コンビニ（エリア担当）	・飲食店などでの酒類の提供時間に関する制限はまだあるが、酒類の販売に関する制限がなくなったことから、今後の景気は徐々に回復することになる。
		家電量販店（経営者）	・ワクチン接種の広がりにより、消費者の安心感が醸成されることで、来客数が増加することを期待している。また、東京オリンピック開催によりテレビを中心に販売量の増加も期待できる。
		家電量販店（店員）	・今後については、東京オリンピックの開催需要やエアコン需要が期待できることから、景気はやや良くなる。
		乗用車販売店（経営者）	・今後については、新型車の発表が続くこと、ワクチン接種が進むにつれて夏の観光を始めとした人の行動の活性化が見込まれることなどから、経済の活性化と併せて販売量の増加が期待できる。
		乗用車販売店（従業員）	・緊急事態宣言が解除されたことで、今後、新車購入のための来場者数が増えてくると期待している。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（経営者）	・新型コロナウイルス感染者数の減少に伴って、販売量が増加することを期待できる。
		高級レストラン（スタッフ）	・今後の景気について、大きく弾けるほど回復することはないとみているが、客の話から景気が回復しつつあることが感じられる。
		旅行代理店（従業員）	・北海道のまん延防止等重点措置が解除されることで、夏場の観光客が大きく回復することが見込まれる。特に、当地は関西との間でＬＣＣの新規就航が予定されていることから、個人型観光の復活に向けて地元の期待も高くなっている。
		タクシー運転手	・人出が増加傾向にある。特に夜間の若い年代の人出が目立っている。今後、中高年の姿も微増してくるとみられ、それに伴って景気はやや良くなることを期待している。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスの感染状況次第の面もあるが、今後、ワクチン接種率が上がってくことで、景気が飛躍的に回復することを期待している。
		タクシー運転手	・緊急事態宣言の解除に伴って景気が回復傾向にあることから、今後の景気はやや良くなる。ワクチン接種が高齢者から徐々に進んできていることもプラスである。ただ、東京オリンピック開催の影響でリバウンドが生じることを懸念している。
		通信会社（企画担当）	・新型コロナウイルスの感染状況が今よりも落ち着いていることが前提であるが、東京オリンピックのポジティブなイメージによる宣伝効果を期待している。
		美容室（経営者）	・緊急事態宣言が解除されてから通常の売上に戻っているため、今後の来客数及び売上は増加すると期待している。
		その他サービスの動向を把握できる者〔フェリー〕（従業員）	・新型コロナウイルスの感染状況次第ではあるが、今後、旅行需要が増えることで輸送量も確実に増加することになる。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの影響がどのように表れているかは分からないが、景気は回復傾向にある。ただ、東京オリンピック開催に伴って外国人選手や関係者が来日することになるため、今後、どのような影響が生じるか分からない。
		スーパー（企画担当）	・緊急事態宣言が発出又は解除されるたびに客の消費動向に影響が生じている。また、ワクチン接種の進行状況によっても影響を受けていることから、現時点では先行きの見通しが立たない。
		衣料品専門店（店長）	・新型コロナウイルスのニュースが続く限り、売上が増えることはないと確信している。
		乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルスの収束に伴って、景気も徐々に良くなることを期待している。
		乗用車販売店（従業員）	・7～9月に掛けて新型車両の投入が予定されているが、生産に遅れが出ていることから、売上は余り伸びないとみられる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		自動車備品販売店(店長)	・新型コロナウイルスの感染対策が進み、消費者が安心して行動できるようになれば、景気は上向きになる。
		その他専門店[医薬品](経営者)	・新型コロナウイルスのワクチン接種の遅れが、景気回復の遅れと連動している。景気回復の遅れは他国よりも深刻な状況にある。
		その他専門店[造花](店長)	・新型コロナウイルスの終息がみえないことから、今後も景気は変わらない。
		観光型ホテル(スタッフ)	・東京オリンピックを始めとする各種イベントの催行情報が極めて不確定であり、行政の旅行需要喚起策も凍結状態であることから、今後も景気は変わらない。
		旅行代理店(従業員)	・ワクチン接種率が上がったとしても、東京オリンピック終了後や夏季休業後に感染者数が再び増加するようになるとなれば、今と同じような状況となる。感染者がいる限り、客の不安はなくならないため、今後の旅行需要は見込めない。
		旅行代理店(従業員)	・ワクチン接種の進展はプラスであるが、東京オリンピック後に国内の感染状況が悪化することが見込まれるため、プラスマイナスゼロで景気は変わらない。
		旅行代理店(従業員)	・ワクチン接種率がそれほど上向いてこないことが見込まれるため、今後の景気は変わらない。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスの感染者数が減少傾向にあり、まん延防止等重点措置も7月11日で解除されるようだが、人の動きはすぐには戻らない。5～6月よりは人の動きが増えてくると見込まれるが、夜の人出が戻ってこない限り、売上の厳しい状況は続く。
		観光名所(職員)	・緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置の発出により、引き続き低調に推移している。今後も客の外出意欲や消費動向が急激に上向くことはないと思込まれるため、まずはワクチン接種がいち早く進むことを期待している。
		美容室(経営者)	・今のところ身の回りの景気に変化するような要因はないため、今後も景気は変わらない。
		住宅販売会社(経営者)	・ワクチン接種が進んでいるものの、いまだに感染者数が収まっていない状況にある。また、東京オリンピックを開催することで開催後に感染者数がどうなるかも心配である。ウッドショックが収まっていないこともマイナスである。これらのことから、先行きは不透明であり、今後についても厳しい状況が続く。
		商店街(代表者)	・ワクチン接種が徐々に進んでいるが、まだ一般的なものとはなっていない。一方、北海道の観光産業は、今が最も良いシーズンであり、これを逃すとまた閑散期に入ってしまう。前年もGo To Travelキャンペーンが始まったのが閑散期に向かう時期でほとんど恩恵がなかったことから、北海道の季節変動を考慮した救済策がない限り、今後の景気はやや悪くなる。
		商店街(代表者)	・9月は青果物の端境期に当たるため、景気はやや悪くなる。
		スーパー(店長)	・新型コロナウイルスの影響が出てくるのが懸念されるため、今後の景気はやや悪くなる。
		スーパー(従業員)	・新型コロナウイルスのワクチン接種の遅れもあり、飲食、観光などの業種回復が見通せない状況にある。
		コンビニ(エリア担当)	・東京オリンピック終了後の株価の状況にもよるが、収入が変わらない又はやや減っている客が多いことから、今後、感染状況が再び悪くなると景気は下向きになる。
		高級レストラン(経営者)	・ワクチン接種率が上がってきているため、景気が上向くことを期待していたが、東京オリンピックの開催によって変異株がまん延することを懸念している。また、お盆の帰省客が増えることで感染者数が増えることも心配である。今後の感染者数は恐らく増えていくとみられるため、2～3か月後の景気が上向いているとは考えにくい。ただ、もし感染者数を抑えることができれば、景気は少しずつ上向いていくことになる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		高級レストラン（スタッフ）	・東京オリンピックでのマラソン開催が北海道にどのような影響を与えるかが不明確である。これまでの傾向から、感染者数が減少すると人出が増えることになるが、ワクチン接種しても感染を心配するような高齢の客層はワクチン接種後も外食をなかなか再開できないとみられるため、当分は高単価メニューを提供しにくい環境が続くことになる。ひとまず当店では感染対策を継続していきたいと考えている。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスによる感染はまだ続くと思われることから、今後の景気はやや悪くなる。客の動きが全くみられない現状から、このまま年を越すことになるのではと心配している。大変厳しい状況になるかもしれない。
		住宅販売会社（経営者）	・今後2～3か月の間に東京オリンピックと総選挙が予定されており、その2つのイベントの結果次第でその後の景気が左右されることになる。オリンピック後の景気は往々にして下降気味となるため、総選挙における各党の公約は、新型コロナウイルス対策もあって、景気対策に重点を置くとみられるが、本質的な所得の底上げにはつながらないことが懸念される。
	×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの感染再拡大が懸念されるため、今後の景気はやや悪くなる。
	×	高級レストラン（スタッフ）	・東京オリンピック開催に向けて、緊急事態宣言が解除され、道内の感染者数は減少しているが、首都圏の感染者数は早くも増加傾向に転じている。変異株が確認されていることもあり、ワクチン接種率が上がらない限り、東京オリンピック期間中に再び感染が拡大することが懸念される。このため、今後しばらくは波のある状況が続き、景気も悪化することになる。
	×	スナック（経営者）	・休業しているため、今後も景気は悪いまま推移する。ただ、7月11日でもん延防止等重点措置が解除されることになれば、少しは良くなるかもしれない。
	×	観光型ホテル（経営者）	・首都圏の感染状況が改善せず、ワクチンの接種スピードも思ったほど上がってこないため、回復の兆しが全くみられない。確実に前年よりも財務内容が悪化しており、十分な支援もないことから、座して死を待つのみという心境である。
	×	タクシー運転手	・これまでの傾向から、緊急事態宣言の解除によって人出は増えると思われるが、その最中に再び感染の波が生じることが懸念される。そのため、住民の防衛意識や行動自粛が一層強くなり、消費行動は落ち込むことになる。
	×	美容室（経営者）	・ワクチンの効果次第の面があるが、東京オリンピックの開催によって感染力の強い新たな変異株がまん延することを懸念している。
企業 動向 関連 (北海道)		建設業（経営者）	・今後、工事については、官民、土木、建築のいずれも受注が進み、稼働率もかなり上がると見込まれるため、景気はやや良くなる。ただ、街中の景気は飲食、観光、交通関係の落ち込みが大きく、景気の悪い状況が続くことになる。
		輸送業（支店長）	・今後については、新型コロナウイルスのワクチン接種を終える人が増加することで、経済活動も活発化することが見込まれる。
		通信業（営業担当）	・ワクチン接種が進むことで、経済活動再開への期待が高まり、多くの消費行動につながるが見込まれるため、この先の景況感は上向きになる。
		金融業（従業員）	・緊急事態宣言の解除に伴って道内経済活動の制約緩和や、ワクチン接種の進展による景気押し上げが今後期待できる。このため、3か月後の道内景気はやや良くなる。
		コピーサービス業（従業員）	・前年は新型コロナウイルスの影響で業績が非常に厳しかったため、今後の景気は上向きになる。
		その他サービス業〔建設機械レンタル〕（総務担当）	・公共工事、農業土木を中心とした建設投資について、計画、発注が活発になっていることから、今後の景気はやや良くなる。
		その他サービス業〔建設機械リース〕（支店長）	・ワクチンの効果で人の動きが回復することを期待している。東京オリンピック開催の効果もあり、現状よりは良い方向で進むことになる。
		食料品製造業（従業員）	・販売量が上向きとなるような案件が見当たらないことから、今後も景気は変わらない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		家具製造業（経営者）	・緊急事態宣言の解除によって経済が動き出すとみられる一方で、東京オリンピック開催によって経済の動きが停滞しそうなことから、全体的には景気は変わらないまま推移する。
		建設業（従業員）	・東京オリンピック開催により新型コロナウイルスの再度の感染拡大が懸念される。緊急事態宣言が再び発出されることも見込まれるため、今後の経済活動は縮小したまま推移する。
		司法書士	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、地方においても接種できるようになってきたが、東京オリンピックの強行や感染者数の増加による緊急事態宣言の再発出、感染力の強い変異株の登場など、プラスの要素よりも不安要素が勝っている状況にあるため、今後しばらくは景気に変化がみられないまま推移する。
		その他非製造業〔鋼材卸売〕（従業員）	・景気が回復に転じる時期は秋頃になるとみられるため、もうしばらくは現状維持で推移することになる。
		食料品製造業（従業員）	・いまだに販売量が回復する見込みが立たないため、今後も景気は変わらない。
		建設業（役員）	・年度後半に向けた新規受注が決まらず、今後に向けての懸念が大きくなりつつある。新型コロナウイルスの感染抑制とワクチン接種の進展が目に見える形で表れない限り、設備投資需要は回復しないとみられ、限られた案件を取り合う低価格受注競争から脱することができない。
		司法書士	・新型コロナウイルスのワクチン接種状況や変異株の感染状況によって経済活動も大きく変化することになる。東京オリンピック開催の影響によっては、緊急事態宣言、まん延防止等重点措置の発出など、不安定な状況が続くことも懸念されるため、年内の景気回復は難しいと考えられる。
		その他サービス業〔ソフトウェア開発〕（経営者）	・予定されていた案件について、中断や延期となるものが出てきていることから、今後の景気はやや悪くなる。
		x	金属製品製造業（従業員）
雇用 関連 (北海道)		-	-
		求人情報誌製作会社（編集者）	・高齢者のワクチン接種が予定どおり7月末で終わることになれば、病床のひっ迫もなくなり、飲食店への規制もなくなるとみられる。飲食、宿泊に活気が戻るのは間近とみられるため、今後の景気はやや良くなる。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・ワクチン接種が進むなか、東京オリンピックの開催、7月の4連休、8月の札幌でのマラソン開催などが控えており、それに向けて準備を進めている客もみられる。景気の先行きについて読みづらい状況が続いているが、好影響が生じる可能性が高まってきている。
		学校〔大学〕（就職担当）	・今後については、新型コロナウイルスのワクチン接種率がかなりの高さになることが見込まれることから、再度の緊急事態宣言の発出がなければ、道内景気も観光業を除けばそれなりの回復が期待できる。
		人材派遣会社（社員）	・コロナ禍の現状では、先行きを見通しづらい。ただ、企業の雰囲気は1年前とは違い、明るい兆しがみられるようになっている。観光業や飲食サービスはいまだにどん底を抜け出すことができていないが、ほかのサービス業は底を打った局面に入ったように見える。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・繁忙期を控えて、働き手の絶対数が不足しており、人材確保に向けて求人件数も徐々に増えてくるとみられる。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・今後、東京オリンピックが開催されるなかで、経済活動と感染者数のバランスの取り方次第で景気は変わってくる。ワクチン接種がどの程度進んでいるかによっても景気は変わってくるようになる。
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスのワクチン接種も大分進みつつあるが、当地区における進捗は余り良くないと聞いているため、2～3か月後も景気はそれほど変わらない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		職業安定所（職員）	・当地における新規求人数は前年から1.4%増加し、新規求職者数は前年から0.8%増加している。5月の有効求人倍率は0.82倍となっており、当面は同じような水準で推移するとみられる。一方、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で需要が低迷する一部の業種において不安定な動きが継続しており、なお予断を許さない状況にある。
		職業安定所（職員）	・管内の新型コロナウイルス感染者数は多くないものの、雇用調整助成金の相談が増えてきているなど、依然として新型コロナウイルスの影響が続いているため、今後も景気は変わらない。
		*	*
	x	-	-

2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連 (東北)		一般レストラン（経営者）	・今月よりも客が来ないという状況は想像しにくいというが、その時点で経営がストップということになってしまう。ワクチン接種が進んで、今よりは多少客が戻ってくるのではないかと期待している。
		商店街（代表者）	・ワクチン接種者の拡大に期待している。
		百貨店（売場主任）	・今年に入り今月が最も低迷している状況である。ワクチン接種が高齢者以外にも進めば景気も上向くと考える。
		百貨店（営業担当）	・ワクチン接種が高齢者を中心に完了するか、若しくは1回目の接種を終えた状況になれば、安心感が強まり外出機会が増加することが想定される。
		百貨店（経営者）	・ワクチン接種が進むにつれて来客数はある程度は回復していくと推測されるが、購買に結び付くかは、衣食住各領域で起きている消費者の価値観の変化に対応できるアフターコロナの品ぞろえ次第だとみている。
		スーパー（経営者）	・7月は東京オリンピックが始まるので、家庭内でのテレビ観戦は確実に増える。家族や友人等との観戦消費の需要が大きく増えることを期待している。ワクチン接種者数の増加と変異株感染拡大がないことを祈りつつ、厳しい消費環境のなかでも、家庭内消費の掘り起こしをしっかりと進めていくことにしたい。
		スーパー（経営者）	・現在も来客数が少しずつ増加しており、今後もワクチン接種が進行するとともに買物頻度も上がるとみている。また、東京オリンピックの盛り上がりとともに景気も回復するとみている。
		コンビニ（経営者）	・客単価や購入点数は堅調に推移しているので、後は新型コロナウイルスの感染状況次第だが、各種規制も解除され徐々に落ち着いてくれば夜間の回復が期待できるので、徐々に良くなるのではないかとみている。
		コンビニ（経営者）	・2～3か月後にはワクチンも行き渡り、新型コロナウイルスもある程度収まって人の動きが出てくると、客も少し戻ってくるのではないかと期待している。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種の拡大により、人の動きがより活発になると推測される。
		コンビニ（経営者）	・ワクチン接種が進むと人の動きが良くなるとみているので、期待している。
		コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進めば、週末の人出が回復し、来客数の増加が見込める。
		コンビニ（エリア担当）	・盛夏に向け、東京オリンピックを含めイベント需要が高くなると見込んでいる。
		コンビニ（エリア担当）	・ワクチン接種が高齢者から消費者の中心である若い世代に変わっていけば景気の回復が見込める。変異株の影響がどの程度か分からないが、消費が上向くことは予測できる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		コンビニ（店長）	・7～8月は東京オリンピックがあるので、購買意欲も上がり、人が集まる機会や人流が増えていき、今後2～3か月は今よりも多少良くなるとみている。しかし、個別にみれば、シフトが減っている人や仕事がなかなか見つからない人などが徐々に増えているので、収入が下がっている人も多くなっている。また、定年退職する人も加速度的に増えてきているので、半年先、1年先は余り期待できない。
		衣料品専門店（経営者）	・ワクチン接種も進み、今までの我慢が少しずつ緩み、外出できるようになって、秋物の立ち上がりに盛り上がりが出てくることを期待している。
		衣料品専門店（経営者）	・ワクチン接種が予定どおり行われれば、徐々に景気回復していくと予測する。
		衣料品専門店（店長）	・現状でも来店客から予防接種が終わったから少し動きが活発化しているという声を聞いている。客の声からも、どんどん接種が終わってくれば経済は動き出すのではないかと期待している。
		衣料品専門店（店長）	・ワクチンの職域接種が進みだしてきたこと、東京オリンピック開催など、久しぶりに明るい話題が出てきたことで、徐々にマインドが前向きになり、消費に金を使う方も増えることが考えられる。
		家電量販店（店長）	・新型コロナウイルスの終息も徐々にみえてきており、来年に向けて通常に戻ってくるとみている。家電商品の場合、買換え需要が根強くあるので、単価の上昇が鍵となる。人口の減少もあり、来客数は前年よりも下がっていくとみているが、客の購買意欲も旺盛のようであり、現状同様客単価アップを期待している。
		家電量販店（従業員）	・東京オリンピックに対する需要が増すことが予想され、売上向上が期待できる。
		乗用車販売店（従業員）	・半導体不足の影響が少しずつなくなってきて、納期も間に合うようになってきているので、販売量が少しずつ伸びるのではないかとみている。
		乗用車販売店（従業員）	・半導体不足による車両や一部用品の生産調整で、納期遅れや発注後のメーカーからの生産カットが原因でキャンセルが発生しており、現時点ではまだ少し不安もある。しかし、該当しない車種等の納期が早まるなど、ばん回の兆しも見えてきている。
		自動車備品販売店（経営者）	・当市においては県内他地域に先駆けて実施された大規模施設での新型コロナウイルスのワクチン集団接種が順調に進んでいることもあり、他地域に比べて飲食業を中心に活気が出ることを予想される。
		その他専門店 [ガソリンスタンド]（営業担当）	・コロナ禍とはいえ、東京オリンピックの開催により人々の流れも増えていくと予想される。
		その他小売 [ショッピングセンター]（統括）	・様々な制約があるものの、東京オリンピック・パラリンピックの開催など、今後、経済活性化への追い風が吹くものと考えられる。
		観光型ホテル（スタッフ）	・東京オリンピック・パラリンピックが終了した後は活気があるとみている。
		観光型ホテル（スタッフ）	・ワクチン接種が進み、旅行意欲が高くなるとみている。
		観光型旅館（経営者）	・東京オリンピック開催が凶と出るか吉と出るか不安要素もあるが、ワクチン接種も進んできていることや自粛疲れもあり、現在よりは動きが出てくると考える。
		観光型旅館（スタッフ）	・全国的にワクチン接種が進んでいる。米国の報道映像により、ワクチンを接種したことで自粛が解禁になったような印象が展開されているので、日本でもそのような状況になるとみている。
		旅行代理店（従業員）	・ワクチン接種が順調に進み、新型コロナウイルス感染者数が大きく減った場合は良くなるとみられる。
		旅行代理店（従業員）	・ワクチン接種の加速や夏休みの外出気運上昇、国や各県行政による旅行助成キャンペーン等の進行により、現在を底として、回復基調に必ず転じると確信している。
		テーマパーク（職員）	・ワクチン接種も進んでいるので、行楽需要が増えるのではないかとみている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		観光名所（職員）	・身の回りの接種状況も大分進んでいるが、2回目が終わって2週間が過ぎたから動き出したという来店客が増えている。予約数も少しずつだが徐々に増え続けている。今の状況よりは良くなるのではないかと期待している。
		美容室（経営者）	・政府の見解だと7月中には65歳以上は全員がワクチンを打ち終わり、次の段階に入ってくるということである。若者世代が打ち始めてくると客も戻ってくるのではないかと期待している。やはり、ワクチンの接種割合と売上は関連している。
		設計事務所（経営者）	・ワクチンの接種が進み、明るい話題が増えてきたような感じがある。
		その他住宅〔住宅展示場運営会社〕（従業員）	・9月末までは、来場は少ないが質の高い客が多い現在の状況が続くことを予想している。
		一般小売店〔書籍〕（経営者）	・ワクチンの接種率が上がらないため、大型のショッピングセンターへの隣県からの客が非常に少なくなっており、それが当社全体の足を引っ張っている。ただ、楽器は相変わらず高級材が動いている傾向にある。しかし、全体的には厳しい。
		一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・7月末の東京オリンピック、8月のパラリンピックが話題になっているが、ワクチン接種もままならず、安全安心の状況には程遠いので、現在の悪い状態は変わらないとみている。
		一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・来客数は多少の増減はあるが、今のところは前年の8割程度でいくとみている。ワクチン接種も進んできているので、客も徐々に戻ってくると予想している。
		一般小売店〔酒〕（経営者）	・65歳以下の市民にもワクチン接種券が郵送されており、今後のワクチン接種に期待はしたいが、どこまで消費者が飲食を伴った外出に対して意欲的になるのかまだ分からない。
		一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・一部地域での緊急事態宣言の影響が、当地域での人出の減少にもつながっている。しかし、ワクチン接種が進むにつれて、新規感染者数も落ち着いてきており、自由な往来が回復したら売上も回復しそうだ。
		一般小売店〔寝具〕（経営者）	・この地域は新型コロナウイルス感染者数が大幅に減少しているため、それに反応して売上の減少もストップするとみている。しかし、寝具業界が盛り返すことは考えられない。
		百貨店（買付担当）	・高齢者以外のワクチン接種の見通しがついておらず、回復要因が見当たらない。しばらくは当月のような状況が続くとみられる。
		スーパー（店長）	・相変わらず来客数の減少、客単価の減少が続いている。この状況はまだまだ続きそうである。
		スーパー（店長）	・節約志向が高まる生活消費傾向へ向かうのではないかと推測している。
		スーパー（企画担当）	・コロナ禍で今も肉食需要が続いている。2～3か月先までは今の状態は変わらないとみている。
		スーパー（営業担当）	・新型コロナウイルス感染者の状況に連動するが、現状からの変化は読めず、横ばいと判断する。
		コンビニ（経営者）	・ワクチン接種が進んでくれば、外出する人が増えるのだろうか。変異株が続々と出てきているので、先行き不透明である。
		衣料品専門店（経営者）	・ワクチン接種を早急に実行し人出を増やさなければ、お中元商戦も期待薄である。夏祭りや行事も全て中止で、祭り用品の売上はゼロの状態である。
		衣料品専門店（店長）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が完了し、日本全体の感染者数が減少しない限り、景気は回復しない。
		衣料品専門店（総務担当）	・前年比でみても改善がなく、新型コロナウイルスにより先が見えない。
		家電量販店（店長）	・新型コロナウイルスの感染が収束に向かい、外での消費が増えることが予想される。
		乗用車販売店（従業員）	・生産調整等もあり、3か月先も現状維持が続くとみている。ここ数か月で解消されることは考えられない。
		乗用車販売店（店長）	・新型車効果もあり商談数は増えてきている。しかし、半導体欠品の影響が大きく、新車を受注しても納入まで2か月から半年待ちが続いている。注文数が売上に直結せず、苦しい台所事情である。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		住関連専門店（経営者）	・受注生産なのである程度月々の受注量がみえているため、現在とさほど変わらないとみている。ただ、ウッドショックにより、今後の営業活動にどういった要素が入ってくるか、価格転嫁ができるかどうか、どのくらい原材料費等がアップするかはまだまだ分からない。
		その他専門店〔靴〕（従業員）	・新型コロナウイルスのワクチン接種の効果や東京オリンピックによる人流の影響で変わってくる。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・ワクチン接種が進み、経済活動の回復を期待するものの、生活基盤の変化が進み、今後も現状のまま進むものとみている。
		高級レストラン（スタッフ）	・東京などの大都市からの旅行や出張需要が伸びてくる見通しが立たない。
		高級レストラン（支配人）	・飲食店用のGo To Eatキャンペーンのチケット期限が6月30日であり、以降キャンペーンによる来客がなくなることがマイナス要因である。宿泊は市が行っている県民対象の割引を使った単価の低い利用が目立っているため、朝食の売上は前年の1.5倍くらいにはなっている。しかし、昼夜の一般の利用は減っている。
		一般レストラン（経営者）	・ワクチンが行き届いて、企業などが出張や会食などを行える状態にならない限りは、当分の間は低迷状態が続くとみている。
		旅行代理店（従業員）	・新型コロナウイルスワクチンの2回目接種の進捗具合による。状況が変わることを期待したいが、東京オリンピック・パラリンピックが終了し、また、新型コロナウイルスのワクチンの2回目接種が完了してからでないと旅行に出掛けるのは厳しいという客の声が多いことから、観光業界における今後2～3か月の景気は現状と変わらない。
		タクシー運転手	・東京オリンピックが開催の方向に動いているが、国内もまだ抑え切れていないのに、東京オリンピック関係者等の来日により新型コロナウイルスの感染が拡散されることが懸念される。
		タクシー運転手	・ワクチン接種が進んでいるが、慎重に行動をしている人が多い現在の状況から考えると、3か月後においてもワクチン接種は完了していないことから、コロナ禍前のように外出する人は少なく、現状維持とみている。
		通信会社（営業担当）	・好転する材料に乏しく、良くない状況が続くとみている。
		通信会社（営業担当）	・当面、新型コロナウイルスの終息は見込めず、相変わらず活動ができないとみている。
		遊園地（経営者）	・ワクチン接種の進展に期待しているが、新型コロナウイルスの全国的な推移、東京オリンピック後の状況など不透明である。
		競艇場（職員）	・今はイベントや無料送迎バスの運行を行っていないので、新規客を獲得できない。
		美容室（経営者）	・固定客が決まっているので来客の増加は見込めない。
		住宅販売会社（経営者）	・全体としては前年以上の受注が見込めるが、骨材販売の部門は極端に減少している。
		商店街（代表者）	・夏祭りやイベントの中止が続々と発表となるなかで、新型コロナウイルス感染も終息が見えず、東京オリンピックも盛り上がり欠けており、先行き不透明である。
		商店街（代表者）	・まだまだ民間の行事は再開されない上、規制があったり縮小されたりしている。
		スーパー（店長）	・3月までは前年の売上を達成していたが、4月以降は右肩下がりの状況である。
		スーパー（営業担当）	・天候不順により、県内生産物が不作の影響は秋まで続くと思われる、県内経済環境や消費についても緊縮が高まるのではないかと懸念している。
		コンビニ（店長）	・東京オリンピック開催に向けて盛り上がりはあるが、新型コロナウイルスの感染拡大が懸念される。ワクチン接種を希望しない人の比率が高く、不安要素が多い。
		住関連専門店（経営者）	・東京オリンピック後に感染者が急増して、更なる規制が出るのが予想されるので、年内一杯くらいは商売も我慢の時期が続くとみている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他専門店〔白衣・ユニフォーム〕（営業担当）	・東京オリンピック景気を見込んでいたのだが、ニュース報道をみると経済的な起爆剤にはなり得ないようである。感染対策といえばそうだが、余りにも長い期間の自粛は逆のエネルギーとなって噴出するのではないか。つまりは抑えきれなくなった人々の人流で感染者がまたしても増えて更に締め付けが厳しくなり、企業と人は疲弊してくるのではないかと予想する。
		高級レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスに尽きる。東京オリンピックその他全てにおいて、まん延すればどんどん景気は悪くなる。読めない部分が多いのでとても怖い。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスの終息が見えておらず、人々の気持ちも上向きではない。まだまだ先が見通せない状況である。
		通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの終息が不透明な状況に加え、海外需要と国内生産の純化、東京オリンピック需要がないことにより、更に消費動向が下降することを予測している。
		通信会社（営業担当）	・ワクチン接種率が上がり収束に向かうまでは、景気の向上は厳しい。
		通信会社（営業担当）	・ワクチン接種が進むことによって、今後外出する機会が一気に増えてくる。このため、一旦映像サービスや通信環境への加入契約はストップし、これまで控えていた飲食等への出費が増えることが予想される。新型コロナウイルスの感染が収束すれば、通信環境の再構築など法人、個人需要が復活すると期待している。
		その他住宅〔リフォーム〕（従業員）	・住宅設備機器は半導体部品を使用する商品の手配が難しくなることから、エアコンの工事遅れが出てくることが予想される。リフォームは家計の負担が大きくなる工事は先延ばしされるとみている。
	×	商店街（代表者）	・現在も来客が完全に止まっている状態で、消費の低迷がかなり鮮明になっている。2～3か月先には東京オリンピックが終わるので、リバウンドが出てきて停滞するのではないかとみている。
	×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種率がまだ上がっていない。
	×	スーパー（経営者）	・ワクチン接種が始まり、高齢者の人流は増加するとみているが、64歳以下の人たちにはまだまだ行き渡らないため、集団免疫ができないとなれば外出を控えるような動きが続く。
	×	コンビニ（経営者）	・夏の最盛期であり、例年であれば祭りやイベントで売上が伸びるのだが、大きな祭りが全て中止になったのでかなり厳しい。夏に移ぎ冬をしのいできた雪国のコンビニにとって、開店以来の危機となっている。冬を越せるのだろうか。
	×	その他専門店〔酒〕（経営者）	・東京オリンピック等で新型コロナウイルス感染者数が多くなることにより、厳しい状況は長期化する可能性が高い。ワクチンの接種が進んでも、長らく影響が続くと考えている。
	×	その他専門店〔食品〕（経営者）	・東京オリンピック後、新型コロナウイルスのワクチン接種が進んでいるとはいえ、感染者数が増加すると推察すると、消費が上向き要素は見当たらない。早ければ11月以降の年末商戦から少しずつ回復するのではないかとみている。
	×	一般レストラン（経営者）	・和食の店だが、会社関係の宴会がまだ全く動いていない。ワクチン接種の進捗状況次第だが、今年一杯くらいは難しいのではないかとみている。
	×	一般レストラン（経営者）	・ワクチン接種が完了している世代の人はお昼の会食に来店する機会が増えたが、その他の世代は特に夜の部の会食は皆無である。感染してしまうという部分で迷惑を掛けてしまうという思いがあるようである。全世代が接種完了しないと飲食業には春は訪れない。観光地でもあり繁華街でもある当エリアでは当分は厳しい環境が続く。
	×	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・中小零細の取引先を中心に売上不振による業績の悪化が深刻であり、前年ほどの助成金の支援策もなく、疲弊している。
企業動向関連		-	-
		食料品製造業（営業担当）	・ワクチンの効果が出て旅行者等が来るようになれば、回復するとみているものの、まだ感染者数が微増している状況を見ると油断はできない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
(東北)		出版・印刷・同関連産業（経営者）	・ワクチン接種の順調な進捗や、東京オリンピック・パラリンピック開催により、若干の経済効果は現れるものと期待している。停滞した経済が少し動き出すものとみている。
		金属製品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種率が上がることも手伝って、人や物の動きが活発になると考えられる。
		建設業（企画担当）	・半導体関連産業の受注がみえてきていることと、ワクチン接種の広がりによって、先行きは好感度であるように見受けられる。
		金融業（広報担当）	・夏祭りは2年連続中止となったが、ワクチン接種の進展により人の流れや経済の流れが徐々に回復してくるものと期待する。電子部品など一部製造業の受注が好調推移予想される等、元気が回復しつつある業種が増えてきた。
		広告業協会（役員）	・東京オリンピックが終了して、高揚感が持続し、ワクチン接種が順調に進むのであれば、活発な企業活動やGo Toキャンペーンの復活が期待できるが、感染者数の動向に左右される状態に変わりはない。
		広告代理店（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進めば、出張や旅行等が増えて土産品も売れることが期待できる。
		経営コンサルタント	・ワクチン接種の効果か、感染率は低下傾向が続いており、やや明るい兆しが見えてきている。
		公認会計士	・東京オリンピック開催による人の流れの増加、高齢者のワクチン接種による外出機会の増加などにより、サービス業、小売業、飲食業などでは今よりは業績回復する企業が増えるとみている。建設業、製造業などは大きな変化はないので、全体としての景気はやや良くなると予想している。
		その他非製造業〔食料品卸売業〕（経営者）	・売上は前年比107%と良くなっているが、売れている商品に高価格商品は全くなく低価格商品に偏っているのが現状である。新型コロナウイルスの感染状況に連動して景気が悪くなっているため、手取りの給料も少なくなっており、デフレスパイラルが進んでいるようである。
		その他非製造業〔食料品卸売業〕（経営者）	・ワクチン接種が進むことで観光やビジネスでの県内の交流人口が増加することを想定している。
		その他企業〔企画業〕（経営者）	・新型コロナウイルス感染の状況次第だが、一刻も早く収束してほしいとする願望が地域の景況に良い影響を及ぼすと考えている。
		農林水産業（従業者）	・天候にも恵まれ果物の生育は順調である。これから桃の最盛期を迎えるが、販売単価が良くなることを願っている。
		農林水産業（従業者）	・さくらんぼの取引価格が上昇したものの、主力作物である米の価格は生産過剰により値下がりすることが予想される。
		食料品製造業（経営者）	・東京オリンピックを開催した場合、新型コロナウイルス感染が再拡大するのが怖い。これ以上続くと会社経営もかなり厳しい。
		食料品製造業（営業担当）	・販売量は前年をクリアし、やや上向き状態が続くと見込んでいる。
		出版・印刷・同関連産業（経営者）	・いまだ収束がみえない。ワクチン接種が進んでも景気に反映するか疑問である。
		電気機械器具製造業（企画担当）	・現時点の客の状況、半導体製品ベースの新規開発品見通しから推測するに、現在の状況がしばらく継続すると考えられる。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・現状において明るくなる要素がみられない。
		建設業（従業員）	・一定額のコンスタントな受注は見込まれる見通しである。コロナ禍で視界不良のため、同程度で推移するものと考えたい。
		通信業（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響を受ける現状からはまだまだ抜け出せないとみている。間接的ではあるが辛抱強く客との連絡を取り続けるのみである。
	通信業（営業担当）	・コロナ禍で設備投資をする企業が減少しており、通信環境へ経費を掛けることをためらう企業が増えている。	
	金融業（営業担当）	・新型コロナウイルス感染が収まるまでは厳しい状況が続くとみている。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他企業〔協同組合〕（職員）	・半導体・自動車関連の受注環境は良い方向にあるが、一般機械加工環境は良い方向に向いているとはいえない。原材料の価格上昇及び仕入れ納入の遅れ等が目立ってきている。見積案件は微増であるが、受注単価は依然として底値である。
		窯業・土石製品製造業（役員）	・需要が好転するような特需やプロジェクトがない。景気回復に伴う民間建設投資に期待したいが、先行きが不透明である。
		輸送業（経営者）	・トラックや荷役機械の燃料である軽油の値段が上がり続けている。新型コロナウイルス関連で景気が落ち込んでいるときに更に追い打ちを掛けられている。原油価格の推移をみればまだまだ上がりそうである。その場合、今後は荷主がサーチャージにに応じてくれるかが鍵となる。
		広告代理店（経営者）	・引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響によるイベント業務などのキャンセルや規模縮小があるため、業況の悪化が懸念される。
		司法書士	・木材不足の影響を危惧する声が出ている。住宅建築コストの上昇に加え、完成工期の延長などマイナス要因となることが予想される。
		コピーサービス業（従業員）	・主要仕入先の商品が半導体不足により納期遅延状態となっており、しばらく続くことが判明している。代替商品でつなぐしかないが、非常に厳しい状況である。
	x	*	*
雇用 関連 (東北)		人材派遣会社（社員）	・現状、各県のワクチン接種関連や外資系生保の事務センターの定期増員の受注の特需があるが、2～3か月後も変わらず好景気が続く気配がある。
		人材派遣会社（社員）	・ネガティブ要因は現時点では見当たらない。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・ワクチン接種が予想以上に早く進んでおり、ホテル宴会場の予約が取りにくくなってきている。夏季の旅館予約も好調のようである。旅行会社でも、高額商品が埋まっているようである。
		人材派遣会社（社員）	・各企業ともコロナ禍のなかで1年以上ビジネスをしてきているので、売上の立て方や利益の確保の仕方に大分慣れてきている。また、ワクチン接種も進んできているところもあり、求人にも踏み切る企業や、先々研修を行いたいという問合せが入ってきている。8～9月での問合せが増えてきている。
		人材派遣会社（社員）	・ワクチン接種が進み新型コロナウイルスの脅威が減退すれば、景気は回復するとみている。懸念事項は東京オリンピックで再び新型コロナウイルスまん延が過熱することである。
		人材派遣会社（社員）	・ワクチン接種が進んでいる。
		職業安定所（職員）	・新規求人数と有効求人数を今年の5月と前年5月で比べると、新規求人数で約200人、有効求人数で約1300人増加しており、前月に続いて増加傾向がみられる。
		職業安定所（職員）	・前年に開催できなかったイベントや祭りが少しずつ開催されるようになった。新型コロナウイルス感染のリスクが減るにつれ、近県への観光キャンペーンが消費を後押しするとみられる。
		人材派遣会社（社員）	・コロナ禍において大きな変化を期待することは難しい。また、東京オリンピックを控え、第5波が来ることも想定される。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・ワクチン接種が進み、その効果が経済活動に好影響を与えるまでにはもう少し時間が掛かりそうである。
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの影響により製造業は厳しい状況にあるが、大型の工場の進出の決定や大型商業施設の開店など、明るさを感じさせる要因もある。
		職業安定所（職員）	・ワクチン接種の進展が期待に追い付いていない印象を受ける。飲食業や宿泊業など依然低迷を脱することができない業種があり、業績が回復してきている業種はあるものの、全体的な底上げにはつながらない。
		アウトソーシング企業（社員）	・東京オリンピックなどがあるが、その関係の仕事も全くない。
		学校〔専門学校〕	・東京オリンピックを控えているが、観客の動員規制等により期待される収益が厳しい状況にあり、停滞した経済を回復できる起爆剤にはなりにくいと思われるため、今後も厳しい状況が続くことが予想される。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	x	人材派遣会社（社員）	・東京オリンピック開催は決して良い方向にはいかず、新型コロナウイルスの感染が一気に広まると想定している。

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (北関東)		百貨店（店長）	・新型コロナウイルス感染予防としてのワクチン接種が進めば、日常の安全、安心が回復し、併せて経済活動も活発になると考えられる。
		コンビニ（店長）	・東京オリンピックも開催されるようであり、新型コロナウイルスのワクチン接種も進んでいるので、今よりは良くなる。
		一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	・国や政府の新型コロナウイルスの感染対策さえしっかりできれば、確実に回復する。ここから1か月が肝心だと思う。
		スーパー（総務担当）	・東京オリンピックが開催されれば、少しずつ回復していくのではないかと。
		コンビニ（経営者）	・7～8月は夏休みにもなり、学生、一般客のレジャー的な動きも多くなるので、来客数が増え、今よりはやや良くなる。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスで閉塞した気分が、ワクチン接種によって解放されることを願っている。東京オリンピック、Go To Travelキャンペーン等でのこ入れが、人の活動を活発にし、景気に好影響を及ぼすのではないかと。ただし、感染症の収束次第で、大きく左右される。
		家電量販店（店長）	・東京オリンピック需要で、やや良くなる。
		自動車備品販売店（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチンが出回り、人々の不安がある程度解消されるため、人の動きも出て、それに伴う購買意欲が高まることに期待している。
		住関連専門店（仕入担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種率が徐々に高くなってきている。今後は、特に、接種割合の多い高齢者から外に出る機会が増えてくると思われるので、消費に連動することを期待している。
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、少しずつでも人の動きが出てくれば、やや良くなると期待したい。
		一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	・来月の問合せが増えてきている。夏に向けて人が動くと思予想する。
		その他飲食〔給食・レストラン〕（総務）	・新型コロナウイルスのワクチン接種の進展で、人の動きが戻ってくるのに伴い、事業所給食での提供食数、レストランの来客数増加が期待される。一方で、食材等の価格や人件費、採用コストの増加も懸念される。コロナ対応に加えて、採算管理等への注力も、より一層必要になってくる。
		都市型ホテル（支配人）	・東京オリンピックが成功すれば良くなる。個人利用は増えるものの、団体の宴会等の利用はまだ先行き不透明である。
		都市型ホテル（スタッフ）	・当県はまん延防止等重点措置も解除されたが、いまだ来客数の増加は感じられない。宴会もほとんどが会議のみで、予算のある団体がテイクアウトの弁当をつける程度である。このまま再度の緊急事態宣言発出となると、宴会、レストランのみならず、宿泊にも影響が出てくるので厳しい。
		都市型ホテル（総支配人）	・宿泊は、東京オリンピックや音楽イベントの開催により、一時的ではあっても需要が出てくるとみている。
		旅行代理店（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況にもよるが、学校行事の修学旅行や遠足が決定しているため、やや良くなる。
	旅行代理店（所長）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が動き出していることが救いである。東京オリンピック、パラリンピックが何とか安全に終了し、ワクチン効果が現れ、さらに、Go To事業の再開にこぎ着けられることを、大いに期待したい。	
	旅行代理店（従業員）	・東京オリンピックと新型コロナウイルスのワクチン接種の広がり具合に期待している。	
	通信会社（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種の拡大で、やや良くなる。	
	通信会社（総務担当）	・来店が減少している高齢層の新型コロナウイルスのワクチン接種が進めば、外出に対する抵抗感が減り、来客数も増えると見込める。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		通信会社（局長）	・新型コロナウイルスの感染状況と比例して、周囲の活気が戻りつつあると感じている。
		テーマパーク（職員）	・高齢者を中心に、新型コロナウイルスのワクチン接種完了者の来園が散見される。まん延防止等重点措置が解除され、ワクチン接種者が増加することで、来園者の増加が期待される。
		ゴルフ場（総務担当）	・今後、新型コロナウイルスのワクチン接種が普及してくれば、大口のコンペが戻ってくる。
		設計事務所（所長）	・新型コロナウイルスのワクチン接種率が上がり、徐々に感染も抑えられて、以前の消費活動が戻ってくるのではないが。
		商店街（代表者）	・唐揚げのフランチャイズ店、総菜店の新規オープンや、格安弁当にホテルが新規参入するなど、商店街の飲食業は頑張っている。一方で、物販業種は元気がない状態が1年以上続いている。
		一般小売店〔精肉〕（経営者）	・東京オリンピック・パラリンピックの影響が、どうなるのか予測はできないので、判断は難しい。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・本当に、困窮者の生活が厳しくなっているというのが、実感である。もうどうしようもない。税金の使い方を少し考えてほしい。東京オリンピックをやっている場合ではない。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	・東京都への緊急事態宣言が6月20日に解除され、まん延防止等重点措置に移行したが、不要不急の都道府県間の移動は控えるようにとの要請が出され続けているためか、当県の観光地には期待したほど、客足は戻ってきてはいない。修学旅行や校外学習の児童生徒の姿が少しずつみられるようになり、その点では少しずつ活気が戻ってきている。しかし、東京オリンピックで人流が活発化されると新型コロナウイルスの感染者数も増え、また2～3か月後には緊急事態宣言が発出され、一層、観光に来る客が減ってしまうと想定されるため、悪い現状と変わらない。
		百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進んでいるが、外出への安心感が醸成されるまでには、もう少し時間が掛かるのではないが。向こう数か月での景況回復は難しい。
		百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種も進んでいるが、不透明な状況に変わりはない。売上の増加に寄与するのは、食料品ぐらいで、他の商品群は苦戦が続く。
		スーパー（商品部担当）	・一般向けの新型コロナウイルスのワクチン接種、東京オリンピック、夏休み等、人々が動き出しそうな感じもあり、景気回復の兆しもみえる。ただし、早々に良くなるとは思えない。
		コンビニ（店長）	・数か月前に、近隣の大きな公共施設が移転したため、人の流れが大きく変わり、良くなることはまずないと思っている。
		衣料品専門店（統括）	・新型コロナウイルスの感染対策が、まさか1年以上になるとは思っていなかった。今後もまだしばらくは続くようで、収束もいまだに分からない。商売をしていくのに、どうしていけばよいのか、全く見当が付かない。早く、イベント、祭りができることを切に望んでいる。
		衣料品専門店（販売担当）	・現在、どん底を通り越したような状況で、手の打ちようがない。新型コロナウイルスのワクチン接種後、順調に客が街に出てくる状況になれば、若干改善する可能性はあるとしても、今より良くなる要素がみえない。これでまた、少し先になってリバウンドしたら人が出てこなくなる。そういう意味で、今とは変わらない。
		家電量販店（営業担当）	・前年のテレワーク商材のカバーができず、前年比90%と苦戦している。特に、パソコン関連は同80%で、その他の消耗品も同90%となっている。衛生商材は継続して売れている。東京オリンピック関連で、映像商材は単価が下がったこともあり、前年比105%となっている。
		乗用車販売店（販売担当）	・3か月に1回開催する販売イベントを今月も開催したが、前回よりも落ちている。まず客が来ない、来てもなかなか店に入ってくれなかったり、すぐ帰ってしまったりと、以前とは様子が違う。新型コロナウイルスのワクチン接種をどんどん進めて、感染収束してくれないことには、回復する見込みはない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		乗用車販売店（販売担当）	・新型コロナウイルス禍が年内に鎮静化すれば、多少良くなるだろうが、すぐに良くなることはない。当社は観光地に立地しているため、客はホテル関係が多く、観光客が出てくるような状態でない限り、景気が良くなる見込みは、2～3か月先では、当社の顧客が良くなるとは考えられない。
		住関連専門店（店長）	・景気全体では、東京オリンピック開催で多少の動きはあるかもしれない。ただし、元の状態まで回復するには、観光や小売や飲食等はあと1～2年くらいは掛かるのではないかと見られる。
		その他専門店〔靴小売業〕（経営者）	・問屋メーカーの状況が把握しにくく、商材確保が難しい。夏物商戦に、新商品ではなく前年度の商材を販売せざるを得ないところも出ている。また、東京オリンピック開催による人流の変化も心配で、新型コロナウイルスの感染拡大第5波となるとかなり厳しい。不安な要素が多く、先行きの見通しが立たない。
		一般レストラン（経営者）	・イベント、夏祭り等のほとんどで、既に中止が決定している。ツアー会社からの団体予約も全てキャンセルとなっている。この状況はまだ続くだろうから、景気が良くなるはずがない。
		観光型ホテル（経営者）	・たとえ、新型コロナウイルスのワクチン接種が進んでも、今の国内の状況や水際対策では、感染拡大の歯止めにならない。夏過ぎまで影響があり、特に、年末年始は感染が再拡大し、観光飲食業界の更なる衰退につながる懸念があるのではないかと見られる。
		タクシー（経営者）	・6月は新型コロナウイルスのワクチン接種で動きがあったものの、接種以外の動きは良くなく、この先も良くないとみている。
		通信会社（経営者）	・新型コロナウイルスの変異株の出現や東京オリンピック開催による人流等、不安要素がいつになっても払拭されない。結局のところ、新型コロナウイルスの感染がどうなるかが先行きの不安要素になっている状況では、景気は良くなる見込みはない。
		通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染者数が再び増加傾向にあり、ワクチン接種もはかどらないため、変わらない。
		競輪場（職員）	・常連客が多いなかで、大きくは変わらない。今後、新型コロナウイルスのワクチン接種の進捗に合わせながら、感染対策を徹底し、来場促進策を実施して入場者の増加につなげていく。
		家電量販店（店員）	・新型コロナウイルス禍のなか、ワクチン接種が進み、経済活動が回復してこなければ、売上の下降は止まらない。
		乗用車販売店（経営者）	・当地域の自動車メーカーは、今のところ100%稼働しているが、半導体不足により、7～8月に夏休み期間を兼ねて生産調整を行う可能性もある。また、自動車業界全体でも、受注から納車までに2～5か月掛かっているのが現状である。
		その他専門店〔燃料〕（従業員）	・受注及び受注残が減少している。
		その他飲食〔ファーストフード〕（経営者）	・東京オリンピックが開催されることによって、人流がで、新型コロナウイルスの患者が増えて、緊急事態宣言がまた発出されるような気がする。
		美容室（経営者）	・デフレで景気が悪く、需要がない。こういう日本では、値上げなどとてもないという状況にある。
		その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況や半導体供給次第なのだろうが、V字回復は難しく、後遺症が続くのではないかと見られる。
		住宅販売会社（経営者）	・木材不足によるウッドショックの回復が見込めないなか、東京オリンピックショックが待ち構えている。不景気がやってくることを否定する要因がない。
	×	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、客が全然来なくなってしまう。
	×	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルス感染が再度振り返ってきていることや、7月の東京オリンピック終了後に、感染者数のリバウンドや経済の落ち込みがあることを考えると、悪くなるのではないかと見られる。こうしたことを踏まえながら、今月、来月と経営していきたい。
	×	都市型ホテル（経営者）	・新型コロナウイルスの感染対策と東京オリンピック優遇策の矛盾による、感染拡大の第5波が心配である。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	x	タクシー運転手	・首都圏が良くならなければ、地方は良くなりそうもない。しばらく時間が掛かりそうである。
	x	タクシー（役員）	・新型コロナウイルスの感染対策は完全に間違っており、どうにもならない。
企業 動向 関連 (北関東)	-	-	-
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進んでいるので、これからは少し動きが出てくるのではないかと。
		一般機械器具製造業（経営者）	・現状の仕事は減産計画がなく、秋口には自動車向けの新規量産案件が立ち上がることから、更に忙しくなる見込みである。
		経営コンサルタント	・東京オリンピック開催に伴う国内の新型コロナウイルスの感染者や重症患者数の動向次第とみている。企業活動や経済活動自体の動きより、コロナ禍の落ち着き具合といった他律的要因に左右される。人の動きは今より確実に盛んになるので、個々の企業が、その変化にどれだけ機敏かつ有効に対応できるかにかかっている。
		化学工業（経営者）	・停滞していた経済活動を活性化できるかによるが、極端に活発な活動は難しいとみている。
		窯業・土石製品製造業（総務担当）	・夏場に向かい、多少落ち込むものと考えます。
		金属製品製造業（経営者）	・良くなるように努力しているが、先方のあることなので、なかなか見通しが付かず、困っている。
		金属製品製造業（経営者）	・売上が改善するという話はない。
		電気機械器具製造業（経営者）	・2～3か月では無理だと思うが、年末か年明けにかけて結構明るい状況が出てくるとみている。部品が入ればの話だが、当社の受注も徐々に伸びてきているので、年末から来年にかけて期待している。
		電気機械器具製造業（経営者）	・現在、先の状況はつかめない。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	・新型コロナウイルスもあり、1～2か月先のことも分からないので、2～3か月先の景気はちょっと分からない。やや悪くはならないで、やや良くなるかわからないのではないかと。
		その他製造業〔消防用品〕（営業担当）	・しばらくは、まだ新型コロナウイルスの影響があると考えます。
		輸送業（営業担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種も進み、人も動き出し、特に、レジャー用品、テント、椅子、テーブル、バーベキューセット等の物量が動く予定である。また、夏物家電のエアコン、サーキュレーター、扇風機等も前年並みの物量を確保予定である。
		広告代理店（営業担当）	・新型コロナウイルス感染拡大のリバウンドが懸念されていて、集客のために宣伝することも少なく、まだ広告出稿が増える要素はみられない。
		司法書士	・余り変わらずにきているので、今後もそのような流れかと考えている。
		社会保険労務士	・新型コロナウイルスのワクチン接種は開始されたが、収束には時間が掛かりそうである。
		その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	・引き合い、商談件数共に、増加傾向にあるものの、まだ情報収集段階で、本格的な投資までには、時間が掛かりそうである。
		建設業（開発担当）	・新年度がスタートして間もないが、今期公共工事の発注は前年と比べて大きなマイナスになる。これは一連の災害復旧工事が終了したことによる。当地はLRT事業で当初予算より250億円増になると発表された。公共工事でお世話になっているが、一般市民からすれば信じられないことであり、関係者の責任は重い。当社決算は前年比10%増の受注があるので、厳しいなかではあるが、一安心である。
		建設業（総務担当）	・公共工事の動きが悪過ぎるので、先行きはとても不安である。
	不動産業（管理担当）	・新型コロナウイルスの感染が今後も続くことを考慮して、売上や利益の計画を立てている。取引先では、そろそろ耐えるのも限界にきているというところが多く、今後の取引に明るい材料がない。	
	x	-	-

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
雇用 関連 (北関東)		人材派遣会社（経営者）	・官公庁等もこれからボーナスやお中元の時期を迎え、商材等の動きが出てきている頃である。スーパー等では野菜、果物等が多く出回っているが、家飲みを含めて購買力は向上していく。ギフト商材の動きも出てくる。
		人材派遣会社（管理担当）	・コンビニ類の製造が増産になることや、自動車部品の製造も増産になるため、やや良くなる。
		職業安定所（職員）	・休業を実施、予定している事業所が減少傾向にある。企業の経済活動が戻りつつある。
		学校〔専門学校〕（副校長）	・企業との会話からも、新型コロナウイルスのワクチン接種が進むにつれて安心感も増し、少しずつ景気回復が見込まれるのではないかと希望的観測がうかがえる。
		人材派遣会社（社員）	・製造業の受注は回復してきているが、事務業務の集約化が進み、事務求人が増える要因は余りない。
		職業安定所（職員）	・有効求人数と有効求職者数をみると、有効求人が有効求職者数を上回って推移してきており、一部に持ち直しの動きが見られるが、新型コロナウイルスが雇用に与える影響を、引き続き注視していく必要がある。
	x	*	*

4. 南関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (南関東)		一般小売店〔生花〕（店員）	・3か月後の9月はお彼岸があり、かなり需要が多いと思われるので、良くなる（東京都）。
		コンビニ（経営者）	・東京オリンピックが開催され、また、夏ということで、我々小売業にとっては、これから大きく売上が伸びると見込んでいる。ただし、新型コロナウイルスの感染再拡大により自粛ということになると、また前年同様になるのではないかと。全て新型コロナウイルス次第である。
		都市型ホテル（経営者）	・東京オリンピック、パラリンピックについて、有観客での開催が決定したので、会場界わいのホテルも良くなると期待している。あわせて新型コロナウイルスのワクチン接種も進んでいるので、それに伴い来客数も徐々に増えていくのではないかと期待もある。1日も早い新型コロナウイルス感染症の収束を願いながら、日々経営している。
		都市型ホテル（スタッフ）	・新型コロナウイルスが収束し、有観客で開催する東京オリンピック需要にかけられるしかない。
		旅行代理店（従業員）	・外出欲求が限界点に達しており、前年比、2019年度比でも販売が100%を超えてきている。東京オリンピックの入場制限があるなか、都心を離れ、郊外への移動が活発化することが予想される（東京都）。
		旅行代理店（販売促進担当）	・2～3か月後の8～9月は、新型コロナウイルスワクチン接種が進んでいる関係で、国内の東京オリンピック観戦旅行の予約が徐々に入ってきている。また、8月の夏休み、9月の大型連休もあるので、今月は国内個人旅行を中心に受注が進んでいる。また、団体の動きも少し出てきている（東京都）。
		一般小売店〔文具〕（販売企画担当）	・外商部は、民間の案件が元に戻りつつある。事務所のリニューアルなど投資案件が復活してきていることと、官公庁に対しては文房具に限らず他の商材も含めた形で提案等をしており、こちらの見積り等が確実に入札に上がってきているので、今後期待ができるのではないかと。
		百貨店（売場主任）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、東京オリンピックの開催後、感染者数が少なくなるという状況でのみ、景気が少し良くなる環境が整ってくる（東京都）。
		百貨店（総務担当）	・都内の新型コロナウイルス感染状況が悪化してきている一方で、高齢者を中心にワクチン接種が進んできている。引き続き感染防止策は継続していく必要があるが、ワクチン接種率向上により個人消費は緩やかに回復する（東京都）。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		百貨店（広報担当）	・新型コロナウイルスワクチン接種が順調に進めば、感染者数の急増が抑えられ、社会不安のムードも幾分和らぐと予想している。一方で、感染拡大の可能性や再度の緊急事態宣言、休業要請の可能性も否定できず、状況は不透明と言わざるを得ない（東京都）。
		百貨店（営業担当）	・2～3か月後には新型コロナウイルスのワクチンが大分普及し、買物をする人や買物に出掛ける障壁が低くなる。また、これまでの反動で、心理的にも購買志向に振れるように感じている（東京都）。
		百貨店（販売促進担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種も進み、消費行動が高まり進んでいくのではないかと。既に現状においても消費マインドが上昇している（東京都）。
		百貨店（販売促進担当）	・まん延防止等重点措置適用は延長されたものの、地域内の新型コロナウイルスワクチン接種が少しずつではあるが進捗してきており、今後更に接種が進むことで、景気に対しても良い刺激になると感じる。客にも自粛疲れがあり、ワクチン接種がきっかけとなり、外出、消費へとかじを切る雰囲気は感じられる。
		百貨店（販売促進担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種の具体的な道筋が認知され始めたため、秋の行楽計画が立てられるようになれば、それに伴い消費の回復が見込まれる（東京都）。
		百貨店（販売促進担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が加速すれば、やや良くなる（東京都）。
		百貨店（経営企画担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、高齢者の外出が多くなっているとの報道もあり、今後については徐々に消費が回復するのではないかと。ただし、新型コロナウイルスの感染再拡大により、効果のない緊急事態宣言を再び発出するともなると、消費は一気に冷え込むため、予断を許さない状況は続く。消費行動の変化は明らかであり、今後は何が売につながるか手探りの状態が続く（東京都）。
		百貨店（店長）	・新型コロナウイルスのワクチン接種率が増加し、購買行動を控えていた消費者の需要回復が見込まれる。
		百貨店（財務担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種加速により、景気が上向くと予想する（東京都）。
		百貨店（企画宣伝担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が加速され、これまで外出を我慢していた消費者の行動が変わる。
		コンビニ（経営者）	・今は梅雨入りにより来客数が減少しているが、3か月後、梅雨が明けて気温が上がると、飲物の売上が伸びる。
		コンビニ（商品開発担当）	・今年の夏は猛暑になる予報が出ているため、期待したい（東京都）。
		衣料品専門店（経営者）	・高齢者のワクチン接種が進み、明るい雰囲気になってきている。外出着が売れる。
		衣料品専門店（役員）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進めば、もっと外出する機会が増え、衣料品の需要が高まる。
		家電量販店（店長）	・期待値としての主観的感想である。
		家電量販店（店員）	・来月の東京オリンピック需要が見込める。
		家電量販店（経営企画担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種、特に職域接種が進むことで集団免疫の獲得につながる。また、東京オリンピックの開催もあり、安全安心を心掛け、大会運営が成功裏に終わることで、今までの景色から大きく変わることを期待する（東京都）。
		乗用車販売店（総務担当）	・多少は客の購入意欲が向上することが見込まれる。
		住関連専門店（営業担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、楽観的な見方が広がりつつあるように感じている。消費に関しても上向きに向かうものとみている（東京都）。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（団体役員）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、移動自粛が解除されれば、やや良くなると期待している（東京都）。
		高級レストラン（経営者）	・自粛疲れが表れていることは現場で感じる。テイクアウトの売行きが悪くなる一方で、来客数は増えている。新型コロナウイルス感染第5波が来て来客数が減っても、5～6月よりは多くなる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		高級レストラン（仕入担当）	・東京オリンピックが開催されるので、多少今より良くなるのではないかと思うが、新型コロナウイルスの感染状況次第である（東京都）。
		一般レストラン（経営者）	・今までは酒を出せなかったのが、多少は出せるようになって、少しずつ客が来るようになってきている。時短営業なので、そんなには望めず、今までと同じかそれ以下の売上だと思うが、今までよりは若干伸びて上向きになる。
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況次第だが、2～3か月後は今よりは良くなる。これ以上悪くなることは考えられない。ワクチンが一通り行き渡り、人流が増えてきて、飲食店にも多少は流れてくるような気がする。
		その他飲食〔カフェ〕（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチンをほとんどの人が打ってやっと収束に向かっていくのかと感じる。飲食は、マスクを取り、食事をしながら話をするのができなければ良くなれないので、徐々に良くなっていくと考えている（東京都）。
		その他飲食〔給食・レストラン〕（役員）	・4～5月の売上改善の動きから推測するに、今後も同様の傾向が続く。特に、新型コロナウイルスの影響は徐々に薄れていくことは明らかである（東京都）。
		旅行代理店（経営者）	・東京オリンピックが終わり、総選挙後は旅行需要に動きが出るのではないかと期待している。
		旅行代理店（営業担当）	・中高年層の新型コロナウイルスワクチン接種が進みつつあり、夏から秋にかけての旅行商品が、徐々にではあるが売れ始めている。
		タクシー運転手	・今月から新型コロナウイルスのワクチン接種も始まったので、感染拡大を食い止められれば徐々に利用者も増えてくる。我慢と辛抱で乗り切れば、景気は必ず良い方向に向かう。東京オリンピックも開催されると思うので、自然と人出も増え、景気はやや良くなる（東京都）。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスワクチンを多くの人が接種するようになれば、皆が安心して人の流れができるので、今に比べて良くなる。それが、変異株ウイルスで感染がまた繰り返すと、同じような状況になる。期待を込めて良くなる（東京都）。
		通信会社（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況次第ではあるが、良くなる（東京都）。
		通信会社（社員）	・イベントの再開が増えてきている。東京オリンピック開催に期待する声も聞こえている。新型コロナウイルスワクチン接種が前倒しになっていることも後押しになっている。企業の職域接種に期待している（東京都）。
		通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの鎮静化が条件にはなるが、人の動きが出始め、営業活動が通常化してくれば、景気も上向く。
		通信会社（管理担当）	・新型コロナウイルスに関するワクチン接種が順調に進んでいけば、感染リスクも減少していき、少しずつ景気が回復していくものと期待している（東京都）。
		通信会社（総務担当）	・新型コロナウイルスワクチン接種の進展によるマインド転換から、訪問営業機会等が回復することを期待している（東京都）。
		ゴルフ場（経営者）	・新型コロナウイルスワクチンが普及するはずなので、期待している。
		パチンコ店（経営者）	・東京オリンピック、パラリンピック開催を控え、新型コロナウイルス感染予防とは裏腹に、少しずつ人流は増加していくと思われ、雰囲気も変わってくる。
		その他レジャー施設〔複合文化施設〕（財務担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種率が向上する（東京都）。
		その他サービス〔保険代理店〕（経営者）	・新型コロナウイルスが収束に向かい、東京オリンピックも終了して世の中が少しは落ち着くので、経済活動が活発化して、景気上昇を見込める。
		設計事務所（経営者）	・これまで無給で対応していた取引先の若手社員への勉強会を、新たに仕事として認知してもらい、それも含めた契約をもらっている。取引先担当者に先を見る余裕が出てきて、当事務所の対応に価値を感じてもらえたのかと思っている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		住宅販売会社（従業員）	・徐々に土地仕入れができてきたので、早く商品化して販売に結び付けられれば、景気も良くなってくる。ウッドショックで木材価格や納期にどのくらい影響が出るかがやや懸念される。
		住宅販売会社（従業員）	・受注量からみると、建設業においては新型コロナウイルス感染症やまん延防止等重点措置の影響は余り大きくないと感じる。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの感染状況が徐々に下回ってきているように見えていたが、最近また少しずつ感染者数が増えていて心配である。東京オリンピックがどうなるかわからず、先の判断は難しいが、商売としては非常に難しい状況になってきている。
		一般小売店〔家電〕（経理担当）	・ボーナスが出ているところもあるようだが、前年に比べて売上、来客数が少ない。天候の影響も考えられるが、新型コロナウイルス禍で所得が減った人も多いためではないか。
		一般小売店〔家電〕（経理担当）	・テレビを求める客は、この先は多くない見込みである。好調なエアコンに期待しているが、商材確保の問題がある。
		一般小売店〔家具〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況がこの先どうなるのかわからないが、今の状況が続くだろうということで、変わらない（東京都）。
		一般小売店〔印章〕（経営者）	・新型コロナウイルス禍のなかで、新しい会社や店舗を作るという人が非常に少ない。当社の製品はやはり、新会社の設立や新店舗の出店等に関して需要が出てくる物であり、今のところそういった動きがないため、当分は我慢をするしかない。
		一般小売店〔祭用品〕（経営者）	・東京オリンピックに対する期待があり、若干動き出してはいるが、収まる気配がないので、まだまだ良くなることは望めない。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・日々の売上から推測している（東京都）。
		一般小売店〔米穀〕（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種の成果が出始めるのではないかと。かなり長い間の異常事態のビジネスも相当つらくなっている（東京都）。
		一般小売店〔傘〕（店長）	・少しずつ購買意欲が戻っているものの、回復を期待できるのはもう少し先になる。
		一般小売店〔茶〕（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染状況次第だと思う。このまま収まってくれることを願うしかない（東京都）。
		百貨店（総務担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、外出に対するモチベーションが上昇することで、現在落ち込みが激しい衣料品、雑貨等の動きが活発になることを期待したい。
		百貨店（総務担当）	・今後、新型コロナウイルスのワクチン接種の動きが加速し、世の中全体に安心感が出てくれば状況が変わる可能性もある。しかし、景気の先行きについては非常に不透明であり、予測が難しい（東京都）。
		百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が徐々に進むことにより回復が期待できるが、東京オリンピック開催や商業施設の営業について明確な判断がないため、急激な回復は期待できない（東京都）。
		百貨店（営業担当）	・緊急事態宣言が解除されたことにより、客の動きは良化すると思われるが、これまでの厳しい状況が劇的に改善するとは思えない（東京都）。
		百貨店（販売促進担当）	・緊急事態宣言が解除され、東京都では新型コロナウイルスの感染状況に再度拡大傾向がみられるなかでの東京オリンピック開催等、先行き不透明感が増すばかりで、大きな改善は期待できない（東京都）。
		百貨店（副店長）	・新型コロナウイルス変異株の感染状況、ワクチン接種の進捗度合い、東京オリンピックへの対応など不確定要素があり、不透明感が強い（東京都）。
		スーパー（販売担当）	・新型コロナウイルスの影響もあり、まだ営業時間の短縮が続いており、売上は短縮分がそのままマイナスになっている。この状況はまだしばらく続く可能性がある（東京都）。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スーパー（経営者）	・前年が非常に良かったので、今年の3月頃から前年比では悪い状況が続いている。また、これは当社独特の要因だが、競合店が1～2店舗出店してきているので、ダブルで前年より悪くなっている。少しずつ今の状況に慣れてきているので、これから徐々に巻き返したいとは思っているものの、大筋ではやや悪い状況のまま変わらない。
		スーパー（経営者）	・食品スーパーなので前年6月までは売行きが良かったが、今年は前年比で売上減少が続いている。前年7月からは落ち着いたので、前年並みで行きそうである。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスのワクチン接種がいよいよ始まり、少しずつ閉塞感も和らぐと思うが、そうは言っても、年配客はなかなか外を出歩かないと思うので、3か月後も今のままで推移していくのではないかと（東京都）。
		スーパー（店長）	・前年に比べ、お中元等のギフト需要が戻ってきており、徐々に平常どおりの生活をしているように感じるが、まだ新型コロナウイルスにより社会情勢が安定していないため、今後の状況が見えない。
		スーパー（店長）	・消費者には依然として節約志向が根付いており、低価格帯の商材にシフトしている。もうしばらくは同様の状態が続く（東京都）。
		スーパー（総務担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進んでも、余り良い雰囲気を感じない。
		スーパー（営業担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種がどんどん進んでいくと思うが、まだ予断を許さない状況にある（東京都）。
		スーパー（販売担当）	・東京オリンピック効果は限定的である。
		コンビニ（経営者）	・東京オリンピックに向かって上向くかもしれない（東京都）。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、感染者数が減り、収束に向かわなければ、景気回復の期待はできない。
		コンビニ（経営者）	・必要な物しか買わない感じで、買い控えがあるような気がしている。
		コンビニ（経営者）	・前年度は自粛ムードが強く、住宅街にある当店の売上はその前の年度より増加したが、今年になってからは自粛ムードが弱まり、自宅での飲食より飲食店へ食事に行く方向になっている。
		衣料品専門店（店長）	・新型コロナウイルス感染者数のリバウンドが懸念されている。東京オリンピック開催による経済回復効果についても、開催決定時のみくろみとは異なり、大幅縮小となることから、変わらない（東京都）。
		家電量販店（店長）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進むことで、今まで低迷していた旅行業界や外食産業の方に客足が向くのではないかと（東京都）。
		乗用車販売店（経営者）	・自動車の整備は順調に入っているが、販売が余り芳しくない。客の来店はあるが、なかなか契約に結び付かず、前年度の5割減となっている。
		乗用車販売店（経営者）	・東京オリンピックの開催期間中は新車の販売量が減る。
		乗用車販売店（営業担当）	・来客数、販売数はまだ変わらず落ち込みが続いている。
		乗用車販売店（販売担当）	・新型コロナウイルスの影響で移動が制限されているので、ワクチンが浸透しない限りは、ここ数か月の景気に大きな影響はない。来年以降、新型コロナウイルスが収束し、経済状況が通常に戻れば、移動も増え、車も動くし、それだけ消耗品も出てくる。ここ数か月については悪いままで変わらない（東京都）。
		乗用車販売店（渉外担当）	・新型コロナウイルスの感染状況、半導体不足の問題など、不透明な要素が多い。
		乗用車販売店（店長代行）	・半導体不足により納期が大幅に長期化しており、注文をもらっても売上につながらない（東京都）。
		乗用車販売店（営業担当）	・ここ数か月変化はないし、これからも特にない（東京都）。
		その他専門店〔ドラッグストア〕（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、外での買物頻度が増えたと良い。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他専門店〔ドラッグストア〕（経営者）	・どうみても景気が良くなるという感じはしない。東京オリンピックが始まればまた変わってくるのかもしれないが、当店の販売量は前年よりもやや落ちている。
		その他専門店〔貴金属〕（統括）	・売上が確保できるようになったとはいえ、新型コロナウイルス発生以前の売上までには回復できていない。1年以上にわたる休業、時短営業で減少した売上が、急激に回復するとは思えない（東京都）。
		高級レストラン（役員）	・緊急事態宣言が解除になったが、酒類の提供時間や人数などの制限指示により、格段の売上改善には至っていない。現在の新型コロナウイルス感染者数のリバウンドにより、まん延防止等重点措置の長期化や緊急事態宣言が再発出されることも予想されるが、その場合は変わらない（東京都）。
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスワクチン、東京オリンピックと未解決の課題が山積みで、客に外食を考える余裕がないように見える（東京都）。
		一般レストラン（経営者）	・まだまだ新型コロナウイルスの影響は続く。時短、アルコール提供禁止の要請に従わない店がたくさんあり、客の行列ができるほど繁盛している。こうした店こそ感染源である。時短要請協力金ももらっているようである。真面目に営業している店だけが馬鹿を見るようでいいのだろうか（東京都）。
		一般レストラン（経営者）	・東京オリンピックが開催されても、新型コロナウイルスの感染再拡大が懸念される上、酒の提供はできないとなると、現状が最悪の状態なのでこれ以上悪くなることもないが、悪いまま変わらず推移するのではないかと（東京都）。
		一般レストラン（経営者）	・今はまん延防止等重点措置の期間中ではあるが、このまま解除されると考えにくい。また酒を提供できなくなるなど、飲食店には厳しい規制がまだあるので、なかなか秋口までは良い方向に向かうとは思えない（東京都）。
		一般レストラン（スタッフ）	・国から何も対策、補償などがない。
		都市型ホテル（スタッフ）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進んでいくと思うが、3か月後ではまだそれほど消費動向としては動きがないのではないかと。
		旅行代理店（経営者）	・新型コロナウイルス及び変異株ウイルスの影響があり、皆が大変なようである。東京オリンピック、パラリンピックもやるとかやらないとかごちゃごちゃしている。皆迷っている現状から考えると、変わらない状況が続く。
		旅行代理店（従業員）	・海外は新型コロナウイルスのワクチン接種が進んでいるので、観光客の受入れを開始する国もある。ただし、現状では日本帰国時の14日間の自主隔離が解けていないので、海外旅行はまだ先になるとみている（東京都）。
		タクシー運転手	・今は新型コロナウイルスの感染拡大の予兆があり、皆かなり慎重になっているが、来月に入ると東京オリンピック、パラリンピックが始まるので、若干の動きは出てくる。ただし、これがどのように影響してくるのか、逆に心配なところもある。いずれにしても、我々の業界にとって余り良い方向ではなく、むしろ悪い方向に向かいそうなので、要注意である。
		タクシー運転手	・6月に新型コロナウイルスワクチンの2回目の接種が終わり、非常に気持ちが楽になった。皆が早く2回接種をすると、また様子が変わってくるのではないかと。サラリーマン客は激減したままで、深夜、昼間の営業共に、サラリーマン中心の営業ができていない。早く戻ってほしいと願っている（東京都）。
		タクシー（団体役員）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が行き渡らないと、なかなか以前のような人出、景気には戻らない。
		通信会社（経営者）	・東京オリンピック、パラリンピックの動向や、新型コロナウイルスワクチン接種の進捗状況にもよるが、対面営業では非常に先が見えない状態だといえる。外食、旅行等、今まで抑えていた経済活動の活性化が期待できる一方で、変異株ウイルスの感染拡大傾向も見えるため、一定数のキャンセルや訪問拒否の発生は当面継続する（東京都）。
		通信会社（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進まない限り、今後の景気は変わらない（東京都）。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		通信会社（社員）	・競合他社の影響もあり、景気がプラスになる材料がない（東京都）。
		通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの収束が見通せないままでは、消費マインドの大きな改善は見込めない。
		通信会社（局長）	・これまでのように、都心から離れたテレワーク需要はあると思われるので、もしばらくはこのような均衡した状態が続く（東京都）。
		通信会社（営業担当）	・良くなると思える材料がない。
		通信会社（経営企画担当）	・案件や商談の件数が伸びておらず、先行きが不透明である（東京都）。
		通信会社（営業担当）	・通信関連の売上は伸びている一方で、テレビ関連の収入が減っている。恐らく、収入が減ってきている人も多いせいか、テレビなどの娯楽への出費を削り始める客が増えてきている（東京都）。
		通信会社（経理担当）	・契約を乗り換える人が優遇される仕組みが続く限り、世の中の動きに余り変化はない。
		その他レジャー施設 〔ボウリング場〕（支配人）	・いつになったら通常営業ができるのか疑問である。再開できても、2019年時の状態まで客を戻すには数年掛かる（東京都）。
		その他レジャー施設 〔総合〕（広報担当）	・新型コロナウイルスの感染状況次第で催事の来客数が大きく変動するので、予測がつかない。ワクチンの効果に期待している（東京都）。
		その他サービス〔立体 駐車場〕（経営者）	・悪過ぎて、これ以上悪くなりようがない。
		その他サービス〔学習 塾〕（経営者）	・春先よりも問合せ件数などが少ないため、良くなるのはもう少し先になると感じている。
		設計事務所（経営者）	・官民合わせた仕事量は、新型コロナウイルス発生以前に比べると減少している。しばらくは低空飛行が続く。
		設計事務所（所長）	・東京オリンピック、パラリンピック、新型コロナウイルス、建材の高止まり等の影響がある。政治も何が本当が分からず、何が原因が分からず、出口が見えない（東京都）。
		住宅販売会社（経営者）	・新型コロナウイルスが収まらない限り、現在の不況は続く。早くワクチンが普及して、感染が収束するのを待つばかりである。東京オリンピックはどれも予定どおり開催されるようなので、それは良いことである。
		住宅販売会社（従業員）	・受注量、来場者数共に例年よりは増えているが、さほど大きくは変わらない。
		その他住宅〔住宅資 材〕（営業）	・東京オリンピックを挟んで様子見の状況がみられる。秋以降の現場に動きが出てくるまで、見通しに変化はない（東京都）。
		一般小売店〔和菓子〕 （経営者）	・新型コロナウイルスワクチン接種の進行も鈍くなってきたり、リバウンドでまた感染者数が増えたりしているの で、東京オリンピック後に再度感染が広がるのではないかと懸念している。
		一般小売店〔文房具〕 （経営者）	・7月は東京オリンピックが開幕となるが、新型コロナウイルスの感染者数がいまだ増加傾向にあるため、巣籠りでの家庭内観戦となると推測され、来客数や売上の減少は避けられない。本来ならば東京オリンピックの開催で、インバウンド客や地方からの観光客が見込めるはずであったが、特需がほぼなくなってしまっている（東京都）。
		スーパー（仕入担当）	・新型コロナウイルスの収束はまだまだ見えず、経済の回復は遠い。
		スーパー（ネット宅配 担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種と、東京オリンピック開催の余波による感染拡大の状況次第だが、このまま沈静化されれば、食料品以外での消費が増えるので、売上は若干厳しくなる。
		コンビニ（経営者）	・大型店の販促チラシも増え、外食の機会が減少した分、食材の大量購入が日常化したため、間に合わせのコンビニ客が減少しており、より一層厳しさが増している。
		コンビニ（エリア担 当）	・前年と比較して梅雨入りが遅く、夏場の売上増加が見込みにくい。自粛からの戻りも弱い（東京都）。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		衣料品専門店（経営者）	・依然として新型コロナウイルス禍が続いている。例年7～8月はイベントやお祭り、花火等があるのだが、全て中止となっている。イベントなどの業態、業種にもかかわっているので、低迷が続くとみている。また、新型コロナウイルス感染者数のリバウンドも噂されているので、注視していきたい。
		衣料品専門店（店長）	・緊急事態宣言は解除されたが、解除された途端の新型コロナウイルス感染者数増加により、消費者の行動意欲がしぼんでしまっている。東京オリンピック開催によるムード上昇を期待していたが、関連グッズの販売も期待できない。
		家電量販店（店員）	・季節商材の動きが少なくなり、年末前のため、販売量は減るとみている。
		乗用車販売店（店長）	・新型コロナウイルス関連の影響解消や部品供給など、先の見通しが全く立たないため、回復に結び付くと予想しにくい。
		住関連専門店（統括）	・新型コロナウイルス禍がまだまだ続くと思われるので、景気もまだしばらく低迷するのではないかと。
		高級レストラン（営業担当）	・東京オリンピック等のイベントはあるが、客足が戻るのは新型コロナウイルスのワクチン接種次第の部分もあり、急激な回復は期待できない（東京都）。
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスに加え、物価の高騰も影響している（東京都）。
		その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・飲食店をターゲットにした新型コロナウイルス対策が続いているうちは、景気は上向きにはならない（東京都）。
		旅行代理店（従業員）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が想定どおりに進んでいない（東京都）。
		タクシー（経営者）	・新型コロナウイルスのまん延状況次第では、また客足が遠のく可能性が高い。もう一度政府から酒類の提供停止が要請されれば、経営への打撃は致命的となる。
		通信会社（管理担当）	・相変わらず底打ち局面が続いている。
		競輪場（職員）	・新型コロナウイルスも収束しつつあるように見えるが、まだまだ予断を許さない。遊びを売りにする業者にお金落ちるようになるには時間が掛かる。
		美容室（経営者）	・新型コロナウイルスの影響が、何となく街に元気がない。早く収束してほしい。
		設計事務所（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、客先に出向いての営業ができないことが最大の欠点である。新しい展開を考えるにも、社会全体で動きが止まっている状況なので、それが解決しない限り、上向きにはならない。
		設計事務所（所長）	・新型コロナウイルスの影響が大きくあり、財政が切迫しているため、発注量が少なくなっている。
		設計事務所（職員）	・東京オリンピック、パラリンピック開催後の新型コロナウイルス感染状況次第ではあるが、好転する兆しはない（東京都）。
		住宅販売会社（従業員）	・ウッドショックと言われているように木材の調達が難しくなり、価格も上昇しているため、請負契約の工期が守れない状況になってきている。販売価格も値上げし、工期も変更してもらっているが、請負契約の解約も出てきている。今月の販売量は良かったが、今月と同じような販売量は見込めない。
		その他住宅〔住宅管理・リフォーム〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、客となかなか会うことができない。1日も早く収束することを願うばかりである。
	×	商店街（代表者）	・東京オリンピック景気というよりは、単純に確率の問題として、開催後の新型コロナウイルス第何波のリスクが予想される。政府や東京都から商店街、小売店に対してどのような振興策が出るかにもよるが、2～3か月後はかなり厳しくなると予想される。その後は、ワクチン接種完了により回復する（東京都）。
	×	一般小売店〔家電〕（経営者）	・とにかく先のことが見えなくなっている。どうなっていくのか本当に不安で仕方ない（東京都）。
	×	一般小売店〔食料雑貨〕（経営者）	・大勢での会食ができない状態では大箱の飲食店は商売にならない。新型コロナウイルス感染者数も増加傾向にあるなか、東京オリンピックの強行開催は、国民、商業者共に自分勝手な行動に向かう引き金となる可能性が大きい。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	百貨店（店長）	・東京オリンピック、パラリンピック開催によるプラス効果より、新型コロナウイルス感染拡大のリスクが懸念される。感染拡大のスピードとワクチン接種による集団免疫の獲得との競争かと考えている。企業としては、引き続きステークホルダーへの安心安全に向けた役割を果たしていく（東京都）。
	×	スーパー（経営者）	・夏場ということもあり、例年でも売上の落ちる時期である。
	×	その他専門店〔雑貨〕（営業担当）	・この1年の来客数は、新型コロナウイルスの新規感染者数の推移と比例している。東京オリンピック後に第5波が予想されるため、2～3か月後は悪化する（東京都）。
	×	その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・夏のボーナスもマスコミから景気の良いニュースがなく、新型コロナウイルスの感染リスクが更に高まった折には、更なる景気の冷え込みが想定される（東京都）。
	×	その他小売〔生鮮魚介卸売〕（営業）	・東京オリンピックによる新型コロナウイルス感染第5波が心配である（東京都）。
	×	その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・東京オリンピック開催による新型コロナウイルス禍のマイナス影響の可能性が強い。
	×	一般レストラン（経営者）	・東京オリンピックをしたところで、人出が増えるわけではない。逆に、世の中の人には出てくれるな、酒は飲むなど言われては、飲食店としては商売が成り立たない。何か方向転換しないと生きていけない。
	×	一般レストラン（経営者）	・東京オリンピック中は、恐らくテレビ観戦で外出を控えるだろうから、当然外食は減る。テイクアウトとデリバリーはある程度期待ができるのではないだろうか。しかし、東京オリンピック、パラリンピック終了後は再び新型コロナウイルス感染拡大の恐れがあり、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の再発出も考えられるので、景気は悪化する。
	×	都市型ホテル（スタッフ）	・東京オリンピック、パラリンピック開催により、新型コロナウイルスの感染が拡大し、緊急事態宣言が再発出され、宿泊やレストランのみならず婚礼宴会も販売がストップし、飲食や旅行業なども含め再び厳しい状況に陥る。ワクチン接種も進むだろうが、感染拡大のスピードに追いつかず、景気は悪化する。
	×	旅行代理店（従業員）	・東京オリンピック期間は緊急事態宣言等の再発出を控えるが、終了してしまえば、4度目の再発出をマスコミがあおると予想している。秋以降に集中する学校団体の案件がキャンセルになる懸念がある。
	×	タクシー運転手	・東京オリンピックを前にして、どうなるのか全く予想がつかない。ただ言えるのは、昼間の利用がそこそこあっても、夜は無線が鳴らず、駅出しのみの仕事になっているため、売上の目安が立たない。まだまだこのような日が続くだろう。
	×	ゴルフ場（従業員）	・新型コロナウイルス感染者数が減少傾向になると、夜間や昼間の滞留人口が増え、再び感染者数が増加する。この繰り返しである。変異株による感染拡大も懸念されており、景気の回復は想定し難い。
	×	ゴルフ場（経理担当）	・東京オリンピックでの新型コロナウイルス感染拡大に係る専門家の意見に耳を貸さず、有観客開催を強行する政府や組織委員会の姿勢は、Go To Travelキャンペーン失敗の教訓が全くいかされていない説明不足の非科学的で非合理的なものに過ぎず、ざる状態の入国管理とあいまって、東京オリンピック、パラリンピックが終わる3か月後は、爆発的感染拡大により「安全安心なオリンピック」は妄言であったことが露呈すると考えられる。そうした状況でも飲食店への自粛頼みを延々と続ける対策に国民は疲弊しており、新型コロナウイルス封じ込めへの協力は得られにくく、景気回復を論じる余地は皆無である。
	×	その他サービス〔学習塾〕（経営者）	・夏期講習の申込みが始まり、広告も同じように出しているが、外部生からの問合せ件数はかなり減っている。先行きは悪くなる。
	×	その他サービス〔フィットネスクラブ〕（マネージャー）	・身の回りの新型コロナウイルス感染状況が改善されていない（東京都）。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
企業 動向 関連 (南関東)		食料品製造業（経営者）	・徐々に飲食店で酒が飲めるように状況が動いてくると思うので、それを想定している（東京都）。
		金融業（従業員）	・地域の製造業、小売業の多くでは、取引先の不振や大口取引の停止など、新型コロナウイルス感染症の影響が根強く、この1年、先の見通せない状況が続いてきたが、前年同期と比べると持ち直したという声がちらほら聞かれるようになっている（東京都）。
		その他サービス業〔ソフト開発〕（従業員）	・案件が増えてきている。新型コロナウイルスのワクチン接種が進んでいるからか、安定している。
		出版・印刷・同関連産業（所長）	・東京オリンピックの開催と同時に、クライアントから見積りの引き合いが増えてきていると感じるので、少しずつ良くなる。
		輸送用機械器具製造業（総務担当）	・大手自動車メーカーではモデルチェンジを含め新車投入もあるため、販売台数の増加を見込んでいる。部品メーカーも引っ張られる形で売上増加が見込まれる。
		その他製造業〔化粧品〕（営業担当）	・新型コロナウイルス禍明けの動向によるが、美容消費は増えると予測している（東京都）。
		建設業（従業員）	・2～3か月先の受注は、決まっているものがある。
		通信業（広報担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、経済活動が徐々に正常化してくる（東京都）。
		金融業（従業員）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が実際に進んでいると実感できることによって、景気回復に向けたマインドも向上してきて、消費者の消費に対する気持ちが前向きになっている。まずは、全国民に対してワクチン接種が進むことが望まれる。
		不動産業（従業員）	・緊急事態宣言解除により、人の動きが増加すると期待できる（東京都）。
		その他サービス業〔ビルメンテナンス〕（経営者）	・金額は決まっていないが、一部の得意先から値上げ申請を前向きに検討してくれるという回答が来ている（東京都）。
		その他サービス業〔情報サービス〕（従業員）	・インターネットを活用した様々な取組が進み、新たな設備導入につながる傾向はしばらく継続する。
		食料品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進めばと思うが、東京オリンピック開催が逆効果にならないことを願っている。
		出版・印刷・同関連産業（経営者）	・東京オリンピックが始まったらどうなるか、今から楽しみである。
		出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・法人関係は会社設立印が徐々に増えてきている一方で、実印、銀行印を注文する個人客が、同じかやや減ってきている。合わせると変わらない見通しである（東京都）。
		化学工業（従業員）	・自動車関連の受注が大分減っている。新型コロナウイルスの話題ばかりで、受注が伸びていない。
		化学工業（総務担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、個人消費が回復し、各社の販売促進活動が回復することに期待したいが、インバウンド需要の回復は望めず、東京オリンピック、パラリンピックの仮需要もみられない。原材料の値上げが厳しい。
		プラスチック製品製造業（経営者）	・3か月先ではまだ新型コロナウイルスの収束は見えない。全体が動き出すにはもう少し時間が必要かと思うので、景気そのものは落ち込んだままで変わらない。
		金属製品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大、東京オリンピック、ワクチン接種などに課題はあるが、身の回りの景気は変わらない。
		金属製品製造業（経営者）	・海外の仕事が少し動き出したようである。国内の設備関係の仕事が動かず、仕事量がやや少ないものの、少しは動き出したように感じている。
	電気機械器具製造業（経営者）	・東京オリンピックは既に過去のものになっており、新型コロナウイルスの影響がこの先どうなるのか、現時点では見通せない（東京都）。	
	建設業（経営者）	・新型コロナウイルスが収束するまで、景気は上向きにならない。	
	輸送業（総務担当）	・荷主の国内出荷は低迷し、輸出は全くない。今後もこの状況は続く。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		金融業（総務担当）	・新型コロナウイルスワクチンの接種状況や、東京オリンピック開催により感染が拡大し、再び緊急事態宣言等が発出されれば、景気は減退する。取引先の倒産も増加傾向にあり、個人客のローン延滞や企業融資の条件変更も増えていることから、景気は悪化傾向にある（東京都）。
		広告代理店（営業担当）	・好調の兆しとなる要素が余り入ってきていない（東京都）。
		税理士	・東京オリンピック開催まで20数日というのに、全然盛り上がり感が伝わってこない。開催してもいいのかというくらい新型コロナウイルスの感染リスクもある。飲食店は全然客が入らず、非常に苦しい経営状況だという話も聞こえてくる。実際のところ、各産業にどのようなメリットがあるのか、きちんと補助金や助成金があるのか、全然分からない（東京都）。
		社会保険労務士	・良くなる要因が見当たらない（東京都）。
		経営コンサルタント	・新型コロナウイルスの感染拡大懸念は依然としてあり、今後の景気動向を左右する。東京オリンピック開催による景気浮上よりも、懸念が大きい。
		その他サービス業〔廃棄物処理〕（経営者）	・取引先工場等の稼働率上昇のめどが見えず、売上減少の状態が続くものと予想される。
		その他サービス業〔映像制作〕（経営者）	・毎年秋に行われている全国的な教育イベントも、今年はまだ決定していない。新型コロナウイルスのワクチン接種が学生や生徒など若い年代に行き渡るのはまだ先になると思われるので、この状況は変わらない（東京都）。
		その他サービス業〔ソフト開発〕（経営者）	・東京オリンピックのプラス要素と、新型コロナウイルスのマイナス要素が測れない（東京都）。
		プラスチック製品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で先送りにされている医療品容器の新企画が立ち上がれば成績は回復するが、まだ確たる見通しが見つからない。
		一般機械器具製造業（経営者）	・自動車、特に乗用車は、新型コロナウイルスの前から需要が落ちてきており、減産傾向のまま変化がみられない。細かな状況の変化はあるものの、外出自粛ムードなどが後押しし、総じてやや悪くなる傾向にある。
		精密機械器具製造業（経営者）	・半導体不足、木材不足など物価上昇傾向にあり、物がなくなってきたことが怖い。
		その他製造業〔鞆〕（経営者）	・何といても今は新型コロナウイルスの問題である。ワクチンに期待するばかりである。
		建設業（経営者）	・新型コロナウイルス禍と材料高騰により、発注を控える客が増える。
		輸送業（経営者）	・東京オリンピック開催に伴う交通規制や、夏季休暇等による稼働日数の減少から生じる売上減少に加え、燃料価格の上昇ピッチが速くなってきており、先行きが懸念される（東京都）。
		金融業（役員）	・特に、飲食業や小売、サービス業等は、新型コロナウイルスの影響を大いに受けている。また、建築や製造業についても、資材不足や高騰等の影響が出始めており、対策を迫られている。
		不動産業（経営者）	・賃貸売買は来客数も少なく、また、リモートワークのためにアパートでは苦情が増え、故障の件数も増加している。いずれにせよ、新型コロナウイルスの早急な収束を念ずるのみである（東京都）。
		広告代理店（経営者）	・新型コロナウイルス以前に、人口減少による影響がある（東京都）。
		広告代理店（従業員）	・新型コロナウイルスの影響でイベントの実施が少ない。
		その他サービス業〔警備〕（経営者）	・今後は新型コロナウイルス関係の検温や消毒業務が減っていくとみている。
	×	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・例年、7～8月は景気が悪い（東京都）。
	×	建設業（経営者）	・先行きはまだまだ不透明である。
	×	建設業（営業担当）	・現状では打合せしている物件数が少ない上、工事時期に関しては社会情勢を加味しながら検討していく考えの客が多いので、3か月後は現状よりも悪くなる。
	×	経営コンサルタント	・半導体の入手困難が、国内メーカーに多大な影響を及ぼしており、それが中小企業の大規模な売上減少に反映されている（東京都）。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
雇用 関連 (南関東)		人材派遣会社(営業担当)	・下期はまだ様子が見えないが、上期は増加傾向にある(東京都)。
		人材派遣会社(社員)	・採用数は年計表ベースで100%強が3か月継続しており、増加トレンドが顕著になっている。当面増加トレンドが続くものとみている(東京都)。
		人材派遣会社(営業担当)	・新型コロナウイルスのワクチン接種に伴い、製造業の業界全体で前年からの景気後退をばん回すべく対策を講ずることが予測される。
		求人情報誌製作会社(広報担当)	・東京オリンピックの開催によって、多少は景気が回復するのではないかと(東京都)。
		新聞社[求人広告](担当者)	・新しい事業展開を計画しているところから何社か話をもらっている。また、ある程度新型コロナウイルスが収束してくれば、事業所などを出したいというところもあるので、期待したい。
		人材派遣会社(社員)	・引き続き、人材確保が難しい状況が続くそうである。
		人材派遣会社(社員)	・新型コロナウイルス禍が数か月で落ち着く可能性もありそうだが、東京オリンピックの開催状況次第では、感染が再拡大し、元の状況に戻る(東京都)。
		人材派遣会社(社員)	・景気の見通しが立たない以上、採用の絞り込みが解除されることはない(東京都)。
		人材派遣会社(社員)	・一時的かもしれないが、求職者数が少ない。一方で、求人数は堅調なため、全体的には現状維持とみている。
		人材派遣会社(支店長)	・潜在的な転職希望者は多いと思われるが、新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、どの程度リスクが軽減されるかによる(東京都)。
		人材派遣会社(経理担当)	・派遣労働者数は秋まで余り増加はせず、現状のままで推移するとみている。ただし、オーダー件数が例年より少ないことが、今後の動きにおいての不安要素である(東京都)。
		人材派遣会社(営業担当)	・まん延防止等重点措置が続く限りは経済活動が抑制され、求人も落ち着いたままとみている。
		求人情報誌製作会社(営業)	・この先すぐに景気が良くなるような事象が起きる予定がない。世の中の消費が良くなるような政策でもあれば別だが、今のところない。現状維持がいいところではないか。
		求人情報誌製作会社(所長)	・この数か月、状況が変わっていない。
		職業安定所(職員)	・新型コロナウイルスのワクチンを打ち終わるまでは、状況は余り大きく変わらない。
		職業安定所(職員)	・新型コロナウイルスワクチン接種の拡大により、感染が収束に向かうことが経済活動復活への要件となるが、東京オリンピック開催による感染者数増加の懸念や、首都圏の感染者数にリバウンドの兆候があることなど、状況が急変する要素が多く、先行きが全く見通せない。
		職業安定所(職員)	・緊急事態宣言が解除されたものの、求職者の長期滞留が顕在化しており、求職者を吸収できるだけの求人数の伸びは見込めない状況が予見される(東京都)。
		職業安定所(職員)	・有効求人数が4か月連続で僅かながら増加していたが、再び4か月前の水準まで減少している。前年比では5か月連続で改善傾向にあるが、大きな変化はみられない。
		民間職業紹介機関(経営者)	・東京オリンピックが終わり、新型コロナウイルスのワクチン接種が進む年末から、企業活動が活発になるだろう。そのため、インターンシップ募集には積極的な企業が多いが、今のところ時期を待っている様子である(東京都)。
		民間職業紹介機関(経営者)	・企業活動が制限され、前向きな取組が停止している。社員の年齢が上がるだけで、新規採用はない(東京都)。
	民間職業紹介機関(経営者)	・経済活動の活性化のための施策が全く足りない(東京都)。	
	学校[大学](就職担当)	・東京オリンピックの強行開催により新型コロナウイルス感染が再拡大し、緊急事態宣言などで人流を止めてしまう(東京都)。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	x	*	*

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (甲信越)		高級レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が広がり、変異株による感染拡大が収まるとみている。
		その他サービス〔葬祭業〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、人を呼ばなくても葬儀を済ませることができるので、お金の掛からない方法が選ばれている。新しい流れである。
		商店街（代表者）	・3か月先になれば、新型コロナウイルスのワクチン接種もかなり進んで、良くなると期待している。
		商店街（代表者）	・余り良いことではないが、新型コロナウイルスのワクチン接種が進んで、高齢者を中心に週末の人出が増えてきている。東京オリンピック、パラリンピックの開催で、再度の感染拡大がないことを望む。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・新型コロナウイルス騒ぎのなか、猛暑と東京オリンピックが重なり、夏物商材、特に、エアコン、テレビ等に期待できる。
		百貨店（店長）	・現在は高齢者向けの新型コロナウイルスのワクチン接種の真ただ中で、来店客数の少ない状況が続いている。今後、百貨店の主要顧客である高齢者及び高い年齢層への接種が進んでくれば、売上も上向くのではないかと。
		スーパー（店長）	・今後、新型コロナウイルスのワクチン接種が進んで、感染者が少しでも減ってくれば、景気は上向くような気がする。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が行き渡ってくると、イベント等も開催できるようになり、人が動く。
		コンビニ（経営者）	・東京オリンピックの開催と新型コロナウイルスのワクチン接種率の上昇により、人流が増える。
		乗用車販売店（経営者）	・現在、半導体不足で新車供給が滞っているが、2～3か月後には解消される見通しで、受注残が売上計上できると期待している。
		スナック（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種を2回済ませた高齢者たちが、酒を飲んだり外食したりするようになってきている。このまま回復していけるように期待する。
		観光型旅館（経営者）	・緊急事態宣言が解除されて、夏の予約が入り始めている。しかし、前年は7月後半からGo To Travelキャンペーンが始まったため、当初は東京以外の首都圏からのファミリーやカップル客で、売上の下支えをしてもらっていた。今年はそうした制度がないため、首都圏からの来客が増えない。前年も例年の半分の入込だったが、それよりもやや悪い状況が続いている。
		都市型ホテル（支配人）	・世間で言われるとおり、新型コロナウイルスのワクチン接種率が上がっているせいか、客や取引業者の会話内容聞いても、雰囲気は良くなってきている。
		都市型ホテル（スタッフ）	・感染状況が良い方向に向かったとしても、新型コロナウイルスのワクチン接種が終わらない限りは動かないという状況になってきている。しかし、周辺ではワクチン接種が早まってきている話をよく耳にするので、夏以降での回復に期待が持てる。
		都市型ホテル（スタッフ）	・東京都の緊急事態宣言が6月20日に解除されて以降、この1週間で、東京からの宿泊客が全体の50%となっている。それまでは30%台である。やはり、東京からの来県が増えると宿泊客もおのずと増える。また、当県独自のキャンペーンやGo To Eatキャンペーンの再開が、追い風となって良くなってくとみている。
	旅行代理店（副支店長）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が順調に実施されれば、旅行の受注が徐々に回復する。現状は10月以降の引き合いが見え始めているものの、感染再拡大の状況次第で景気回復は減速する。	
	通信会社（社員）	・異業種とのコラボやキャンペーン効果で、通信サービスは需要が増えてくると思うが、放送サービスは新たな一手が必要である。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		観光名所（職員）	・新型コロナウイルスのワクチン接種も進み、感染状況が落ち着いて、徐々に観光客が戻ることを期待している。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・東京オリンピック効果を期待したいが、消費者の動きはまだみえてこない。人の動きは出始め、飲食に向かう消費は増加するのではないかと。
		百貨店（営業担当）	・現在、新型コロナウイルス感染者数が増えている。ワクチン接種がある程度進まないと、良くはならないのではないかと。
		スーパー（経営者）	・秋になり、少し新型コロナウイルスが落ち着けば、イベントの予定があるので、仕事も増える予定である。それまではかなり厳しい。
		コンビニ（経営者）	・ワクチン接種も大分普及しているが、新型コロナウイルスの影響で、なかなか販売量が上向いてこない。今後3か月もこの状態が続くのではないかと思い、経営状態が厳しいことは覚悟している。
		コンビニ（店長）	・東京オリンピックの開催や、長期予報でかなり暑くなる予報も出ている。余り暑くなるようだと、客は家に籠もる状況が続いてしまうので、若干下がるかもしれないが、プラスマイナスゼロの形で、余り変わらないのではないかと。
		衣料品専門店（経営者）	・今のこの状況では良くなるとは思えない。
		家電量販店（店長）	・新型コロナウイルス対策のめどがつくまでは、厳しい状況が予想される。
		自動車備品販売店（従業員）	・東京オリンピックの関係もあり、様子見の状況が続く、景気は変わらない。
		その他専門店〔酒〕（店長）	・東京オリンピックも終わっていると思うが、当店の飲食店が良くなると浮上していかない。専門家の意見等と同じで、元の生活に戻るということは、なかなか考えにくく、相変わらず厳しいのではないかと。
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルス感染者数の動向によるが、顕著な回復は見込めない。逆に、東京オリンピック後の感染リバウンドが気になる。
		一般レストラン（経営者）	・相変わらず、低調な動きで復活材料が見当たらない。新型コロナウイルスのワクチン接種が進みつつあるが、影響は少なそうである。
		スナック（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種がやっと進んできているが、まだ、周りでは接種した人が余りいない。ある程度接種してくれれば、客の流れもまた良くなるのではないかと。もう2～3か月は掛かる。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスのワクチン接種がどのくらい進むか、あるいは世間の噂によって、大分変わってくる。
		通信会社（経営者）	・東京オリンピックは開催されるようだが、テレビ中継や競技情報等が少ない上に、新型コロナウイルスの報道ばかりで関心が低く、今のところ営業機会とはならない。
		その他サービス〔クリーニング〕（経営者）	・当エリアでは、新型コロナウイルスのワクチン接種が大変遅れているので、今のままだと思う。
		設計事務所（経営者）	・新規依頼の少ない状況は、しばらく続く。
		住宅販売会社（経営者）	・新型コロナウイルス禍のなか、引き続き、別荘需要は底堅い動きである。
		商店街（代表者）	・回復の兆しが全くない。
		スーパー（経営者）	・来客数の減少は変わらず、家計防衛が始まっている可能性がある。ボーナス後と東京オリンピック、盆の帰省に注目している。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの変異株が増えてきているため、客足も遠のくのではないかと。
		設計事務所（経営者）	・木材不足で価格が高騰し、新規案件の見通しが立たない。
	×	一般小売店〔薬〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、客足も鈍る。
	×	衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスの影響が前年よりもひどい。
	×	スナック（経営者）	・本当に悪化状態で、何をどうすればよいか迷いに迷っている。新型コロナウイルスの影響で、外の様子をうかがうこともできず、苦痛な日々を送っている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由	
	×	その他レジャー施設 [ボウリング場] (経営者)	・新型コロナウイルスの感染状況次第である。ワクチン接種が進み、感染が抑えられていかない限り、景気が上向くことはない。	
企業 動向 関連 (甲信越)		金属製品製造業 (総務担当)	・半導体不足の影響があるので、良くなる。	
		新聞販売店 [広告] (総務担当)	・東京オリンピック開催により新型コロナウイルスの感染が拡大するかどうかには左右されるところが大きい。現状維持と予想して考えると、ワクチン接種が更に進むことで、経済活動は現在より活発になる。	
		食料品製造業 (営業統括)	・新型コロナウイルスのワクチン接種が徐々に進んでいるが、十分に行き渡っておらず、急激に状況が変化するとは考えられない。厳しい環境は変わらない。	
		食料品製造業 (総務担当)	・新型コロナウイルスのワクチン接種が終わっていない状況で、東京オリンピックを迎える。感染者が再度増加し、需要回復など望めず、予想される材料価格高騰の波もかぶって、良い条件が見い出せず、変わらずに悪いと予想する。	
		窯業・土石製品製造業 (経営者)	・先の見通しは、全く分からない。	
		一般機械器具製造業 (経営者)	・半導体不足による取引先の減産や調達コストの影響もあり、明るい状況とはいえない。	
		電気機械器具製造業 (経営者)	・受注量はやや増えているものの、電子部品関係の流通が悪い。	
		電気機械器具製造業 (営業担当)	・鉄、ステンレス等の金属価格高騰やナイロン系樹脂、半導体不足による値上がりと材料の品薄が、今後の生産及び利益率にかなりの影響を及ぼしそつである。	
		その他製造業 [宝石・ 貴金属] (経営者)	・新型コロナウイルスの感染状況によって全く変わってくる。積極策を取るには、疑心暗鬼のところもあり、様子見状態が続く。	
		建設業 (経営者)	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、物価の安定や資材等の納入が元に戻るまでは、景気は変わらない。	
		金融業 (調査担当)	・製造業の受注は堅調ながら、半導体不足の影響に加え、プラスチック等の原材料不足、非製造業でも木材価格の上昇の影響が住宅建築に及び始めている。景気押し下げ要因が広がる懸念がある。	
		金融業 (経営企画担当)	・新型コロナウイルスのワクチン接種率が徐々に上がってきており、経済が正常化に向かうことを願いたい。ただし、東京オリンピックの開催等のイベントがあることを踏まえると、不安要素が多い。	
		×	食料品製造業 (製造担当)	・原材料の高騰から商品の値上げをしているが、やはり販売点数は落ち込んでいる。
		×	出版・印刷・同関連産業 (経営者)	・毎月の資金繰りが大変である。
雇用 関連 (甲信越)		-	-	
		職業安定所 (職員)	・緊急事態宣言が解除され、ワクチン接種が進むことで、新型コロナウイルス禍でダメージを受けた業種が、徐々に回復していくものと思われる。	
		職業安定所 (職員)	・新型コロナウイルスのワクチン接種が急速に拡大しているため、やや良くなる。	
		求人情報誌製作会社 (経営者)	・新型コロナウイルスのワクチン接種は、現在高齢者から加速して打っているが、64歳から若年層までの接種が進まないため、景気の回復が望めないため、求人はまだまだ厳しい状況が続く。	
		職業安定所 (職員)	・新型コロナウイルスの感染拡大の先が、まだみえていない。当県の場合は余り影響がない部分もあり、状況はそれほど変わらないと考えている。	
	人材派遣会社 (営業担当)	・ボーナス支給時期だが良い話がない。消費はしばらく生まれないうらう。		

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	x	-	-

6. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (東海)		コンビニ（商品企画担当）	・ワクチン接種の対象がいよいよ若年層に拡大することから、秋口以降はこれまで自粛が継続していた旅行・帰省需要が活発化すると予測する。
		都市型ホテル（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種率が向上して景気は良くなると思う。
		商店街（代表者）	・ワクチンを皆接種するようになるため、ぎりぎりセーフかと思う。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	・景気が良くなってほしいという希望的観測である。
		百貨店（企画担当）	・当地では高齢者のワクチン接種、職域接種が順調に進んでいると聞いており、接種を済ませた人数が増えれば増えるほど消費者の気持ちが前向きになって、旅行や人との接触に積極的になると思われる。
		百貨店（経理担当）	・ワクチン接種が進み、景気は改善すると思うが、変異株の問題により、一気に景気回復とはいかないと考える。
		百貨店（営業担当）	・ワクチン接種が進めば自粛生活から解放されて、外出や外食が増えて経済活動もそれに伴い回復していく。
		百貨店（計画担当）	・高齢者を中心にワクチン接種が想定以上に進んでいると感じられ、今まで来店しなかった客の来店も期待できる。また、富裕層では高額品の買上が好調に推移しつつある。
		百貨店（販売担当）	・少しではあるが上向き傾向を感じる。来客数は少し戻っている。
		百貨店（業績管理担当）	・ワクチン接種が進むことにより、今まで外出を控えていた高齢者層の外出増加が期待できる。
		スーパー（経営者）	・新型コロナウイルス感染予防ワクチン接種のめどが立ち、参拝客の増加に期待している。
		スーパー（店員）	・東京オリンピックが開催されそうで、自宅観戦での食事関連の売上が見込める。
		スーパー（販売担当）	・新型コロナウイルスの感染が収束すれば人出がもっと多くなり、来客数が増えて売上も良くなる。
		スーパー（販売担当）	・新型コロナウイルスへの不安がワクチン接種により弱まってきたようで、需要喚起できた商品の単品拡販が売上向上につながってきている。白物家電の動向も単価アップで良くなっている。
		コンビニ（店長）	・ワクチン接種が進み世の中の潮目が変われば、売上も変わってくると思う。秋以降に期待する。
		コンビニ（企画担当）	・ワクチン接種が今後進んでいくと人の動きが活性化してくるため、徐々に改善していくと考えられる。
		コンビニ（エリア担当）	・コロナ禍は継続するが、夏季に向けての需要は、エンターテインメントキャンペーンによる誘客やオリジナル商品の強化で回復すると考えている。
		コンビニ（エリア担当）	・ワクチン接種が進み、徐々に消費活動が活発化していく。
		コンビニ（エリア担当）	・ワクチン接種が進み人の動きが少しずつ回復してくることで、来客数が増加する期待が持てる。緊急事態宣言明けの当月下旬からも、来客数は微増傾向にある。また、夏季ということもあり飲料等の販売伸長も見込める。
		コンビニ（店長）	・東京オリンピックの開催やワクチン接種により、経済の活性化が期待できる。
	コンビニ（店員）	・夏休みなので家族での来店に期待したい。	
	コンビニ（本部管理担当）	・コロナ禍のなか、ワクチン接種が広がり東京オリンピックも開催されれば世の中の景気も上向くと期待する。年間で夏季シーズンが一番の繁忙期なのでプラス要因が重なり、景気上昇を示唆している。	
	衣料品専門店（売場担当）	・コロナ禍により外出がままならなかった人々の外出が、最近多いように思う。これからワクチン接種が広がり安心感が増せば多くなると思う。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		衣料品専門店（売場担当）	・ワクチン接種が進むなか、高齢者の接種率が高まっている。時間や金銭に比較的余裕があると見込まれる高齢者による個人消費が高まると、景気は回復するのではないかと思われる。
		乗用車販売店（経営者）	・東京オリンピック開催で更にモチベーションが上がることで、需要が増すことを期待する。
		乗用車販売店（従業員）	・まだワクチン接種が高齢者にとどまっているが、今後若者を含め接種者が多くなってくれば、店頭で客を積極的に誘致できるようになると思う。これまで会って話ができなかった分、客の動きが活発になることを期待する。
		乗用車販売店（従業員）	・希望的観測も入っているが、東京オリンピックの効果が少しでも出てこないかと期待している。
		乗用車販売店（営業担当）	・ワクチン接種が進み規制が解除されつつある世界の状況から、日本もこのまま接種が進めば大丈夫なのではないかという雰囲気、客からも感じられる。徐々に受注残も増えてきている。
		その他専門店〔貴金属〕（経営者）	・緊急事態宣言解除後、東京オリンピック開催を皮切りに景気回復を期待する。現実的には、まずは旅行からゆっくりと景気回復し、ぜいたく品・嗜好品である貴金属の回復には、まだかなりの時間を要すると思われる。
		その他専門店〔雑貨〕（店員）	・東京オリンピックムードが曲がりなりにも消費マインドを高めると思われる。
		高級レストラン（経営企画）	・ワクチン接種、飲食店の規制解除による回復を期待し準備している。既に週末や昼の営業では人出が増加し来客数が増加傾向にある。ただし、その影響から感染者数が増加すると新型コロナウイルスの第5波が心配である。
		一般レストラン（経営者）	・ワクチン接種率が国民の50%以上くらいになれば、自然と感染者数も減ってくると思う。そうなれば景気ももう一度持ち直してくる。
		バー（経営者）	・ワクチン接種も進み東京オリンピックもあり人出も戻ってきそうである。ただし、リバウンドや新たな変異株等が心配ではある。
		その他飲食〔仕出し〕（経営者）	・徐々にワクチン接種者が活動的になってくれば、おのずと良くなっていく。
		観光型ホテル（経営者）	・現在加速度的にワクチン接種が進んでいる。ワクチンはかなり抑止効果があり重症化が抑えられる。感染者数が減れば外へ出るという動きが徐々に出ることは明白で、今後は今よりは改善に向かうことが十分に考えられるため、景気はやや良くなると判断した。とにかく、飲食・外出に対する抵抗感の減少がマスク等で報知されれば、かなり影響があつて景気が上向くと感じている。
		都市型ホテル（営業担当）	・東京オリンピック、ワクチン接種の効果が雰囲気を変えることを期待する。ビジネスはまだまだ回復には程遠いが、先の予約は増えてくると思われる。
		旅行代理店（経営者）	・ワクチン接種の接種率が上がれば、旅行需要も戻ってくると考えている。
		旅行代理店（営業担当）	・ワクチン接種済みの人の割合が急激に増えているし、7月になると県レベルの宿泊割引や観光バスの助成金が復活するとの見通しが発出されたため、個人旅行は徐々に増えていくと予測される。新型コロナウイルス第5波のリバウンドが心配だが、ワクチンによる集団免疫が勝って、良い方向に進んでいくことを期待する。
		タクシー運転手	・当地域も含めてワクチン接種がかなり進んできており、大規模接種会場も増え大手企業での職域接種も進むと聞いているため、2～3か月後には効果が現れて旅行や飲食業も良くなると思う。特に夜の営業が12時頃までできるようになると、良くなると思っている。
		通信会社（営業担当）	・ワクチン接種をしている人が徐々に増えているため、感染を少しでも抑えられると思う。
		レジャーランド（職員）	・ワクチン接種率の向上により、前年よりは来場者数の増加が期待できるが、イベント入場者数の上限設定によっては、機会損失の可能性がある。新型コロナウイルス第5波の予兆があるため、最繁忙期である7～9月に掛けての感染拡大がないことを願いたい。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		観光名所（案内係）	・東京オリンピック・パラリンピックの成功が、1つの要因になると思う。
		ゴルフ場（支配人）	・8月は前年並みに入場者の予約が入っている。前年の8月以降の入場者数は新型コロナウイルスの影響を余り受けていない良い数字なので、今月が少し悪かった分、2～3か月先は少し良くなると判断する。
		美顔美容室（経営者）	・8月から例年どおりのキャンペーンが始まる。
		設計事務所（職員）	・飲食店の営業時間が元どおりになった時点で、景気は回復すると思う。
		その他住宅〔室内装飾業〕（従業員）	・大型リフォームの引き合いが数件入ってきており、今後受注につながる予定である。
		その他住宅〔不動産賃貸及び売買〕（営業）	・緊急事態宣言も解除され、この調子でいけば客足も回復し復調の兆しがある。
		商店街（代表者）	・東京オリンピック関連商品の動きが良くない。このままでは盛り上がり欠け、それに伴う商品も余り売れないと思う。
		商店街（代表者）	・今が底だと思っており、これ以上悪くなるともうお手上げ状態になるため、景気は変わらないと判断した。
		商店街（代表者）	・ワクチンの効果や接種率、あるいは変異株の出現等によって今後の景気が左右されるであろうが、差し当たり現状と変わらないと思われる。
		商店街（代表者）	・多分東京オリンピックの時期にかけて感染者数が増えていくと思う。変異株が増えていくと思うため状況は変わらない。
		商店街（代表者）	・超低空飛行から上昇する要因がない。
		一般小売店〔結納品〕（経営者）	・とにかく新型コロナウイルスの終息を願う。
		一般小売店〔高級精肉〕（常勤監査役）	・東京オリンピックが心配である。
		一般小売店〔贈答品〕（経営者）	・東京オリンピックが開催される予定で進められているが、地方においては、コロナ禍で閉塞感のある人との付き合いや経済がまだ3か月先でも続いていると思う。安心して世の中に出られるように新型コロナウイルス対策がきちんとできてウイルスの感染が収束すれば、良好にいくと思われるが、現時点では3か月先も変わらない状況であると思う。
		一般小売店〔酒類〕（経営者）	・7月下旬～8月のお盆にかけて新型コロナウイルスの第5波かといわれている状況では、仮に酒類販売が全面解除となっても若い人など限られた人のみの飲食店利用が起こるだけで、飲食店の利用が以前のような形になるのは当面見込めない。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	・お盆に期待するが、まだまだ外出を控える人も多く、余り期待はできない。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	・新型コロナウイルスの第5波が既に始まっている。日本が沈没するかのようで先真っ暗である。
		一般小売店〔果物〕（店員）	・3か月ほどでは変わらない。
		一般小売店〔和菓子〕（企画担当）	・新型コロナウイルス感染の拡大が今後どうなるのか不透明で何ともいえない。
		一般小売店〔生活用品〕（販売担当）	・外出を制限する人もまだまだ多く、売上の回復には時間が掛かると思う。
		一般小売店〔書店〕（営業担当）	・一般にワクチン接種が行き渡らないうちは、営業活動にも制限が残る状態が続く。
		百貨店（売場主任）	・7月1日から本格的に夏のクリアランスセールが始まるが、持ち越しの商品が多いため、魅力的な商品ではなくいつもと変わらない品ぞろえになる。常連客は早々と来店するため良い物は先に売れていくが、クリアランスだから買おうという購買意欲が湧くかどうかは不明で、来客数も厳しいと見込まれるため、売上にはつながらないと思う。
		百貨店（総務担当）	・変異株のまん延などが非常に危惧される場所であり、集客がまだまだ戻らない状況である。東京オリンピック中は家の中で過ごす人も相当数あると想定され、売上にもなかなかつながらず、別の意味で厳しい状況が続くと想定している。
		百貨店（経理担当）	・変異株などの新型コロナウイルスのまん延が懸念され、ワクチン接種の進捗と東京オリンピックの開催という景気への好材料を打ち消す可能性が高いと考える。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		百貨店（販売担当）	・緊急事態宣言が明けて購買意欲が戻ってきているが、新型コロナウイルス発生以前のような兆しは見られない。ワクチン接種が進めば、ゆっくりと好転していく可能性はある。
		スーパー（店長）	・夏の需要は高まる予測だが、平日の落ち込みはカバーできない予測である。
		スーパー（総務）	・新型コロナウイルスにより東京オリンピック需要も期待できないし、当地のワクチン接種率はワースト5くらいで外出等の購買意欲の要因がないと思われる。
		スーパー（営業企画）	・過去1年間のコロナ禍のなかで、内食需要は定着してきた感があり、感染状況によって以前ほど大きく左右されないようになってきていると感じる。
		スーパー（支店長）	・まだまだワクチンが行き渡っていない状況では、明るい材料はなく厳しく不安な日々が続いていくと思われる。もう少し時がたってワクチンが潤沢に行き渡れば明るい兆しとなり、経済も徐々に回復すると思う。
		コンビニ（店長）	・まん延防止等重点措置は解除されたが、当地の飲食店には、まだ時短要請があり、自粛ムードがまだ残っているように思われる。
		コンビニ（店長）	・たとえ新型コロナウイルスの感染が収束に向かうとしても、すぐには消費が戻らない。当店の外的環境もほとんど変わらないと思うため、回復するにしても、それほどすぐには回復しない。
		コンビニ（商品開発担当）	・新型コロナウイルス次第、また、ワクチン接種次第であるが、緊急事態宣言とまん延防止等重点措置の繰り返しで先行きが見渡せない。売上の伸びる時期が新型コロナウイルスの感染拡大抑止ポイントと重なる流れであり、この繰り返しの風潮が変わらない以上、当面明るい兆しはないと予想される。
		衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が行き渡り収束がみえれば、少し外出控えが緩和すると思う。完全終息にはまだまだ時間が掛かる。
		衣料品専門店（店長）	・周りの公共工事減少、外国人実習生の減少、イベント再開の遅れなどで客の仕事が減少し、来客数の減少が続くものと考えられる。
		衣料品専門店（販売企画担当）	・必需品以外は動かない。
		家電量販店（店員）	・パソコンやエアコンはより高性能な機種が売れる傾向が続いているが、これ以上は伸びそうにない。
		家電量販店（営業担当）	・感染対策やワクチン接種において遅れや接種率の鈍化が見込まれ、また緊急事態宣言が発出されると思う。
		乗用車販売店（営業担当）	・ワクチン接種が進んでも、人の流れが拡大すれば新型コロナウイルス感染が拡大すると思われるので、結局、景気回復は難しいと思う。
		乗用車販売店（経営者）	・ワクチン接種が進み明るさは出るが、自動車販売は半導体不足の影響で先が見通せない。
		乗用車販売店（経営者）	・ワクチン接種の進展はあるものの、特に飲食業の客などをみていると、数か月で景気が戻るような状況とは思えない。
		乗用車販売店（従業員）	・単純に不透明で分からないというのが正直なところである。
		乗用車販売店（従業員）	・7月は半導体の関係で備品の一部が生産できず客に迷惑を掛けるのに加えて、新車の納期も大幅に遅れている。新型車の発表もあるが、納期がみえてこない。
		住関連専門店（営業担当）	・商業施設の店舗などの新築・改装がストップしている。マンションや戸建て住宅などのリフォーム物件についても、積極的な動きが見られない。
		その他専門店〔書籍〕（店員）	・夏休みの時期に入るが、前年我慢していた分レジャー代に流れるのではないかと考えられる。イベントなどもまだまだ自粛が続くため、書籍は前年のような売上は見込めない。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（経理担当）	・売上高は前々年比マイナス8.5%、前年比プラス27.5%であった。来客数は前々年比マイナス12.7%、前年比プラス29.7%であった。
		一般レストラン（経営者）	・良くなる要素が見当たらない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		一般レストラン（経営者）	・現状維持を目標に営業するしかない状態である。
		一般レストラン（従業員）	・当地でもワクチン接種が85歳から順番に若い世代に移っているが、ワクチン接種が進んだとしても今後景気が上向くとは全く思っていない。それくらい今の居酒屋はひっ迫している。
		その他飲食〔ワイン輸入〕（経営企画担当）	・コロナ禍でも消費を楽しもうという意欲は底堅くあり、これまでと内容は変わっても、消費意欲はあると感じる。
		観光型ホテル（支配人）	・2～3か月後も、この地域の今のワクチン接種状況を見る限りまだまだ行き渡っていないと思われる。確かに9月以降の予約数は増えつつあるが、東京オリンピック開催の影響でまた緊急事態宣言が出るようなことになれば逆戻りとなってしまう、変わらず悪い状態が続くものと推察する。
		旅行代理店（経営者）	・自動車関連産業は好調だが、インバウンドに支えられていた空港やターミナル駅前の物販飲食店は、人流が回復するまで状況は変わらない。逆に、新常態といわれる勤務形態の変化などで、駅前の大型再開発も見直しとなり、これから数年は過剰店舗の淘汰期間となっていく。一方で、リニア中央新幹線建設による効果もあり、活気のある部分と再開発が止まってしまう地区との格差が広がり始めている。
		旅行代理店（経営者）	・ワクチン接種率がどうなるかであるが、夏休みも東京オリンピックも始まるので間に合わない予感がする。感染が広がる可能性もあるとニュースで報じているので、余り期待はしていない。せめて、早く国内旅行が自由にできるようにならないと旅行業界の景気回復は難しい。常に緊急事態宣言やまん延防止等重点措置と隣り合わせで、予約が入ってもすぐに取消しになると、もう心が折れそうである。
		旅行代理店（営業担当）	・東京オリンピック後の感染再拡大は誰もが予想できる。また、ワクチン接種が進んだところで、団体旅行などがすぐに需要回復するとは思えない。旅行自体に抵抗を覚えてしまった客の再取り込みには、環境整備の時間が掛かると思う。
		タクシー運転手	・客足が離れてしまった。
		通信会社（サービス担当）	・固定電話離れはこれからも続くと思うので、新規申込み以上の解約が増えてくると思う。
		通信会社（営業担当）	・コロナ禍の影響を受けにくい職種で在宅勤務もなく状況を見ながら営業も進めていたので、この先の景気は変わらないと思う。
		通信会社（営業担当）	・新しい機器導入を期待し、現状維持が続くと思う。
		テーマパーク職員（総務担当）	・新型コロナウイルスの新しい変異株が発生していて、感染者数も早いペースで増えている。ワクチン接種も始まったが油断できない状況である。
		その他レジャー施設〔鉄道会社〕（職員）	・ワクチン接種が行き渡るまでにまだ多くの時間が必要なようで平常時に戻りそうにない。
		美容室（経営者）	・まだまだ新型コロナウイルスの勢いが止まらず、ワクチン接種もまだ全員に行き渡っていない。客もイベントなどで出掛ける用事も少なく、来客数はまだそれほどたくさんは増えないと思う。
		美容室（経営者）	・やはり新型コロナウイルスの影響が大きい。変異株がどんどん出てくるため、これから先も不安で分からない。
		美容室（経営者）	・これから暑くなってくると徒歩で来店する客は遠のいてしまう傾向がある。新型コロナウイルスの感染が落ち着くまでは、今の状態と変わらないと思う。
		その他サービス〔介護サービス〕（職員）	・介護保険外のサービス開拓が課題となってくる。
		設計事務所（経営者）	・案件や実施設計への移行件数の減少は変わらない。
		住宅販売会社（従業員）	・新型コロナウイルス感染者数の今後の増加が懸念されるが、景気は横ばい状況になるかと思われる。
		スーパー（店長）	・ワクチン接種者が増えており、夏休みやお盆もあついで徐々に普通の生活へ戻りだし、外出や外食が増え、今までほど来店してもらえなくなると思われる。
		スーパー（販売担当）	・ワクチン接種が進み、規制が緩和されれば内食傾向は外食傾向に変わる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スーパー（商品開発担当）	・ここ2～3か月の売上を見ていくと、前年比100%で予算もぎりぎりの状態で推移しており売上の大きなプラスは見込めない。前年の新型コロナウイルスの影響を大きく受けている。
		スーパー（ブロック長）	・ワクチン接種の状況によるところが大きく予測は大変難しいが、感染者数が徐々に減少に向かえば、外食、外出や観光に消費が向かい、反動が来ると思われる。
		家電量販店（フランチャイズ経営者）	・今はワクチンの希望と東京オリンピック開催の不安がきつ抗しているようだ。ワクチン接種は予想より早そうだが、変異株による感染拡大で新型コロナウイルスの第5～6波が来たら、また営業時間短縮で売上減少が予想される。
		乗用車販売店（従業員）	・半導体不足に尽きる。新型車が出て、納期が半年以上掛かるとなると購入を諦める客も出てくる。サービス工場への入庫も減ってきており、車は売れない、メンテナンスも少ないというダブルパンチの状況では、先行きが不安である。
		都市型ホテル（従業員）	・予約数から景気はやや悪くなると判断した。
		通信会社（企画担当）	・自動車関連の会社が多い当地では、半導体不足の影響による自動車生産調整の影響が出ているように思う。また、ウッドショックの住宅産業への影響など、先が見通せない。
		テーマパーク（職員）	・ワクチンの接種率が早く上がってこない、今までの繰り返しになってしまう。
		パチンコ店（経営者）	・コロナ禍の影響で一部店舗が自主規制しているため、この状況が続くそうである。
		その他レジャー〔スポーツレジャー紙〕（広告担当）	・新型コロナウイルスの感染が再びまん延すれば酒類提供禁止という、相変わらずの愚策の繰り返しによるマインドの冷え込みなど、良くなる要素が見当たらない。
		理美容室（経営者）	・客との話から、皆余り歩いているので金を使わないのではないかと。
		住宅販売会社（従業員）	・グリーン住宅ポイントの件での動きが、12月完工を目標とすると7月契約では間に合わない物件もあり、鈍化すると思われる。
		その他住宅〔住宅管理〕（経営者）	・緊急事態宣言で止まっていた仕事も徐々に動き出してきたが、受注契約金額が低い上、材料費が上がっているため利益が大幅に減少している。
	×	百貨店（販売促進担当）	・間もなく新型コロナウイルスの第5波が最強レベルできて、ますますひどい状況になると予想している。
	×	コンビニ（エリア担当）	・良くなるという判断に至る要因が見いだせない。それよりも、大規模イベントによる人流の増加、気分の高揚や緩みにより新型コロナウイルスの感染は拡大すると思われる。再び緊急事態宣言が発出され、消費は冷え込むと考える。ワクチンが変異株にはさほど対抗できない事態になることを恐れている。
	×	テーマパーク（職員）	・また緊急事態宣言が出たりすると急激に落ち込む。
	×	理容室（経営者）	・新型コロナウイルスはいつまで続くのか。早く落ち着いてほしい。
	×	住宅販売会社（経営者）	・建築資材の木材の輸入量が少なくなっているため値段が上がっている。それにより販売値段も上がり、売行きが悪くなると思われる。
	×	住宅販売会社（従業員）	・アパートの空室も多くなり、リフォームも控えるようになってきた。
企業 動向 関連 (東海)		輸送用機械器具製造業（管理担当）	・緊急事態宣言の解除で東京オリンピック開催に向けて良くなると思う。
		電気機械器具製造業（総務担当）	・新型コロナウイルス感染症の終息、東京オリンピックの無事の開催により、日本全体が活気を取り戻すことに期待したい。
		輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	・秋以降に増産する方向であるという話が、業界では漏れ伝わってきている。
		輸送業（従業員）	・周りでワクチンの職域接種の話が進んでおり、それによりヒト・モノの動きも回復傾向に向かうと思われる。各荷主も同じような考えのようで、今年後半に皆期待しているようだ。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		輸送業（エリア担当）	・投資に係る不動産の売買案件が上ってきたということ は、先行きの好況感を予測した上での行動と思うので、人々の関心が投資に向かっていると思われる。潤沢に市中にあふれた資金が投資物件に集まって更なる投資を呼び起こすのは、人々の活況感を反映していると思う。今後もその動きは活発になっていくと思われる。
		通信業（総務担当）	・ワクチン接種率が40～50%に近づくため、高齢者の重症化リスクも低減していると思われ、今後は同時に感染者数も減少する。重症者が激減すれば、そもそも必要のない感染者数を毎日のように公表することなど不要になる。その上で、景気回復が進むと思う。
		金融業（従業員）	・ワクチンの職域接種等により接種率が上がることで、日常生活が戻っていくのではないかと考える。また、東京オリンピック開催に対する経済活動が生まれるのではないかと考える。
		金融業（従業員）	・当地では少しずつ新型コロナウイルスの感染が収束しているイメージもあり、身近な人々に聞くと少しずつ良くなっていくという答えが多かったため、景気はやや良くなると判断した。
		不動産業（経営者）	・今後は新型コロナウイルスのワクチン接種が進み徐々に外出する人が増加すると予想しており、売上は徐々に回復していき前年を上回ると思われる。
		広告代理店（制作担当）	・ワクチン接種がほぼ完了するという前提で、イベント等の再開も回復してくると思われる。
		新聞販売店〔広告〕（店主）	・徐々に規制解除の方向に入っているのと、アルバイトのなかでもワクチンを接種したと話す人が増えてきている。
		会計事務所（職員）	・酒を注文できるようになったから久しぶりに来店したという会話を耳にした。今後、再度の規制が発出されなければ、少しずつ客足が戻ってくるのではないかと考える。
		その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種や半導体の落ち着きなど、先行きとしては明るくなってきた。ただ、不況が長く、耐えられなくなってきた企業もそろそろ現れてきそうである。当社は不況のなかでも健全であったので、更に新しい物を作って勝負したい。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（顧問）	・新型コロナウイルスの感染が収束せず、ワクチン接種もなかなか進まず、コロナ禍の終息が見通せず、このままの景気が続くものと思われる。景気は現状と余り変わらない。
		化学工業（営業担当）	・引き続き半導体メーカー向け電材需要が好調である。
		化学工業（総務秘書）	・東京オリンピックは大きな制約のなかで開催され世界で論評されることになるが、その良しあしも景気に影響を与える。新型コロナウイルスで疲弊した会社が倒れ、何とか耐えた会社が復活し、まだら模様の景況となるのではないかと考える。
		窯業・土石製品製造業（社員）	・新規案件の引き合いが多く、見積りの成約率も高い。食器分野の特殊な製品を発売したところ順調で、現在の良好な状況が続くそうである。
		金属製品製造業（経営者）	・引き合いが減少している。
		一般機械器具製造業（営業担当）	・設備メーカー各社で受注が回復してきたため、部品の不足が問題となっている。受注しても製造ができない状況であり、納期が折り合わず受注できない案件も増えている。
		一般機械器具製造業（経営管理担当）	・受注量、販売見込みから景気は変わらないと判断した。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・安定した販売量が見込まれる。
		電気機械器具製造業（企画担当）	・製造業においては、アジア地区の新型コロナウイルスの感染が収束しないうちは生産も回復しないので、当面は横ばいレベルが続くと思われる。
		輸送業（エリア担当）	・まだまだ旅客便による航空貨物便の増加はないので、航空貨物が貨物専用便の会社に集中する状況は変わらないと思う。
		輸送業（エリア担当）	・通販は、緊急事態宣言が出て解除されても、引き続き増えている。一度通販を利用した人が、再利用しているとみられる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		通信業（法人営業担当）	・企業のなかで変化することに対する不安を払拭し、業務改革に取り組む意識を芽生えさせる必要がある。しかし、コロナ禍が収まって平穏無事な生活を取り戻してからになりそうな雰囲気を感じる。
		通信業（法人営業担当）	・統計上は改善しているように見えるが、庶民感覚では景気回復とはとても言い難く、財布のひもはまだ固いというのが実感である。
		金融業（企画担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、雰囲気は良くなっているが、全世代の国民への接種が行き渡るまで、当面現在の景気は続くと思われる。
		不動産業（経営者）	・様子見の状況は続く。
		広告制作業（経営者）	・新型コロナウイルスの影響は、今年一杯は続くと思う。
		行政書士	・景気は変わらないと思うが、園芸品を運んでいる業者は、今園芸ブームのため忙しいといっている。
		公認会計士	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進むこと、東京オリンピック等により、経済には良い方向の影響があると考えられる。コロナ禍のマイナスの影響は、貸借対照表に大きな負の遺産を残したため、これをリカバーするために10年程度は掛かると考えられる。
		会計事務所（職員）	・ワクチンの接種が進んでいるが、変異株の感染拡大もあり、この先もしばらくはまん延防止等重点措置と緊急事態宣言が交互に出されると思われる。一部の新型コロナウイルス特需のある業界を除き、全体の景気としては悪くなることはあっても良くなることはない。
		その他サービス業〔ソフト開発〕（社員）	・地域外の客が自重していたが、ぽつぽつと話がきている。
		鉄鋼業（経営者）	・今後、客側の与信や仕事の状況によっては販売先が減少する可能性が大きい。
		金属製品製造業（従業員）	・仕事量の不安感に増して、鋼材の高騰や品不足が止まりそうになく、コストアップを避けようがないが、価格転嫁も程遠く利益圧迫になる。
		建設業（役員）	・このところウッドショックにより輸入木材が品不足で高騰してきている。この数か月は、戸建て住宅は完成在庫の販売が好調になると思うが、その後の物件は売価が上がるので景気としては厳しくなることは必至である。
		建設業（経営者）	・政治家の指導力がないため、今後が心配である。
		建設業（営業担当）	・発注する仕事をより効率化若しくは事業主体でこなしていくと、仕事を受ける側としては仕事自体がなくなる。発注を見送りすると、行政でも一般企業の施設でも必ず対策を採らざるを得ないと思う。新型コロナウイルスの影響で入らなかった税収の埋め合わせとして、行政は落ち着いた後に財源をどうしていくのか、正直不安しかない。
		輸送業（経営者）	・土木、建築関連の荷量が下がり始めている。新聞報道にあるように建築のバックオーダーがなくなり、新規の受注も減っているのかもしれない。
		不動産業（開発担当）	・資材関係の値上がりにより事業進捗への影響がある。
	×	食料品製造業（営業担当）	・コロナ禍により倒産した業種との取引について、回復する見込みが立たない。
	×	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響がもろに出ている。倒産する会社が協力企業で幾つかあり、今後もっと増えていくと思う。特に中小企業に関してはどんどん増えていくのではないが、求人に関して減っているため、いろいろな面で景気に関しては余り良くない方向にいきそうである。
雇用 関連 (東海)		人材派遣業（営業担当）	・ワクチンの接種率向上や東京オリンピック開催で、若干は回復の傾向となる可能性もあるが、完全な回復には程遠いとみる。
		人材派遣会社（営業担当）	・東京オリンピック開催によって人の動きが活発化されると思われる。派遣の求人については、10月に向けて増員を見込んでいる各企業が、派遣採用に意欲的になると感じている。
		人材派遣会社（企画統括）	・ワクチン接種と東京オリンピック開催で、景気回復が期待される。
		アウトソーシング企業（エリア担当）	・国内の自動車販売数はおおむね回復し、特に新型車種の生産ラインにおいては多忙である。ただ、採用者を見込めず人手不足が続く。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		新聞社〔求人広告〕 (営業担当)	・ワクチン接種が進めば人の動きは活発になる。
		職業安定所(職員)	・現状の厳しい状況においても、前年に比べ新規求人数の増加傾向がみられつつある。今後のワクチン接種の進展を見据え、変異株の感染拡大や半導体の供給不足等の不安定要因もあるが、徐々に回復に向かっていくのではないかとと思われる。
		職業安定所(職員)	・ワクチン接種が自身の回りでも進んできており、飲食・宿泊等での求人増加が期待できると思う。
		職業安定所(職員)	・新型コロナウイルス発生以前の水準には戻っていないが、製造業を中心に求人は増加している。
		職業安定所(職員)	・高校生の求人の状況からみても、企業の採用ニーズは前年度を上回る状況が見て取れ、夏に向けて改善傾向にあると感じられる。
		職業安定所(次長)	・新規求人数を前年同月と比較すると、建設業、製造業、運輸業等で増加がみられ徐々に回復傾向にある。その動きは緩やかで不透明性が高いものの、コロナ禍での緊急事態宣言からまん延防止等重点措置への切替え等を受け、徐々にアフターコロナに向けての期待と準備の動きを感じている。引き続き新型コロナウイルス変異株の感染拡大には、注視する必要がある。
		民間職業紹介機関(営業担当)	・ボーナス支給後で転職活動意欲が高まる人も増え、年内に転職活動を実践する潜在層も一定量は増してくると推察する。
		民間職業紹介機関(窓口担当)	・新型コロナウイルスの感染状況が抑えられつつあることが前提ではあるが、今までの規制が緩和されて少しずつではあるが市場が戻る事が予測される。ただ、業界的に景気の落ち込みや回復より少し時期がずれ込むため、回復についても緩やかなイメージである。
		人材派遣会社(経営企画)	・特に変化要素はない。
		人材派遣会社(社員)	・ホテル関係の先行きは見えない。
		人材派遣会社(営業担当)	・求人数は増加傾向にある業種・職種が多くなってきている一方で、全く求人のない業種・職種もあり、偏りが大きい。
		新聞社〔求人広告〕 (営業担当)	・長期間にわたる新型コロナウイルス対策の影響で、現在既に相当悪い状況であり、この悪い状況がしばらく続くと感じる。
		職業安定所(所長)	・ワクチン接種が進んでいるものの、東京オリンピック開催による感染拡大や今後の雇用調整助成金の段階的な縮減による解雇者の発生などが懸念され、まだしばらくは出口のみえない状況と考える。
		学校〔専門学校〕(就職担当)	・新型コロナウイルスの影響で、医療職である看護師の採用機会が減少している。前年に引き続き影響が大きい。
		人材派遣会社(営業担当)	・主要客との受託契約は、2～3か月後の予算削減が計画上決まっており、エンジニア稼働率の低下が確実である。
		人材派遣会社(営業担当)	・K字経済が更に進むと思う。
	x	-	-

7. 北陸(地域別調査機関:一般財団法人北陸経済研究所)

(- : 回答が存在しない、* : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連		商店街(代表者)	・ワクチンの効果に期待している。新型コロナウイルスの感染がある程度落ち着けば、景気回復につながるとみている。この先3か月が目途になると考える。
(北陸)		商店街(代表者)	・東京や大阪に出されているまん延防止等重点措置が緩和され、観光客の入込が見込める東京オリンピック開催による4連休に期待している。その反面、稼ぎ時の10月の連休がなくなるため不安要素もある。また、長引くコロナ禍の影響で経費を削減する企業も多いため、法人需要が厳しい状況である。
		一般小売店〔書籍〕 (従業員)	・ワクチン接種や新型コロナウイルス対策が進み、今よりは経済も回っていくと考える。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		百貨店（営業企画）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、感染者数が増加しなければ、少しずつ外出する機会が増えてくるのではないかと考える。
		百貨店（販売担当）	・来客数や客の動向をみて、やや底を打ってきた感じがある。ワクチン接種が当社でも7月下旬より開始の可能性があると明るいニュースが増えている。接種を完了した高齢者の旅行需要が増加すれば、止まっていた需要が回復する可能性がある。早ければ、お盆頃、遅くとも10月の秋の旅行シーズンには、若干回復するのではないかと考える。しかし、当面は低空飛行の苦戦が続くとみているので、店舗全体での工夫が必要だろう。全ては東京オリンピック後の新型コロナウイルスの感染状況で変化すると考える。
		コンビニ（店舗管理）	・ワクチン接種が加速しており、2～3か月先にはほぼ接種が終了しているとみている。そのことにより、経済活動も活発化するはずである。
		自動車備品販売店（役員）	・ワクチン接種が進んで、生活がふだんどおりに戻ってきており、東京オリンピックの開催とは関係なく、景気は良くなるとみている。
		高級レストラン（スタッフ）	・7月1日からGo To Eatキャンペーンの食事券が80万冊再販売となるので、特に高額利用の多い店舗では高い利用を予想しており、来客数や客単価への追い風を見込んでいる。
		一般レストラン（統括）	・現状の6月よりは良くなると思うが、東京オリンピックの開催や夏休み等で、消費者の動きがどうなるのか。また、消費者行動が想像以上に活発化した場合、反動で新型コロナウイルス第5波が起り得る懸念もある。そういう総合的な観点から、良くなっていくが、まだまだ楽観視できない状況であると考える。
		旅行代理店（従業員）	・このままワクチンの接種が進めばある程度人の動きも再開されるのではないかと考えるが、変異株等により予断を許さない状況に変わりはない。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスのワクチン接種率が上がれば、外出が増えると思われている。
		通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスによる影響が落ち着くのではなかろうかという時期で、来客数が増えてくる可能性があり、販売も比例して伸びる可能性がある。
		通信会社（役員）	・東京オリンピックと新型コロナウイルスのワクチン接種により、地域経済が若干正常化に向かうと考え、通信、放送の契約者数が若干増えると思込んでいる。
		テーマパーク（役員）	・緊急事態宣言の解除やまん延防止等重点措置の解除、当地での県民割引の再開など、人流や人の移動が少し回復できるような環境になってきており、期待も込めてやや回復する傾向にあるとみている。ただし、感染状況等によって再び環境が大きく変われば、状況も変わると考える。
		競輪場（職員）	・本場開催がたて続けにあることに加え、ワクチン接種の普及に伴う来場者数の増加を見込んでいる。
		その他レジャー施設 [スポーツクラブ] (総支配人)	・高齢者のワクチン接種が7月中にほぼ終われば、大人会員の復帰や新規入会が望める。子供向けのクラスは、規模は縮小するものの前年開催できなかった夏休みの特別教室を開催予定なので、今までよりは良くなってほしい。
		美容室（経営者）	・ワクチン接種が予想以上に早まってきており、新型コロナウイルスの感染収束に期待したい。
		住宅販売会社（営業）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が国民の主力層に進めば、客の活動は確実に活発化していくものと推察する。
		一般小売店[精肉] (店長)	・Webの受注が増えている分、来店する客が少ないということで、1日の売上がダウンしている。この状態がお中元時期のギフト期間中ずっと続くのではないかとみている。
		一般小売店[事務用品] (店長)	・ワクチン接種が進んでおらず、コロナ禍の状況が好転する兆しがみえないため、来客数の回復が見込めない。
		一般小売店[鮮魚] (役員)	・高齢者からワクチン接種が進んでいるが、実際の効果が出るのはいつ頃からか分からない。7月は4連休になるが、人出の増加でまた感染者が急増しそうである。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		百貨店（販売促進担当）	・ワクチン接種が進み、旅行や冠婚葬祭など徐々に客が活動的になるとみているが、売上の回復には時間が掛かると考える。また、お中元を中心としたギフトシーズンだが、節約傾向が出始めているのか前年よりも単価が低いいため、実績までは難しいとみている。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスワクチンの接種率向上だけでなく、治療薬ができないと消費意欲は戻らない。
		スーパー（店舗管理）	・東京オリンピックの観戦が室内となり、内食や中食が支持されると言っても、頭打ち傾向には変わらない。ワクチン接種が進めば外食は増えるだろうが、小売スーパーは厳しくなる。
		コンビニ（経営者）	・季節商材が変わらない。
		コンビニ（店長）	・悪いながらに下げ止まっているが、決して良くはない状況が今後も続くともみている。客も必要十分な買物にとどまっており、無駄な買物がない。週末においては、コロナ禍以前とは比べものにならないほど、売上、来客数共に低迷しているが、前年と比較して幾分かマシに感じている。コロナ禍の不景気に慣れたのかもしれない。
		コンビニ（営業）	・マスクがマイナスの発信しにくい傾向であり、マスクの論調が好転すれば、世論の雰囲気が変わってくる。
		家電量販店（店長）	・東京オリンピック後に期待が持てる商品は特にないため、平年と変わらないとみている。
		家電量販店（本部）	・ワクチンの効果が現れるのはもう少し先だと考える。
		乗用車販売店（経営者）	・今後についてはどうしても新型コロナウイルスの影響で変わるとみているので、予測が立てにくいと考える。
		乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着かない限り、先が読める状況ではない。
		その他専門店〔酒〕（経営者）	・6月になり、ワクチン接種が加速してきている。7月は東京オリンピックがある。この先どうなることやらと思う次第である。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・コロナ禍における生活者の消費動向は感染者数の動向に反比例する傾向があり、今後3か月程度は感染者数の増減の波が繰り返されるとみられ、9月頃までは現在の動向が継続すると考える。今後ワクチン接種が加速度的に進み、生活者の行動範囲が拡大する状態になれば消費動向は本格的な回復傾向に向かうと期待している。
		一般レストラン（店長）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が全て終わらなければ安心して出歩けないようである。
		スナック（経営者）	・7月開催の東京オリンピックからの新型コロナウイルス感染状況による変化など、先々は不透明で分からない状態である。
		観光型旅館（経営者）	・県内宿泊キャンペーンを展開しているが、夏休み期間も予約はまだまだ少なく厳しい状況が続くとみている。
		観光型旅館（スタッフ）	・東京等での緊急事態宣言解除後は予約保有数が若干増加しているが、Go Toキャンペーン等が実施されないと厳しい状況は続く。
		都市型ホテル（スタッフ）	・東京オリンピック開催による新型コロナウイルスの感染拡大やウイルスの変異株が怖く、心配である。
		タクシー運転手	・東京オリンピックが始まると、テレビ観戦が増えることと新型コロナウイルスへの感染を警戒することが重なって、夜の街の人出は少なくなるのではないかと考える。
		通信会社（職員）	・来客数は減少しても、来店しなくともサービスを提供でき、契約できる仕組みが一気に進んだことで、受注数の大きな落ち込みはないと見込んでいる。
		通信会社（営業担当）	・前年の販売量と比較しても大きな変化がみられない。
		パチンコ店（経理）	・特段景気に影響を与える事柄がない。
		住宅販売会社（従業員）	・展示場への来場者は多くないが、小さなイベントにアポイントを取って来場してもらうことで中身の濃い商談ができるようになってきている。一家族一家族の商談を良くするための準備を徹底することで商談の質も高まり、良い状況が続いていきそうである。
		住宅販売会社（従業員）	・まだまだ好転する要因が見つからない。
		スーパー（仕入担当）	・原材料の値上げによる影響で製品の値上げ予定が多く、影響は大きいとみている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		衣料品専門店（経営者）	・毎日一喜一憂の状態、新型コロナウイルス対策もころころ変わることもあり、全く先は見通せない。
		乗用車販売店（役員）	・県内において新型コロナウイルス感染症の新規感染者数が減少しており、経済活動も徐々に再開に向け動いている。しかし、東京オリンピック開催による悪影響への懸念があり、再び自粛状態に戻ることも考えられ、年内一杯は厳しい状況と考える。
		住宅販売会社（従業員）	・コロナ禍とウッドショックが重なり、消費者のマインドが低下する。
	×	商店街（代表者）	・ワクチン接種は高齢者が終了し、次の段階に入ってきているようだが、接種予約は7月以降になったという話が多い。ワクチンが行き届くには、まだまだ時間が掛かりそうである。
	×	百貨店（売場主任）	・大型商業施設の新規開業とコロナ禍による外出自粛のダブルパンチで、市内中心部への集客は更に苦戦すると見込む。
	×	住関連専門店（役員）	・これまで巣籠り需要などで消費が伸びていた事実は大きい。ワクチン接種の増加に伴い、今度は消費が外に向いていくことは明白であるため、厳しい状況になることが容易に予想できる。
企業動向関連 (北陸)		-	-
		一般機械器具製造業（総務担当）	・引き合いが少しずつ増加してきている。
		精密機械器具製造業（役員）	・新型コロナウイルスの変異株、東京オリンピック開催などの不安要素はあるものの、ワクチン接種率の増加に伴い、良い方向に向かうものと期待している。
		建設業（経営者）	・元々公共土木工事業者には新型コロナウイルスの影響はほとんどなかったが、北陸3県では感染者数がゼロの日もあり、これからは全体としても徐々に良くなっていくであろう。
		輸送業（管理会計担当）	・職域でのワクチン接種開始等によるワクチンの普及により、新型コロナウイルスの感染者数が減少することで徐々に経済活動も回復してくると考える。
		金融業（融資担当）	・東京オリンピックが終了するものの、新型コロナウイルスのワクチン接種が進んでいると見込んでいる。その頃には、ワクチンの接種状況や今後の普及率の見通しも立てることができ、経済活動活発化の道筋がみえるのではないかと考える。
		税理士（所長）	・ワクチンの効果だと思うが、旅行関係では夏から秋口に向けたツアーのオプションが大分動き始めているようである。飲食店にも徐々に客が戻ってきている。当地の場合、今は感染状況が落ち着いており、今後はそういった面から消費のリバウンドが期待できるのではないかと考える。製造業では、ウッドショックの原因となった海上コンテナの滞りが不安であるが、それがなければいろいろな面でリベンジ的な需要が多くなることが見込まれる。住宅関係に不安はあるが、全体としては上がるのではないかと考える。
		食料品製造業（経営企画）	・コロナ禍のもとでは予断は許されず今後も一進一退と考えるが、食品ゆえ需要スタイルの変化に対応することでしのいでいけるだろうと考える。
		プラスチック製品製造業（企画担当）	・全国各地でリバウンドの兆しがあり、また、県内でも再び感染者数が増加するなどの状況下で、なかなか本格的な回復には至らないとみている。
		金属製品製造業（経営者）	・2～3か月先の分の受注の入り具合を見て、変わらないと考える。
		一般機械器具製造業（経理担当）	・依然として自動車関係の受注は好調であるが、半導体の供給不足による生産減少の影響が北米を中心に継続している。よって、今後のメーカーにおける生産見通しを注視しているところである。
		通信業（営業）	・現在よりも投資意欲が減退することはないと思うが、大幅な補助金施策が出ない限り、景気は今後も現状維持が続くとみている。
		金融業（融資担当）	・観光や飲食などの一部業種はコロナ禍の影響を強く受けているが、その他業種は底を打っており、業績は2極化している。ワクチン接種が早まってコロナ禍が収束に向かえば、個人消費も増加し景気は回復に向かうとみている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		司法書士	・積極的な事業展開をしている業種は限られており、全体的にしばらくは我慢と言っている取引先が多い。
		建設業（役員）	・原材料価格の動向含めて、依然として先行きの不透明感が大きい。
		不動産業（経営者）	・現在、個人客にしても法人客にしても、同業者に問合せなど先々の話が少ない。
		広告代理店（経営者）	・景気が回復する傾向はまだまだどこからも読み取れない。
	x	-	-
雇用 関連 (北陸)		人材派遣会社（社員）	・ワクチン接種が奏功し、コロナ禍が鎮静化することで求人や求職が増加し、景気は回復に向かうとみている。
		職業安定所（職員）	・東京オリンピックによる景気の浮揚は見込めなくなったが、東京オリンピック終了後には新型コロナウイルスの影響が回復に向かうとみているので、景気も浮揚すると考える。
		人材派遣会社（役員）	・依然として派遣登録者も増えず、マッチングに苦労している。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・大きな雇用の話が出ない。
		新聞社〔求人広告〕（営業）	・ワクチン接種終了や自治体施策の効果が出てきて初めて景気が動き出すような気配である。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・医療従事者や高齢者向けには新型コロナウイルスのワクチン接種が始まったが、一般を含めた接種率が飛躍的に上がらない限り、そう簡単に状況は好転しないとみている。
		職業安定所（職員）	・半導体サプライチェーンにおける材料不足に伴う景気の悪化が懸念されているが、3か月くらい先を見通して、材料調達している事業所が散見されるため、3か月くらい先までの雇用維持は可能とみている。
		民間職業紹介機関（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が行き渡れば経済活動が活発化し、求人も増加して元の状態に戻るが、接種率が上向き始めたばかりのため、もう少し時間が掛かりそうである。
		学校〔大学〕（就職担当）	・求人数について、状況が変わる要素が見受けられない。
	x	-	-

8. 近畿（地域別調査機関：りそな総合研究所株式会社）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (近畿)		百貨店（外商担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、富裕層の高齢者を中心に、購買意欲が大きく高まりつつある。
		高級レストラン（企画）	・新型コロナウイルスの感染状況と、それに伴う政府や自治体の施策に左右されるが、全体としては楽観視している。
		一般小売店〔珈琲〕（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が始まり、年配客の来店が目につき始めている。
		一般小売店〔衣服〕（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチンについては、高齢者だけでなく他の年代も打てるようになるため、状況は良くなると期待したい。
		一般小売店〔鮮魚〕（営業担当）	・まん延防止等重点措置の解除で、休業中の店も営業が再開するため、少し良くなる。
		一般小売店〔家具〕（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種がほぼ完了するため、景気が良くなる。
		一般小売店〔野菜〕（店長）	・新型コロナウイルスの感染が落ち着けば、一時的に回復していくと予想されるが、景気が回復するかどうかは分からない。
		一般小売店〔菓子〕（営業担当）	・前年と比べれば、新型コロナウイルスの影響は若干あるが、売上は少し増えている。
		百貨店（売場主任）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が済んだ客が、それを理由に久しぶりに来店するなど、接種が進めば、徐々に来客数が増えると予想される。
		百貨店（売場主任）	・今月は食品が好調に推移しているが、新型コロナウイルスのワクチン接種が行き渡って感染者数の減少が進めば、人流が戻るため、他の商材への波及が期待できる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		百貨店（企画担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、来客数も増えると考えられる。今はコロナ禍により、遠方の客は高齢者を中心に来店を控えている。
		百貨店（マネージャー）	・高齢者への新型コロナウイルスのワクチン接種が完了しつつあり、来客数が戻ってくると予想される。
		百貨店（売場マネージャー）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、現状よりも感染状況が改善されていることを前提とすれば、景況感は良くなることが予想される。
		百貨店（販売推進担当）	・実店舗の営業は苦戦しているが、新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、世の中の動きが前向きな方向に変われば、徐々に回復が進む。
		百貨店（外商担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種がかなり進んでおり、高齢者に限ればかなりの接種率になる見込みである。高齢者が主要な客である百貨店では、客の消費マインドの上昇が予想される。
		百貨店（商品担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が確実に進んでいくなかで、1年半にわたって続いた社会の停滞は徐々に緩和され、景気は回復に向かうと予想される。一方、変異株への対応が直近の課題となり、東京オリンピックの開催による感染状況への悪影響も懸念されるなか、全体的な回復には少し時間が掛かる。
		百貨店（販促担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が広がっているほか、自粛慣れもあり、街の人出が回復している。外出したい欲求も高まることで、様々な消費意欲の上昇が予想される。秋の衆議院選挙に向けた景気対策にも期待できるなど、消費の機会をうまく提示することで、様々な商機を生み出せそうである。
		百貨店（売場マネージャー）	・6月初旬から、新型コロナウイルスのワクチン接種が始まっている。特に、和歌山地区は全国的にも接種率が高い。これから消費者の外出機会は増え、百貨店への来店客も増えると予想される。それに伴い、小売業や製造業の景気も良くなっていく。
		百貨店（マネージャー）	・新型コロナウイルスの変異株の世界的な感染拡大などが、景気回復のブレーキとなる可能性がある。一方、ワクチンの接種が国内で大きく進むことで安心感が広がるほか、各種のイベント再開による反動消費も、徐々に出てくると予想される。
		百貨店（サービス担当）	・今のような水準で新型コロナウイルスの感染状況が推移し、ワクチン接種が順調に進めば、安全に外出できる環境が整う。また、東京オリンピックの効果や、物産催事の充実などで集客の増加につながり、売上が伸びると予想される。
		百貨店（服飾品担当）	・徐々に来客数が戻り、関西での新型コロナウイルスの感染者数も減少しているため、夏以降は買上が少し戻ると予想される。ワクチン接種済みの客の来店も増えるなど、安心感が出てきており、百貨店の対策への信用度も上がってきたことから、来客数は増加傾向になると予想される。
		百貨店（宣伝担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進んで、感染状況が落ち着けば、周辺の飲食店の営業時間が延び、街自体の人出が増える。来客数が増えれば、売上の回復も期待できる。
		百貨店（マネージャー）	・新型コロナウイルスのワクチン接種を接種する年齢層が広がることで、感染の抑制が9月頃には見込まれる。
		スーパー（店長）	・東京オリンピックの開催による感染拡大の懸念が解消され、新型コロナウイルスのワクチン接種率がどこまで上がるかが鍵となる。梅雨明け後、東京オリンピック開催時期からお盆にかけて、人の移動が緩和されれば、これまでの反動もあって消費は上向き可能性が高い。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が増え、消費マインドは上向きことが予想される。旅行や行楽需要が出てくれば、全体に活気が戻ってくる。
		スーパー（企画担当）	・地域の住民や、新型コロナウイルスのワクチン接種者への商品券の配布、キャッシュレス決済のポイント還元など、商圏内では各自治体による様々なキャンペーンが実施予定である。新店舗のオープンもあり、売上の増加につながるイベントも多いため、来客数を増やすことで更なる売上のアップにつながる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの変異株の感染者数が増えれば、状況は予測不能となる。今の状況で東京オリンピックが開催されるため、感染者数の増加が予想されるが、今後は経済を回す方向で対策が進められるため、少しは良くなると予想される。
		コンビニ（経営者）	・東京オリンピックが始まり、新型コロナウイルスのワクチン接種が進むため、テレワークは減少傾向となる。現在よりも、来客数は10%ほど増える見込みである。
		コンビニ（店長）	・緊急事態宣言が解除されて、東京オリンピックが開催され、人の流れが活発になることで、景気は良くなる。
		コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスの影響はまだ続くが、ワクチンを接種する人も増え、人の活動も少し活発になると予想される。
		コンビニ（店員）	・新型コロナウイルスのワクチン接種の進み具合で変化するが、各種の制限が少なくなれば、少し景気も良くなる。
		衣料品専門店（販売担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進むことで、街の人の出が増え、服を買う人も増える。
		家電量販店（店員）	・梅雨が明けると気温が上がり、エアコンの販売が増えてくる。例年よりも梅雨入りが早かったため、今年は暑くなることが予想される。それに伴って一気に販売台数も増えるため、やや良くなる。
		乗用車販売店（販売担当）	・徐々に生産が増えてきている。車を欲しがっている客は多いため、在庫さえそろってくれば、販売台数は伸びる。
		その他専門店〔ドラッグストア〕（店員）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、以前のように気軽に買物してもらえるようになってほしい。来月はボーナス商戦もあるため、期待している。
		その他専門店〔医薬品〕（管理担当）	・緊急事態宣言の解除や新型コロナウイルスのワクチン接種により、景気回復が進むと考えられる。東京オリンピックの開催後に緊急事態宣言が発出されなければ、緩やかな回復から大幅に改善につながると予想される。
		高級レストラン（スタッフ）	・まん延防止等重点措置が、このまま順調に解除されれば、活気も戻ってくると信じたい。今後も引き続き、新型コロナウイルスの感染防止に努めたい。
		一般レストラン（店員）	・酒類の提供が始まり、客が戻りつつある。このままいけば、お盆にはもっと増える。
		観光型ホテル（経営者）	・当地区に出されているまん延防止等重点措置は、7月11日までの予定であるが、本当に解除されるかどうかはまだ分からず、引き続き厳しい状況が続くと覚悟している。
		観光型旅館（団体役員）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が若い世代まで進むと予想される。それに伴い、休止しているGo To Travelキャンペーンの再開が期待される。
		都市型ホテル（スタッフ）	・宴会部門は受けていた予約がほぼキャンセルとなり、会議中心の販売となっている。レストランは、今後ディナー営業ができるかどうか鍵となる。客室も単価の低下が顕著であるが、薄利多売の市場でも単価を維持して販売していく。
		都市型ホテル（販売促進担当）	・7月11日までは、まん延防止等重点措置の継続で動きはなさそうである。今後も緊急事態宣言やまん延防止等重点措置、新型コロナウイルスのワクチン接種人数などの状況次第で、景気の好不調は決まる。今は先の宿泊予約も余り入らず、宴会や会議の動きもない状況である。ただし、客からの話をまとめると、感染収束後は一気に動き出す可能性がある。
		都市型ホテル（総務担当）	・緊急事態宣言が6月21日から解除され、まん延防止等重点措置に移行したが、それに伴い宿泊の稼働率も徐々に上がり、レストランの客も少しずつ戻りつつある。
		都市型ホテル（客室担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、感染が収束すれば、抑えられていた観光需要が回復に向かう。ひとまずは東京オリンピックの成功が1つの鍵になる。
		旅行代理店（店長）	・緊急事態宣言が解除され、夏の旅行の問合せや予約が少しずつ動いている。新型コロナウイルスのワクチン接種に伴い、旅行需要も徐々に回復することを期待したい。
		旅行代理店（従業員）	・飲食店の時短営業や酒類の提供制限の緩和が、景気の底上げにつながる。
		旅行代理店（役員）	・7月中旬以降、県民割などの旅行需要の喚起策が始まれば、秋にかけて期待できる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		旅行代理店（支店長）	・新型コロナウイルスの感染が拡大することなく、東京オリンピックを乗り切ることができれば、客の間に旅行に行く意識が芽生えると期待される。今はとにかくきっかけが必要で、消費者は様子見をしている状況である。
		タクシー運転手	・緊急事態宣言が解除になったため、病院関係の利用やホテルの宿泊者も、これから徐々に戻ることを期待している。
		タクシー運転手	・今後は気候の変化や上半期の株主総会などもあるため、多少の利用を期待している。
		通信会社（社員）	・インターネットの利用は更に必要性が高まっており、今後は高齢者などの利用拡大が見込まれる。
		テーマパーク（職員）	・東京オリンピックが始まることで、人の移動が活発化すれば、来場者の動きにも変化が出ると予想される。
		その他レジャー施設 [イベントホール] (職員)	・新型コロナウイルスのワクチン接種により、人流が活発になれば消費が増えるが、感染の収束時期がみえず、不透明感が拭えない。
		その他レジャー施設 [飲食・物販系滞在型施設] (企画担当)	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進むようであれば、人流が活発になると期待している。
		その他サービス [マッサージ] (スタッフ)	・アロマオイルのマッサージのため服を脱ぐので、例年冬は来客数が減少し、暖かくなると増加する。
		住宅販売会社（総務担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種率が上がっており、人混みも増えてきている。このような状況を踏まえ、客も活発になってくる。
		その他住宅 [住宅設備] (営業担当)	・高齢の客の間では、新型コロナウイルスのワクチン接種が完了した人も出てきた。一方、ワクチンを打っていない人の訪問拒否は今後も予想される。30～40代に接種の順番が回ってくるのはいつになるかは不透明で、接種がまだのため、仕事にも就けないといった雰囲気にならないか心配である。
		商店街（代表者）	・状況に変化はなく、高齢者は警戒感が強いいため、客足の引きの早さは今後も変わらない。
		一般小売店 [時計] (経営者)	・東京オリンピックの終了時期となるが、状況は全く読めない。日本人選手の成績が良かったとしても、一部では雰囲気は良くなるが、全体としての景気が良くなるとは思えない。地域密着型の店として感じることは、果たして人の流れが通常に戻るのかが不透明なことである。新型コロナウイルスの変異株の感染リスクに正面から向き合うことが、当面の課題であり、大きな懸念材料でもある。
		一般小売店 [呉服] (店員)	・新型コロナウイルスのワクチン接種が終わったとしても、先行きが見通せないため、高額品の買い控えは当分続きそうである。
		百貨店（売場主任）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、休業などがなければ、客の来店は増えると予想される。ただし、客の生活様式は大きく変化しており、それに商品の提案が追いついていない。また、取引先もかなり厳しい状況が続いており、新商品の開発や生産に慎重であるため、回復までには時間を要する。
		百貨店（営業推進担当）	・新型コロナウイルスの感染第5波の兆候もあり、年内は大きな回復につながらない可能性がある。
		スーパー（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進むにつれ、高齢者層から中年層へと安心感が広がっており、来店回数の増加が期待される。今後は外食や外飲みが増える可能性はあるが、コロナ禍で家庭での調理や、家族との食事の良さが見直されたことで、以前のような状況には戻らない。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの感染者数が再び増加すれば、政府が抑制を図ると予想される。結果として、ワクチン接種の効果が出てくるまでは、状況は大きく変わらない。
		スーパー（店員）	・農家が人手不足なのか、今年は入荷量が少ないほか、果物も少し高く、種類も少なく感じる。それらに伴い、状況が上向くことはない。
		スーパー（経理担当）	・今後も新型コロナウイルスの感染状況に左右されるが、天候要因だけをみると、今年は猛暑が予想され、夏も長くなりそうのため、夏物商材を中心に売上は好調な推移となる。
		スーパー（販売促進担当）	・全体的な景況感が上昇するとは思えない。新型コロナウイルスのワクチン接種の状況などに応じ、外食や観光、小売の間での、需要のシフトが予想される。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スーパー（開発担当）	・緊急事態宣言は解除されたが、飲食店への規制は多く、消費の拡大にはつながっていない。また、原油価格も高騰しているなど、景気が良くなるとはまだまだ考えられない。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチンが行き届くまでは、今の状況が続く。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種がようやくスタートし、コロナ禍も少しずつ収まっていくが、企業での在宅勤務やリモートワークが定着しているため、ビジネス街での労働者の数は、以前の水準には回復しないと懸念している。
		コンビニ（店長）	・東京オリンピックに期待していたが、事前の盛り上がりを感じられないため、開催されたとしても変わらないと予想される。
		コンビニ（店員）	・新型コロナウイルスの影響か、来客数、客単価共にやや悪化しており、しばらくはこの傾向が続く。
		衣料品専門店（営業・販売担当）	・新型コロナウイルスの感染が収まるまでは、スーツなどが売れないと感じる。
		家電量販店（経営者）	・コロナ禍が落ち着いているとは思えず、消費マインドは低いままである。
		乗用車販売店（経営者）	・ボーナスで車を買ったり、夏休みは車で出掛けたりといった話は全くない。販売に力がなく、修理の依頼のみである。
		乗用車販売店（営業企画）	・先行きは見通せない。
		乗用車販売店（販売担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種は進んできたものの、治療薬の開発が進まなければ、景気の回復は手放しに期待できない。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（経理担当）	・新型コロナウイルスの感染状況につき、今後の再拡大の動きが見通せないため、景気の予想は立てにくい。
		その他専門店〔宝飾品〕（販売担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進んでも、先に売上に変化が出るのは百貨店やスーパー、商業施設などとなる。様々な先行き不安もあって宝飾品の購入の優先順位は低く、外出機会や着用機会そのものが増えなければ、来客数や売上の増加は望めない。
		その他小売〔インターネット通販〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、この1年で客の買物行動が急激に変化しているが、商店街はその変化に対応できていない。
		その他小売〔インターネット通販〕（企画担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種の拡大による、社会の不安解消を期待したいが、政府の計画どおりに進むかは不透明である。
		その他小売〔インターネット通販〕（オペレーター）	・今のところは、受注量が大きく増える見込みはない。
		一般レストラン（企画）	・緊急事態宣言の解除後、新型コロナウイルスの感染者数がまた増加に転じつつあり、先行きが全くみえない。ワクチン接種率が上昇して経済が継続的に動き出すまでには、年内一杯は掛かることが予想される。
		その他飲食〔自動販売機（飲料）〕（管理担当）	・まん延防止等重点措置は継続されているが、人の動きは増えている。売上は人の流れに左右される。
		観光型ホテル（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種により感染が収束する期待はあるが、また新しい感染の波が来れば、希望は持てない。
		観光型旅館（経営者）	・今後も変わらないというか、予測ができない。回答の選択肢に、分からないという項目を加えてほしい。
		都市型ホテル（管理担当）	・新型コロナウイルスの感染者数が、東京ではリバウンド傾向にあり、変異株の感染も増えている。まだまだ楽観視できる状況ではなく、今後もしばらく続くと予想される。
		都市型ホテル（管理担当）	・新型コロナウイルスの感染状況が安定しなければ、見込みが立たない。
		タクシー運転手	・企業や一般客の予約関係は、回復が全くみられず、将来に不安がある。
		タクシー運転手	・まだどうなるか分からないが、多少良くなる。
		通信会社（経営者）	・緊急事態宣言の解除で、客は様子見となっている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		観光名所（経理担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種は進んでいるが、2回の接種が完了している人はまだまだ少ない。さらに、ワクチンを接種したからといって、感染しないわけではない。夏休みを挟んで、感染者数は今よりも増えることが予想される。
		観光名所（企画担当）	・6月21日から、緊急事態宣言が解除され、まん延防止等重点措置に移行したが、それほど変化はない。今後も厳しい状態が続くと予想される。
		遊園地（経営者）	・緊急事態宣言は解除となったものの、新型コロナウイルスの感染状況はまだ予断を許さない状態であり、現時点で将来に明るい見通しをもてる要素がない。
		ゴルフ場（支配人）	・新型コロナウイルスのワクチン接種、東京オリンピックの開催で、2～3か月先の景気は変わってくる。
		競輪場（職員）	・正直なところ、新型コロナウイルスの感染状況に左右される。また感染が拡大して緊急事態宣言が発出されれば、先行きは見通せなくなる。
		競艇場（職員）	・コロナ禍のなか、電話投票やインターネット投票は好調であり、高い水準を維持している。しばらくは現状のまま推移しそうだ。
		その他レジャー施設 [複合商業施設]（職員）	・新型コロナウイルスのワクチン接種の加速と、変異株による感染の再拡大の状況次第である。秋以降の本格的な回復を期待している。
		その他レジャー施設 [球場]（経理担当）	・大阪府では緊急事態宣言は解除となったが、プロ野球での客の入場は5000人が上限と変わらず、更なる緩和はまだ決まっていない。なお、3か月後の状況は不透明であり、ほぼ現状と変わらないと予想している。
		美容室（店員）	・例年、秋は特に動きが悪くなり、来店周期が伸びやすいため、今と状況は変わらない。
		その他サービス[学習塾] （スタッフ）	・例年よりも、明らかに入会する生徒数が減り、退会者数が多くなっている。今が底だとは考えたいが、しばらくはこの状態が続くと予想される。
		住宅販売会社（経営者）	・新型コロナウイルスの感染収束までは、今の状況が続く。
		その他住宅投資の動向を把握できる者 [不動産仲介]（経営者）	・今後の新型コロナウイルスの感染状況にもよるが、大きな変化はないと予想される。
		その他住宅[展示場] （従業員）	・大阪ではまん延防止等重点措置が続いているため、客の住宅購入意欲が高まるには、まだ時間が掛かる。
		スーパー（店長）	・失業者数の増加に伴い、消費も冷え込むと予想される。
		スーパー（企画担当）	・緊急事態宣言の解除で、巣籠り状態が徐々に緩和されるため、関連の需要が減少していくと予想される。
		スーパー（社員）	・前年に売上が増えた反動で、今月は苦戦しているなか、競合の増加で売上を確保できない店舗が増えている。今後は厳しい状況が続くそうである。
		コンビニ（店員）	・周辺の店舗も客がかなり減少しており、まだまだ景気の先行きが良くなる要素はない。客も景気について良くない内容を話すことが多い。
		家電量販店（店員）	・半導体工場の大規模火災による影響が、家電にも徐々に始めている。
		家電量販店（店員）	・現場は厳しいと考えている。工事が発生するような場合は、店舗での対応に変化はないが、全体的にネット経由での購入が増えており、現場でも客の声から実感される。
		家電量販店（人事担当）	・梅雨が長引き、気温の上昇が遅れている。前年の特別定額給付金による売上増加の反動もあり、エアコンなどの季節商材の売上が伸びない。
		乗用車販売店（経営者）	・新型コロナウイルスの影響による収入の減少が、消費に影響しつつあると感じる。
		乗用車販売店（経営者）	・新車の販売が全体的に落ち込んでいる。また、外出の自粛によって走行距離も短いため、車検の工賃も上がらない。
		その他専門店[宝石] （経営者）	・新型コロナウイルスの影響が少し収まってきており、客の反応が以前の状態に戻りつつある。
		その他飲食[ファーストフード] （店員）	・新型コロナウイルスの感染が一旦落ち着き、緊急事態宣言も解除されたが、再び感染拡大のおそれがあるという危機感から、来客数が減少しつつある。
		通信会社（企画担当）	・給付金の支払が遅れている事業者は多いため、新型コロナウイルスの感染が収束しない状況が続けば、廃業が増える。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		美容室（店長）	・高齢者の新型コロナウイルスのワクチン接種が終わっても、実際に来客数が増え始めるのは、秋口以降と予想される。
		住宅販売会社（経営者）	・各種の建材や材木が不足し始めている。これは米国の住宅着工件数が急激に増えた影響であり、今後の資材調達の方法を検討しなければならない。
		その他住宅〔情報誌〕（編集者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種の加速により、外出や飲食、旅行機会の増加につながる。巣籠り消費の代表であった住宅の購入は、全体的に減少すると予想され、市況の悪化に対する懸念が強い。
	×	一般小売店〔衣服〕（経営者）	・東京オリンピック以降の新型コロナウイルスの感染状況が全く予想できず、場合によっては、また緊急事態宣言が発出されるかもしれない。感染者数が増えれば人も減るなど、不安要素ばかりが増えていく。数が月後の景気に光は全くみえず、感じることもできない。
	×	衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスの感染者数が増えれば、客足が遠のく。ワクチン接種についても、東京オリンピック・パラリンピックが終わればスピードが鈍ると予想される。景気の回復は早くても10月で、秋物商戦からの改善に期待している。
	×	衣料品専門店（経営者）	・今後も飲食店が苦しいといった報道を目にするが、物販関連も非常に苦しいため、廃業する会社が増えてくる。
	×	家電量販店（企画担当）	・将来への備えの不安から、耐久消費財の買い控えなどが始まり、かなりの落ち込みにつながる事が予想される。
	×	住関連専門店（店長）	・悪い状況が長引くと予想される。緊急事態宣言からまん延防止等重点措置に移行し、今も解除されていない。これまでの経験から、来客数の回復には時間が掛かると予想され、活発な営業活動の機会も減り続けている。
	×	その他専門店〔食品〕（経営者）	・飲食店が主な取引先である食品の卸売業界には、政府の支援が届いておらず、販売状況だけではなく、経営自体が危機的な状況となる。
	×	一般レストラン（経営者）	・協力金の支給の遅れがひどく、店が維持できないケースも急増すると予想される。特に、個人経営の場合、手元の資金に限界がきて家賃が払えず、どんどん閉店に追い込まれている。営業の規制が続く、協力金の支払が遅れている以上、景気の回復には程遠い。
	×	一般レストラン（経営者）	・東京オリンピック以降、新型コロナウイルスの変異株の感染が拡大し、ますます感染者数が増える。今年一杯はかなり厳しいと予想される。
	×	観光型ホテル（客室担当）	・新型コロナウイルスの感染が収束していないため、悪影響が続く。
企業動向関連 (近畿)		木材木製品製造業（経営者）	・コロナ禍で営業などの動きに大幅な制限はあるが、売上、利益共に増えている。今後も順調な伸びが期待できそうである。
		金属製品製造業（開発担当）	・繁忙期になるため、良くなる。
		食料品製造業（従業員）	・緊急事態宣言からまん延防止等重点措置に変わり、繁華街の人も増えてきているようなので、今後に期待したい。
		食料品製造業（営業担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種を受ける人が更に増えれば、客の流れは大きく変わるため、景気は少し良くなる。
		繊維工業（団体職員）	・新型コロナウイルスの感染状況次第であるが、ワクチンの接種が進むにつれて、状況は改善していくと予想される。
		窯業・土石製品製造業（管理担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進んでいるほか、東京オリンピック・パラリンピックの開催も確実となっている。ただし、変異株の感染拡大には、注意が必要である。
		金属製品製造業（経営者）	・半導体不足も徐々に回復に向かい、自動車メーカーによっては増産の動きもある。
		輸送業（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響が続いているというだけで、通販会社やその関連の運送会社では、増収増益の動きが今後も続く。
		輸送業（商品管理担当）	・酒類の配達が低迷している。新型コロナウイルスの影響が大きく、来月辺りからは少しずつ回復してくると予想される。
		通信業（管理担当）	・新型コロナウイルスの影響で景気は良くないが、今後はワクチンの接種で若干良くなる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		広告代理店（営業担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が行き渡り、感染の再拡大がなければ、徐々に出荷を再開する客も増えると予想される。
		経営コンサルタント	・努力している会社や、回復の見通しが立ちそうな会社を選び、そのなかで特に販売戦略の策定や人材の育成を中心に支援している。その分野に力を入れて頑張っている取引先は、徐々に成果が出る。新型コロナウイルスの感染状況次第であるが、徐々に明るくなると確信している。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	・先が見通せない。
		出版・印刷・同関連産業（企画営業担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、感染の収束時期が見え始めたとしても、受注量などに変化が出始めるのは、もう少し先になる。
		化学工業（経営者）	・受注高は2年前の95%と、現状の売上と同水準であるため、景気はしばらく変わらない。
		化学工業（管理担当）	・出荷量に関しては、取引先から現在の水準を維持するとの情報を得ている。ただし、原材料である化学品の値上がりが大きいため、利益の維持が難しくなると予想している。
		プラスチック製品製造業（経営者）	・悪くなる要素が具体的に見受けられず、希望的観測も含めて、今の状況に変化はない。材料が入手しにくくなっているものの、それを考慮してかなり先に発注されるなど、材料の入手の可否を含めて、現状維持が予想される。
		一般機械器具製造業（経営者）	・絶不調の状況は今後も続く。
		電気機械器具製造業（経営者）	・半導体関連に限定された好況であるが、半導体の需要が世界的に広がっているほか、半導体の進歩の余地も大きいため、まだまだ好況が続くことは間違いはない。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・引き合い件数が伸びておらず、受注量は少ない。
		電気機械器具製造業（経理担当）	・リーマンショックを上回る悪化となっており、全く先行きが見通せない。
		建設業（経営者）	・取引先はリモートワークが多く、実務や営業面での折衝に影響が出ている。この状況が打開できなければ、変わらないと予想される。
		建設業（経営者）	・今後も新型コロナウイルスの影響で、受注競争が厳しくなる。木材や建設資材価格の高騰もあり、建設業界は先行き不透明である。
		金融業〔投資運用業〕（代表）	・今は正に、景気が浮揚するか減退するかの岐路に立っている。全ては東京オリンピックの成否にかかっており、イベントとして成功しても、新型コロナウイルスの感染が拡大すれば、東京オリンピックが原因ということになる。また、秋の衆議院選挙に向けて、政府は何とか経済にプラスとなるような対策を打つと予想され、それが奏功するか否かが、景気を左右することになる。
		新聞販売店〔広告〕（店主）	・新聞折込の動きには、回復が見込めない。
		広告代理店（営業担当）	・ここ数か月は、紙媒体、Web媒体共に、広告売上は2年前と同じである。
		司法書士	・新型コロナウイルスの変異株に加え、東京オリンピックによる感染拡大をワクチン接種でどれくらい抑えられるかによるが、厳しい状況になると心配している。
		経営コンサルタント	・飲食店にとって良い材料がない。
		その他サービス〔自動車修理〕（経営者）	・まだまだ新型コロナウイルスの影響は続いており、上向きに変わる要素はない。
		その他非製造業〔機械器具卸〕（経営者）	・商品の動きは余り良くない。
		その他非製造業〔商社〕（営業担当）	・新型コロナウイルスによる影響が根強く、部品の入荷予定が分からないケースもあるなど、先行きは不透明である。
		繊維工業（総務担当）	・新型コロナウイルスの感染収束を期待したいが、時期としてはまだ早過ぎるよう感じる。特に、変異株の流行による影響がまだまだ不透明である。
		電気機械器具製造業（宣伝担当）	・7月は東京オリンピックに向けてテレビの需要が見込まれるが、8月以降はその反動による落ち込みが懸念される。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響が徐々に出てきている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他製造業〔履物〕 (団体職員)	・緊急事態宣言が解除されたが、依然として兵庫県にはまん延防止等重点措置が出ており、日常の生活には戻っていない。首都圏では新型コロナウイルスの感染者数が減っておらず、感染の第5波が懸念されるなど、影響はまだまだ続くと思われ。
		建設業(経営者)	・木造住宅の輸入材料不足により、資材価格の高騰が建築価格を押し上げ始めた。新築案件の先延ばしの動きが心配である。
		輸送業(営業担当)	・新型コロナウイルスの感染が収束するまで、客が買物をしたという気持ちにはならないため、売上は上がらない。
	×	化学工業(企画担当)	・食用原料油の価格の高騰が止まらないが、販売価格への反映はタイムリーに行えない。
	×	金属製品製造業(営業担当)	・原材料の鋼材価格が大幅に上がっている一方、販売価格への転嫁が進まず、採算が悪化している。
	×	不動産業(営業担当)	・新型コロナウイルスの変異株による影響が出てきている。新たな感染数が増え、再び緊急事態宣言が発出される可能性が出てくるため、今後も悪くなる。
	×	その他非製造業〔電気業〕(営業担当)	・新型コロナウイルスの感染収束が見通せないため、経済の立て直しが進まない。
雇用 関連 (近畿)		*	*
		人材派遣会社(支店長)	・新型コロナウイルスのワクチン接種が終わり、感染が落ち着けば、かなり回復すると予想される。
		人材派遣会社(営業担当)	・新型コロナウイルスのワクチンの職域接種が具体的に進みつつあるなど、新型コロナウイルス発生前の経済活動に戻る材料が出てきている。
		人材派遣会社(役員)	・東京オリンピックの開催や、新型コロナウイルスのワクチン接種の増加を見込み、景気が良くなることを期待している。
		新聞社〔求人広告〕(管理担当)	・緊急事態宣言が解除され、新型コロナウイルスのワクチン接種も急速に増えている。ワクチンの接種がこのまま順調に進み、東京オリンピックの開催が現実となれば、景気は上向くと予想される。ただし、東京では人流が増え、感染者数が再び増え始めている。緊急事態宣言が発出されるようなことになれば、景気は腰折れする可能性がある。
		職業安定所(職員)	・新型コロナウイルスのワクチン接種の進行や、東京オリンピックの開催による人流の増加が予想される。それに伴って企業活動も活発化するため、今後の回復が期待できる。
		職業安定所(職員)	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進むにつれて、景気が上向いてくると予想され、各社も同じように考えている。
		学校〔大学〕(就職担当)	・新型コロナウイルスのワクチン接種の動向次第であるが、高齢者よりも働き盛りの年齢層への接種を期待したい。
		人材派遣会社(経営者)	・第1四半期の景気は芳しくなく、第2四半期も景気そのものは横ばいとなる。10月からは様々な業種で忙しくなるが、新型コロナウイルスの年内の感染収束は期待できず、企業業績の二極化傾向が顕在化する。
		アウトソーシング企業(社員)	・雇用の条件や形態には、変化がない。
		職業安定所(職員)	・6月の新規求人数は前年比で微減となっているが、新規求職者数は減少傾向で推移している。求職者からは、新型コロナウイルスのワクチン接種後に就職活動を行うという声もあり、企業にとっては人材確保の停滞につながる懸念される。
		職業安定所(職員)	・製造業では、特に自動車関連の一部で求人改善がみられるが、求人数全体は伸び悩んでいる状態であり、景気の回復には至らない。
		民間職業紹介機関(職員)	・今後もしばらくは、新型コロナウイルスの感染拡大による直接的な影響のほか、ウッドショックなどの間接的な影響を払拭できる見通しが立たない。
		民間職業紹介機関(営業担当)	・今回の緊急事態宣言前から、採用活動のオンライン化が進んでいるため、前年のように宣言の前後で採用活動に大きな変化はない。手段が変わるだけで、採用の活動量は変わらないが、3か月後は23年卒の採用に向けた、秋冬の業界説明会の出展募集が始まるため、それに伴う企業の動きに着目したい。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		人材派遣会社（営業担当）	・東京オリンピックによる効果が、マイナスとプラスのどちらに転ぶかで変わる。
		民間職業紹介機関（営業担当）	・新型コロナウイルスによる特需が落ち着いてくると予想される。通常の求人は新型コロナウイルス発生前に比べると減少しているため、今の状況よりも少し悪くなる。
		学校〔大学〕（就職担当）	・求人はあるが、企業ごとの採用人数が減少傾向にある。また、無理に採用しなくても、来年に優秀な人材が確保できればよいと考える企業が出てきている。
	x	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種による感染者数の変化については、全く見通せない。この2～3か月の地元企業によるプロモーション費の動きも、前年の65%台となっている。

9. 中国（地域別調査機関：公益財団法人中国地域創造研究センター）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連 (中国)		タクシー運転手	・緊急事態宣言が解除されたため、今後、景気は良くなる。
		通信会社（企画担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、東京オリンピック・パラリンピックのリスクも超えている時期になるため、客の消費意欲も元に戻る。
		商店街（理事）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進むため、景気はやや良くなる。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、自粛疲れで外出者が増加するため、景気はやや良くなる。
		一般小売店〔靴〕（経営者）	・新規客以外にも、既存客が再来店する機会が増えており、来客数が元に戻ってくる。
		一般小売店〔茶〕（経営者）	・まだ、暗中模索のなかではあるが、少しずつ景気が良くなる。
		百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が完了すれば、売上が回復する。
		百貨店（外商担当）	・東京オリンピックが開催され、新型コロナウイルスのワクチン接種も進むことで、客が心理的にも盛り上がっていく。
		百貨店（外商担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、新型コロナウイルス感染症の終息の見通しが立てば、客の購買意欲が高まり、景気の上昇につながってくる。
		スーパー（店長）	・来客数、売上がいずれも前年を上回っており、夏に向けても期待ができる。緊急事態宣言解除後、客の動向が明らかに変化している。外食から内食への動きは変わっておらず、今後も、お酒関連の需要はうち飲みとして伸長する。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、東京オリンピックも開催されるため、客の動きが活発になり、景気もやや良くなる。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進んでいるが、周辺の飲食店や総合スーパーの客の動きから判断すると、景気は徐々に上向いてくる。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、客の生活が通常に戻れば、景気は回復してくる。
		スーパー（総務担当）	・人の動きが活発になり、来客数も徐々に伸びる。
		コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進めば、景気は徐々に良くなる。
		コンビニ（エリア担当）	・東京オリンピック・パラリンピックが開催されるので、客の動きも少し良くなる。
		コンビニ（副地域ブロック長）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進むと、国内観光客や人の往来が増加し、来客数も増加する。
	乗用車販売店（営業担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種の普及により、客の行動量が増加する。	
	乗用車販売店（営業担当）	・新型車が2～3台投入されるため、来客数が増加する。	
	自動車備品販売店（経営者）	・新型コロナウイルスの終息が少し見えてきたような感じで、先行きに期待が持てる。	
	その他専門店〔和菓子〕（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、景気はやや良くなる。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他小売〔ショッピングセンター〕（支配人）	・このまま、新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、感染拡大が落ち着けば、観光客が戻り、景気も回復傾向に向かう。一方でニューノーマルが定着すると、飲食関連は、当面厳しい状況が続く。
		高級レストラン（事業戦略担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、人々が外食や観光に出向く機会が増加する。
		一般レストラン（経営者）	・これまでは良くなると予測していた景気が更に悪くなるという結果が続いているが、今回は景気はやや良くなる。
		バー（経営者）	・時短営業が解除されるため、景気はやや良くなる。
		観光型ホテル（営業担当）	・緊急事態宣言が解除になり、7月には高齢者の新型コロナウイルスのワクチン接種がほぼ終了するため、高齢者の来客数が増加する。
		観光型ホテル（副支配人）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、施設の営業が再開したことで、宿泊の予約が入り始めているため、今後、景気はやや良くなる。
		都市型ホテル（企画担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、人々の行動様式が変化するため、景気はやや良くなる。
		都市型ホテル（企画担当）	・アルコールの提供制限がなくなり、レストランの先行受注も増加してきている。土日を中心に商業施設への人出も増え、ストレス発散のための消費行動も現れつつある。東京オリンピックの開催を契機に、イベントなどの開催制限も緩和されれば、人の動きが良くなり、夏休みに向けて消費活動も活発になる。
		都市型ホテル（総支配人）	・緊急事態宣言、まん延防止等重点措置の一部解除により7月以降の予約が動き出したため、今後、景気はやや良くなる。
		タクシー運転手	・緊急事態宣言が解除され、新型コロナウイルスのワクチン接種も進むため、今後、人々の動きが活発になる。また、東京オリンピックの開催で、人々が刺激を受け、新型コロナウイルス禍の自粛からの解放感を強める。
		タクシー運転手	・年配の人が外出したがっているようなので、今後、景気はやや良くなる。
		タクシー運転手	・夏場にピヤガーデンの営業が開始されると、徐々にではあるが、夜の乗車率も上がってくる。
		通信会社（営業担当）	・緊急事態宣言の解除に伴い、消費対象が拡大されるとともに、客の消費意欲も高まる。
		通信会社（工事担当）	・僅かではあるが、東京オリンピック開催による経済効果の恩恵を受けるため、景気はやや良くなる。
		テーマパーク（業務担当）	・緊急事態宣言が解除され、新型コロナウイルスのワクチン接種も進むことから、人の流れが良くなる。
		観光名所（館長）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、人々の旅行マインドが高まる。
		観光名所（管理担当）	・施設の営業ができるようになれば、それなりに売上が上がる。
		ゴルフ場（営業担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進めば、秋に向けて景気は良くなる。
		競艇場（企画営業担当）	・2か月後には女子戦、3か月後にはG1競走が開催されるため、売上が増加する。
		住宅販売会社（従業員）	・今後、東京オリンピック開催による高揚感と新型コロナウイルスのワクチン接種推進による安心感から、景気は少しずつ良くなっていく。
		商店街（代表者）	・商店街の集客イベントを様子見しながら開催していく予定であるが、景気は急には良くならない。
		商店街（代表者）	・来客数は回復傾向にあるが、景気は変わらない。
		百貨店（経理担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種の効果が現れるまでは今の状況が続く。
		百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、消費マインドが改善しない限り、景気に大きな変動はない。
		百貨店（営業担当）	・65歳未満の新型コロナウイルスのワクチン接種が開始し、景気が上向きになったとしても、レジャーや旅行などが中心となり、衣料品の消費などは厳しい状況が続く。
		百貨店（売場担当）	・東京オリンピック・パラリンピック終了後や新型コロナウイルスのワクチン接種率が上がった段階の予測は全くできない。現時点では景気は変わらない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		百貨店（営業企画担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、客の動向は良くなるが、一方で東京オリンピック開催による巣籠りが起こるため、景気は変わらない。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの影響が続く限り、景気は変わらない。
		スーパー（販売担当）	・今後の新型コロナウイルスのワクチン接種の動向が不透明で、景気が上向き材料もないため、景気は変わらない。
		スーパー（営業システム担当）	・前年と比べ、客単価、来客数、売上のいずれも予想していたほどの落ち込みはない。これから学校が夏休みに入るが、新型コロナウイルスの感染が落ち着いていても近場に出掛けるため巣籠り需要が続く。
		スーパー（販売担当）	・新型コロナウイルスの感染が落ち着き、このまま感染者数が増加しなければ、景気は変わらない。
		コンビニ（エリア担当）	・景気が良くなる要因が見当たらないため、変わらない。
		コンビニ（支店長）	・一度変わってしまった行動の変化は元には戻らないため、景気は変わらない。
		衣料品専門店（代表）	・出掛けないことが普通になり、新しい洋服を買うきっかけを失っている客が多いため、今後も景気は変わらない。
		家電量販店（店長）	・新型コロナウイルスが終息しない限り、景気は変わらない。
		家電量販店（企画担当）	・東京オリンピックを控えている現状でも、売上は増加しておらず、景気が良くなる兆しもないため、今後も変わらない。
		乗用車販売店（営業担当）	・緊急事態宣言が解除されたが、客の節約志向に余り変化がないため、今後も景気は変わらない。
		乗用車販売店（営業担当）	・緊急事態宣言は解除されたが、来客数から判断すると、今後も景気は変わらない。
		乗用車販売店（業務担当）	・新型コロナウイルスや半導体不足による商品の納期長期化で先が読めないが、現状から判断すると、今後も景気は変わらない。
		その他専門店〔布地〕（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進んでいるので、すぐには変わらないが、年末までには景気は良くなる。
		その他専門店〔時計〕（経営者）	・地方では今後、人口減少率が上昇するため、コンパクトな経営にしなければならない。
		その他専門店〔土産物〕（経営者）	・緊急事態宣言やまん延防止等重点措置を繰り返している状況では落ち着いて観光に行く雰囲気には程遠く、現状では景気が良くなる期待を持ってない。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（管理担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、新型コロナウイルスに対する危機感は多少薄れるが、家庭に余分な支出を行う余裕が生まれ、景気が回復することはない。
		一般レストラン（経営者）	・通常の営業活動に戻るにはまだまだ時間が掛かる。
		一般レストラン（店長）	・時短営業が解除されれば、景気は多少良くなっていくかもしれないが、先行きが不透明な部分がとても多い。東京オリンピックの開催で人の流れが良くなり、再度の緊急事態宣言などで営業が制限される可能性が高いため、この先も景気は良くならない。
		その他飲食〔サービスエリア内レストラン〕（店長）	・新型コロナウイルスの影響が続くため、景気は変わらない。
		旅行代理店（経営者）	・東京で新型コロナウイルスの感染者数が増加する限り、景気は変化しない。
		旅行代理店（支店長）	・新型コロナウイルス第5波が訪れると、景気は回復しない。
		通信会社（経理担当）	・東京オリンピックが開催されることによって少しは景気が良くなるかもしれないが、まだまだ先が見えない状態が続く。
		美容室（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が終了しないと景気は変わらない。
		美容室（経営者）	・新型コロナウイルスが終息しない限り、景気は変わらない。
		設計事務所（経営者）	・新型コロナウイルス禍の不安定な状況や木材不足の状況がしばらく続くため、景気は変わらない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		商店街（代表者）	・子供服の需要が落ち込んでおり、今後も厳しい状況が続く。
		一般小売店〔食品〕（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が順調に進むと、人々が移動自粛に対して緩慢になり、レジャーや外食が客を取り戻す状況になってくる。
		一般小売店〔印章〕（経営者）	・通常の年でも夏場は景気が悪いため、今後、景気は悪くなる。
		百貨店（販売計画担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種者が大半を占め、経済対策が実施されるようにならないと、景気はおおむね下降線をたどる。
		スーパー（店長）	・今後も客が安売り時にまとめ買いし、買物回数を減らす傾向が続く。
		スーパー（販売担当）	・高齢者を中心に新型コロナウイルスのワクチン接種が進んでいるものの、客の来店頻度は減っている。緊急事態宣言が解除されたが、客の消費への意欲はまだ低い。新型コロナウイルスの先行きは不透明であり、今後、景気はやや悪くなる。
		家電量販店（店長）	・前年は家電需要が1年間好調に推移したため、今年はその反動もあり、需要が低下傾向をたどる。
		乗用車販売店（店長）	・販売が厳しいだけでなく、整備在庫も勢いが落ちている。販促効果思ったほど感じられず、客の消費マインドも一段と低下しているため、今後、景気はやや悪くなる。
		乗用車販売店（統括）	・新型コロナウイルスや半導体不足による自動車減産の影響で、景気はやや悪くなる。
		一般レストラン（経営者）	・前年は特別定額給付金の給付があり、客に経済的な余裕があった。売上が回復しても、主力食材の輸入牛肉の値上げがあるため、利益は減少する。
		放送通信サービス（総務経理担当）	・料金延滞額が増加しているため、今後、景気はやや悪くなる。
		テーマパーク（営業担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種の状況にもよるが、夏休みやお盆期間に人の移動による新型コロナウイルス感染者数の増加が見込まれ、再び自粛の政策が発動される可能性がある。
		設計事務所（経営者）	・ウッドショックによる購入価格の上昇が客の購買意欲に悪影響を与え、景気はやや悪くなる。
		設計事務所（経営者）	・輸入材不足が顕著な現状から、住宅の契約に先延ばしの様相が見受けられたため、住宅設備等も含め、建材全般にも今後悪い影響が出てくる。
		住宅販売会社（営業担当）	・緊急事態宣言が解除され、現状は入居に回復傾向がみられるが、東京オリンピックなどもあり、新型コロナウイルスの感染拡大が懸念される。
		住宅販売会社（営業所長）	・東京オリンピックの開催で、新型コロナウイルスの感染が拡大する懸念もあり、景気の先行きは不透明である。
		住宅販売会社（営業担当）	・ウッドショックの影響で、客の動きが鈍くなる。
	×	一般小売店〔眼鏡〕（経営者）	・メディアが感染力の強い変異ウイルスが流行すると報じているため、自粛期間が延び、景気が悪くなる。
	×	一般小売店〔洋裁附属品〕（経営者）	・食料品や生活必需品購入目的の来客数は増加しているが、衣料品関係が伸び悩んでいるため、景気は悪くなる。
	×	スーパー（財務担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、人々の外出機会が増加することで、巣籠り需要が減少することに加え、所得減少による節約も起こるため、既存店の売上が減少する。
	×	乗用車販売店（店長）	・現状では景気が良くなる兆しがない。
	×	通信会社（広報担当）	・このままの状況であれば、客の購買意欲が上がらないため、景気は悪くなる。
	×	テーマパーク（管理担当）	・東京オリンピックの開催が新型コロナウイルスの更なる感染拡大を引き起こすため、景気は悪くなる。
	×	美容室（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、生活スタイルが変化したため、今後、以前より楽しい日々が過ごせるようにならない限り、景気は悪くなる。
企業動向関連		通信業（営業企画担当）	・新型コロナウイルスワクチンの一般向け接種が進むと、関東からの県外出張が可能となり、関東方面からのデータセンター見学などが今より活発になるため、景気は良くなる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
(中国)		通信業（営業担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が順調に進めば、これまで1年以上にわたって我慢してきた反動で購買活動が活発化する。少なくとも東京オリンピック・パラリンピックが閉幕するまでは、緊急事態宣言が出されない公算が高いため、景気は良くなる。
		木材木製品製造業（経理担当）	・東京オリンピック開催による影響も含め、今後の新型コロナウイルス感染症の拡大状況にもよるが、基本的には全国的に新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、経済が回り始め、景気がやや良くなる。
		化学工業（総務担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、経済が上向く。
		金属製品製造業（総務担当）	・鉄原材料価格が上昇局面に入っており、採算悪化は避けられないが、工作機械や造船業界からの受注増加が見込め、量で補えるため、景気はやや良くなる。
		輸送業（総務担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、緩やかではあるが荷動きも活発になる。
		輸送業（支店長）	・今後、ますます電子商取引の利用が進み、インターネット通販の需要が増加するため、景気はやや良くなる。
		会計事務所（経営者）	・新型コロナウイルスの完全終息には時間が掛かるかもしれないが、新型コロナウイルスのワクチンの普及により、ウィズコロナのなかで経済活動は促進する。
		農林水産業（従業員）	・新型コロナウイルスのワクチン接種率と感染者数がどうなるか不透明なため、景気は変わらない。
		繊維工業（監査担当）	・来月以降はほとんど荷動きが止まるので、特に変化はない。
		化学工業（総務担当）	・自動車産業の半導体不足問題等の影響が出てくる。
		窯業・土石製品製造業（総務経理担当）	・大型案件の引き合いもなく、現在の生産水準が継続する。
		鉄鋼業（総務担当）	・夏場にかけては、例年横ばいであるため、景気は変わらない。
		鉄鋼業（総務担当）	・これ以上良くなるかは不明だが、当面は上向き傾向が続く。
		非鉄金属製造業（業務担当）	・これ以上の好転要素は見当たらないため、景気は変わらない。
		一般機械器具製造業（管理担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進んでいるが、先行きが不透明なことが多くあるため、景気は変わらない。
		電気機械器具製造業（総務担当）	・5G市場拡大に伴い、プリント基板製造装置関連の売上が増加しているものの、営業活動の制約が続き、工作機械や産業用機械装置の売上が減少していることから、景気は変わらない。
		輸送用機械器具製造業（総務担当）	・新型コロナウイルスや半導体不足の影響で、景気は上向きにはならない。
		建設業（経営者）	・新年度になり、企業の事業計画が定まり、工事の発注が始まっている。製造業からの発注が多く、受注の極度な落ち込みがないため、景気は変わらない。
		建設業（総務担当）	・この先1年は大きな変化はない。
		輸送業（総務・人事担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、新型コロナウイルス発生以前の状態に戻れば、景気は上向くが、現時点では改善の兆しはない。
	金融業（融資企画担当）	・当面、地元完成車メーカーの生産は、主力車種の販売伸び悩みと半導体不足の影響で、計画をやや下回る見込みである。このため、系列の地元部品メーカーの多くは、当面の受注がピーク時の9割程度で推移する。	
	金融業（貸付担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、人の流れが良くなることで、新型コロナウイルス感染者数が再び増加する懸念が残っているため、景気が急速に回復するとは言い難い。	
	不動産業（総務担当）	・今月同様、来客数や成約件数は余り変わらない。	
	広告代理店（営業担当）	・新型コロナウイルスが終息すれば景気は良い方向に向かうが、新型コロナウイルスの影響が続けば、今後、景気は上向かない。	
	食料品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進まない消費意欲の低迷が続く。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		食料品製造業（総務担当）	・緊急事態宣言が解除されたばかりで、景気が良い方向に向かうにはまだ時間が掛かる。原材料価格の高騰や石油価格の高騰による物流費の上昇がマイナス要因に働く。
	×	一般機械器具製造業（総務担当）	・受注や販売の動きが悪く、半導体不足による関連製品の納品遅れが出ているため、景気は悪くなる。
	×	輸送用機械器具製造業（経営企画担当）	・主要客の工場の一部が7月に2週間操業停止となる。一部地域の客からの受注内示量も半分以上の減少修正となっている。半導体不足の影響であるが、今後2～3か月先の見通しも立たないため、景気は悪くなる。
雇用 関連 (中国)		-	-
		人材派遣会社（経営戦略担当）	・アフターコロナを見据えた新規採用が活発になる。
		人材派遣会社（支店長）	・このままの調子であれば、景気は下期には新型コロナウイルス発生以前と同等くらいに回復する。ただ、正規雇用を希望する求職者が企業の求人とうまくマッチングするかが課題である。
		求人情報誌製作会社（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進むため、景気はやや良くなる。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・企業により良い人材を確保したいという動きがあるため、今後も継続的な採用活動が展開される。
		民間職業紹介機関（職員）	・緊急事態宣言が解除され、東京オリンピックが開催されることで、人々の気分が高揚し、消費に結び付く。
		学校〔大学〕（就職担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、飲食業や旅行業の動きが活発化する。
		その他雇用の動向を把握できる者	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進むなか、東京オリンピックの開催が景気の起爆剤となり、景気は回復基調になる。
		人材派遣会社（社員）	・労働者の新型コロナウイルスのワクチン接種が進めば、人流が増え、経済は良くなる。飲食業界やホテル業界の景気回復が鍵だが、まだ時間が掛かる。
		人材派遣会社（支社長）	・景気が良くなる材料が見当たらないため、変わらない。
		求人情報誌製作会社（広告担当）	・今後の就活生の説明会や面接は新型コロナウイルスのワクチン接種状況にもよるが、Web化が更に進む可能性が高い。採用人数は僅かに微増、中途採用も募集企業数が2年前の8割ほどには戻っており、若年層の採用は悪くない。ただ、採用に際しては、年齢枠が厳しく、20代～35歳くらいまでを希望する企業が大半で、一部の技術者を除き、中高年の就活は厳しい状況が続く。
		職業安定所（所長）	・宿泊業界には、現時点では業況に改善はないが、今後、新型コロナウイルスのワクチン接種が進めば、業況改善の可能性もあるため、先を見越して募集活動の再開を検討する企業もある。
		職業安定所（雇用関連担当）	・求職活動の長期化が続くなど、景気はまだ回復傾向にはない。
		職業安定所（事業所担当）	・緊急事態宣言は解除されたものの、飲食業や生活関連サービス業からの雇用調整助成金の相談や申請は増加しており、状況が改善するには相当の期間を要する。
		民間職業紹介機関（求人・人材採用担当）	・今後の社会情勢の不透明さから人材の採用に慎重になっている企業が多く、採用基準も高い。
		学校〔短期大学〕（進路指導担当）	・新型コロナウイルスの影響により、今後も十分な経済活動や就職活動が実施できない状況が続く。
		-	-
	×	-	-

10. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (四国)		通信会社（社員）	・ワクチン接種者が増えるにつれ、経済の動きも活発化していくと考える。
		商店街（事務局長）	・大都市の感染者数が増え、第5波が懸念されるため、予断を許さないが、ワクチン接種が大きく進んでいることから、今秋には旅行や実店舗での買物が増えると期待している。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		一般小売店〔生花〕 (経営者)	・祝い事や法事など、少人数で集まる行事の予約が増えてきている。
		百貨店(販売促進)	・ワクチン接種が進むことで、これまで我慢してきた購買意欲が旺盛になり、地元客だけではなく観光客が少しずつ戻ってくると思われる。
		コンビニ(店長)	・当店は来客数が戻り、客の様子も日常を取り戻したと感じている。休日には行楽の家族連れもみられるようになっている。
		衣料品専門店(経営者)	・新型コロナウイルスの影響でかなり売上が厳しかったが、ワクチンのお陰で多少は収束がみえてきており、売上也景気も良くなると思う。
		衣料品専門店(経営者)	・元々売上が尻上がりになっているところに、公務員や民間企業のボーナス支給などのプラス要因が加わり、多少は売上が伸びるのではないかと期待している。
		衣料品専門店(営業責任者)	・ワクチン接種が進むことで、新型コロナウイルスの感染者数が減少していけば、業況がやや改善すると考えている。
		家電量販店(店員)	・エアコン等の季節商材が動き始め、ボーナス商戦で販売数の増加が見込まれる。
		乗用車販売店(役員)	・年末に向けワクチン接種が進むことは確実になり、人の流れも回復してくるので、売上はやや良くなっていくと考える。
		その他専門店〔酒〕 (経営者)	・お中元や家飲みで飲物が売れるので、少し売上が上がると思う。
		その他小売〔ショッピングセンター〕 (副支配人)	・ワクチン接種が進み、新規感染者数が現在の水準で抑えられるなら景気はやや上向くと思う。しかし、東京オリンピック等で感染者数が増加し、緊急事態宣言が再度発出されるなら、景気は冷え込むだろう。
		一般レストラン(経営者)	・Go To Eatキャンペーンは使用期限があるので、客足は少し戻ると思う。
		観光型旅館(経営者)	・当県の感染状況は落ち着き、県内旅行限定での宿泊補助がスタートしたことから、人の動きは少し回復すると思われる。
		旅行代理店(営業担当)	・ワクチン接種の拡大や東京オリンピック開催決定により、社会全体が少しずつ通常の生活に戻るように思う。
		通信会社(営業部長)	・新型コロナウイルスの影響による自粛は余り感じられなくなってきた。また、特価商材を用意したところ、客の反応が良かったことから、消費意欲はあると感じた。
		通信会社(営業担当)	・新型コロナウイルスの新規感染者数の大幅な減少がないからなのか、来客数は減少傾向である。今後、ワクチン接種による来客数の増加に期待したい。
		観光遊園地(職員)	・ワクチン接種の浸透に伴い、感染再拡大を防ぎながら経済活動が再開されることによって段階的にではあるが、景気の回復に期待できる。
		設計事務所(所長)	・製造業の設備投資や土地を探している企業が増えてきている。
		商店街(代表者)	・来月は東京オリンピックが始まり、日本全体が盛り上がる状況になるかもしれないが、新型コロナウイルスの感染が収束する気配がないので、このままの状態がしばらく続くと思う。人出もかなり制限されると思う。
		商店街(代表者)	・首都圏では新型コロナウイルス感染症の再拡大の兆しが見られ、人々の動きが活発になっていない。東京オリンピックは無観客になる可能性もあり、先行きが不透明な状況が続いている。
		一般小売店〔文具店〕 (経営者)	・景気が悪い状況に変化がなく、打つ手がない状況である。ワクチンが行き渡り、好転するのを待つしかないと思われる。
		一般小売店〔酒〕(販売担当)	・ワクチン接種は進んでいるが、周囲は、東京オリンピック後の新型コロナウイルスの感染状況を見ないと何も行動できないと言っている。変異株の感染者数が増えてきているので、油断はできないし、まだまだ経済は元に戻らない。
		百貨店(営業管理担当)	・変異株による新型コロナウイルスの感染再拡大や東京オリンピック後の感染状況による行動規制等の影響が懸念されるため、先行き是不透明である。
		スーパー(店長)	・新型コロナウイルスの感染状況次第なので、景気の先行きを見通すことは難しい。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スーパー（企画担当）	・ワクチンの普及がかなり広がらない限り、外食の需要は戻りづらいと推測する。買物に出る頻度は少しずつ増加するかもしれないが、まとめ買いの傾向は続いていくと推測する。
		コンビニ（商品担当）	・ワクチンが行き渡ればよいが、日本は諸外国と比較して遅れており、イベントなども縮小傾向である。今後、変異株等のまん延が懸念される。
		コンビニ（総務）	・ワクチン接種が進めば好転するかもしれないが、感染拡大により、一定期間は再度悪化するという一進一退の状況が続くと思う。
		家電量販店（副店長）	・当地域では新型コロナウイルスの感染者は少ないが、来店や売上が落ち込む状況が続くと予想される。
		乗用車販売業（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響と半導体不足で、景気は現状のままだと思われる。
		乗用車販売店（従業員）	・中小企業でも7月からワクチンの職域接種がスタートすると聞いている。景気の回復は、東京オリンピック終了後のワクチン接種状況と各種の変異株をどこまで抑えられるか次第で決まると思われる。
		乗用車販売店（従業員）	・半導体不足もあり、景気回復にはしばらく時間が掛かる。
		都市型ホテル（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況にもよるが、今のワクチンの予約状況等をみていると、好転しない気がする。今の状況のまま何とか持ちこたえてくれたらと考えている。
		タクシー運転手	・当県では新型コロナウイルスの感染が拡大していたことから、景気の先行きは変わらないと判断している。感染者数は他県と比べて少ないが、10万人当たりの感染率は全国で7番目である。現状を考えると東京オリンピックもあるが、通常の人々の動きに戻らないと判断する。
		競輪競馬（マネージャー）	・ワクチン接種率が高まっていくものの、大都市圏の緊急事態宣言解除及び東京オリンピック開催等による人の流れの活発化により、感染者数急増の傾向が予想される。景気は現状から余り変わらないと予想する。
		美容室（経営者）	・現在の人の動きで新型コロナウイルスの感染がまた広がるのか、ワクチン接種で状況が落ち着くのか、毎月の分析が本当に難しい。
		商店街（代表者）	・市も県も街づくりの原点から見直す時代であるとの認識がない。70年前の戦火で焼き野原だった時代から再スタートするくらいの発想の転換も必要である。
		スーパー（店長）	・ワクチン接種が進み内食需要が少なくなると予測する。
		スーパー（財務担当）	・新型コロナウイルスの感染が落ち着き、拡大していた内食需要が減少する。
	×	コンビニ（店長）	・来客数が増加する見込みは本部の施策次第だと感じており、コンビニ業界は構造的な見直しが必要な段階になっていると思う。ワクチン接種が始まり、売上は改善すると見込んでいたが、現状からみるとまだ程遠いと判断する。
	×	タクシー運転手	・当地域は新型コロナウイルスの新規感染者数が減少し、夜の飲食店は遅くまで営業している。しかし、関東では変異株が増えているので、今後全国的にまん延し、時短営業に追い込まれることを懸念している。暑くなり、お遍路の仕事はなく、今よりもっと悪くなるような気がする。
	×	美容室（経営者）	・東京オリンピックや夏休みで新型コロナウイルスの感染者数が増えて売上に影響が出ると思う。
企業 動向 関連 (四国)		繊維工業（経営者）	・コロナ禍で、消費動向が変化しており、外出しなくても便利に買物ができるネット販売が順調である。ただ、新しい消費者がネット販売に流れているわけではなく、今まで小売店で当社商品を買っていた、商品内容が分かっている消費者が当社又は取引先小売店のネットに流れている要素もあると思われる。観光地の小売店に入店が戻るのはまだ先であり、厳しい部分も多く、それらの小売店が元どおりになるか、不安が大きい。
		食料品製造業（経営者）	・ワクチン接種が進んで行き、新型コロナウイルスの新規感染者数も減少し、外食や観光業態の景気も徐々に回復していくと推測する。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		木材木製品製造業（営業部長）	・ここ3か月の大手ハウスメーカーの契約者数が大幅に回復するなど住宅の販売契約者数は大幅に伸びてきている。ただ、ウッドショックの影響が第3四半期で出るとの見込みがあり、安心はできない。このまま木材の輸入が3割程度ダウンすれば、住宅の着工も遅れると予想されている。
		鉄鋼業（総務部長）	・受注獲得までには至っていないが、案件が決まれば上向くと期待はできる。
		一般機械器具製造業（経理担当）	・依然として厳しい状況であるが、一部地域では政府による経済対策としてのインフラ投資及び再生可能エネルギー関連プロジェクト等により客の投資マインドに回復の動きがみられる。一方で、世界的な電子部品供給不足の影響も懸念される。
		電気機械器具製造業（経営者）	・バイオマス発電が注目されているなか、最近では木の値段が高騰しているが、私は竹で燃料を作ることと考えており、その影響を受けることはないことから、景気は良くなると判断した。
		輸送業（営業）	・自治体によるワクチン接種が進むことで、行動制限は徐々に緩和され、消費の拡大も期待されるが、本格的な景気回復は東京オリンピック以降になると推察している。
		税理士事務所	・完全に新型コロナウイルスに対応できるまで不安はあるが、ワクチン接種が進んでいけば不安が取り除かれるので良くなると思う。
		農林水産業（職員）	・ワクチン接種は大規模接種や職域接種等もあり拡大している。一方、首都圏では新型コロナウイルスの感染が再拡大の傾向にあるなど、一進一退の状況にある。国民の半数以上のワクチン接種が終わるまでは、現状の環境が続くと覚悟しており、年内は厳しいと思う。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（経理）	・新型コロナウイルスの影響で、除菌ウェットシートや掃除用ウェットシートの需要は高まっているが、新規参入企業等の影響で供給力も高まっているため、売上は横ばいである。
		化学工業（所長）	・ワクチン接種がもっと進み、人の流れや動きが回復しなければ景気回復は難しいと考える。
		電気機械器具製造業（経理）	・特需による販売が落ち着いた。
		建設業（経営者）	・新型コロナウイルス次第であり、変化はないと思う。東京オリンピックの経済へのプラス効果は地方都市にはほとんど影響しないと思われる。
		通信業（総務担当）	・東京オリンピックや夏季祭りなどが開催されれば、景気回復の後押しとなり、当社のサービス、商材等にも良い効果が及ぶものと考え。しかし、そのイベント開催により新型コロナウイルスの感染が再拡大することになれば景気回復には至らず、現状維持若しくは悪化することが想定され、3か月先は不透明と考える。
		金融業（副支店長）	・景気動向は新型コロナウイルスの感染状況に大きく影響を受ける。収束するためには、ワクチン接種の浸透が必須と思われるが、現況から鑑みるに、3か月後の好転は見込みが薄い。
		広告代理店（経営者）	・変異株による感染再拡大やワクチン接種の遅れ等により夏場のイベント等もおおむね中止になる。また、販促広告計画も慎重な取引先が多く、依然として厳しい状況が続く予想である。
		建設業（経営者）	・ウッドショックによる木材の値上がりや、鉄の値上がりが響きそうである。
		輸送業（経理）	・一部の客は増加しているが、全体的には出荷量が減少傾向である。
		通信業（企画・売上管理）	・前年同時期より増える見込みだが、東京オリンピックの影響が地方テレビ局にプラスに働く見通しはない。
	x	-	-
雇用 関連 (四国)		人材派遣会社（営業）	・新型コロナウイルスの影響にもよるが、東京オリンピック効果などで消費者ニーズが高まり、流通や公共交通、観光等のサービス業界を中心に雇用も拡大し、景気が少し良くなると考える。これからはリモート会議、RPA化など非接触型のビジネススタイルの働き方がより求められる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		職業安定所（求人開発）	・就職件数は増加し、求人充足率が上がっている。また、週末の日中に市内中心部の人出が新型コロナウイルス発生以前のような状態になっている。現在当県ではワクチン接種の1回目を終了した高齢者の割合が約40%、2回目の終了者は約10%ではあるが、市内中心部の百貨店で高齢者の買物客をかなり見掛けた。
		民間職業紹介機関（所長）	・ワクチン接種が順調に進んでいる。
		学校〔大学〕（就職担当）	・ワクチンの職域接種等の効果により、新型コロナウイルスの新規感染者数が減少し、それに伴って景気も良くなると期待できる。
		求人情報誌（営業）	・大幅な景気の回復を期待できる要素がなく、景況感は現状維持で低水準のままと思われる。
		求人情報誌制作会社（従業員）	・夏休みに向けて学生アルバイトの募集は増加するが、正社員の募集は減少すると予想される。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・現状では良い兆しがみえない。新型コロナウイルスの終息と個人消費の伸びに期待したい。
		-	-
	×	人材派遣会社（営業担当）	・東京オリンピックの開催で物流などに影響があり、新型コロナウイルスの感染者数増加による景気の悪化を懸念する。

11. 九州（地域別調査機関：公益財団法人九州経済調査協会）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連 (九州)		商店街（代表者）	・当県では、65才以上のワクチン接種が7月中で終了し、その後も各年齢層のワクチン接種が進んでいくと当然動きが活発になり、消費や売上が戻ってくると予想されるため、3か月後には上向いていく。
		コンビニ（経営者）	・ワクチン接種次第であるが、新規感染者数が減少することに期待している。
		乗用車販売店（従業員）	・ボーナス商戦が始まり、良くなっていく。
		一般レストラン（スタッフ）	・ワクチン接種の普及と、コロナ慣れも出て、人の往来が増加する。
		都市型ホテル（スタッフ）	・ワクチン接種の広がりとともに、徐々に客が戻ってくると予想している。
		競馬場（職員）	・客の入場が増加していくと予想している。
		商店街（代表者）	・ワクチン接種も徐々に広がりつつあり、6月から若干景気が良くなると期待をしている。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの影響で、人の動きがない。ワクチン接種の進捗があれば、若干良くなっていく。
		商店街（代表者）	・2回目ワクチン接種が終わり、旅行や様々な行事が行われることになれば、景気の上向きも期待できるが、コロナ禍以前の状態までは期待できない。
		商店街（代表者）	・しばらくは、東京オリンピックに向け社会が動いていくが、地方では閉幕後の状況が心配である。
		一般小売店〔鮮魚〕（店員）	・緊急事態宣言が解除され、若干良くなってはいるが、この状態がいつまで続くのか不安である。2～3か月後というところそろそろ秋口になるが、海水温が高くなっているため、魚種に変化が出ており、海の状態が気になるところである。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進むことで、安心感が出て、若干集客イベントも実施できるようになる。東京オリンピックやパラリンピック開催にも期待できる。
		スーパー（店長）	・緊急事態宣言からまん延防止等重点措置へ移行されると、行動範囲の拡大が予想され、それに伴う各商品需要が期待される。ワクチン接種状況が大きなキーワードになっている。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスワクチン接種も、順調に進んでおり、消費者マインドとしても上向きに転ずることに期待している。
	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、新規感染者は確実に減少傾向に向かうと考えられる。東京オリンピック終了後、多少のリバウンドがあったとしても、経済活動は徐々に上向いていく。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		コンビニ（経営者）	・ワクチン接種が加速しているため、人の動きは戻ると考えられる。
		コンビニ（エリア担当）	・東京オリンピック開催により、自宅で楽しめる商品の売行きに期待している。
		コンビニ（エリア担当・店長）	・梅雨明け頃からは、天候も良くなり気温も上がれば、客の様子にも変化が現れると予想される。当市でのワクチン接種の予約も始まり、接種も進んでいけば客の行動も増えていき、来客数も増加してくると考えており、2～3か月後に期待している。
		衣料品専門店（総務担当）	・ワクチン接種が進み、新型コロナウイルスに対する心理が落ち着いてくれば、現状より良くなるのではないかと期待している。
		家電量販店（店長）	・今月の緊急事態宣言解除後、目に見えて来客数が戻っている。ワクチン接種の拡大の影響も大きいですが、今後は更に来客数が回復すると予想している。
		家電量販店（店員）	・新型コロナウイルスの感染が発生してから70%の来客数になっており、大幅に減少している。ただ、売上金額は、100%保っており、1人当たりの単価が上がってきている。冷蔵庫等の白物家電の単価は上がっており、飲食や旅行を控えている分の金が家電に動いていると考えられ、加えて、ワクチン接種も進み、更に単価が上がると期待している。
		家電量販店（総務担当）	・東京オリンピックの開催も流動的ではあるが、開催となれば間違いなくテレビを始め映像商品が売れるため、期待している。
		家電量販店（従業員）	・暑くなり、冷房器具の需要が増える。
		その他専門店【コーヒー豆】（経営者）	・この業界では、巣籠りの影響で、自宅でおいしいコーヒーを飲むことが習慣的になっている。加えて、お中元シーズンに入り、7月からお盆に合わせた進物が出るため、売上は上がっていく。
		その他小売の動向を把握できる者【ショッピングセンター】（支配人）	・ワクチンの普及や隣県での緊急事態宣言解除等が追い風になり、加えて、当県では宿泊キャンペーンやプレミアム付商品券の販売等もあることから、サマーパーゲンセールのタイミングとあいまって経済状況は回復するものと見込んでいる。一方で、感染者数の増加や東京オリンピックの開催可否によっては、周囲の景気が悪化する可能性も十分ある。
		その他小売の動向を把握できる者【ショッピングセンター】（統括者）	・ワクチン接種に期待したい。
		高級レストラン（経営者）	・ワクチン接種が進むと人の動きも多くなってくると予想されるが、感染の恐怖はまだ続きそうである。
		一般レストラン（経営者）	・まだ県をまたいだ移動が積極的に行えないため、県独自の県内補助フェアの実施もあり、少しずつではあるが回復の兆しが見え始めている。
		観光型ホテル（総務）	・新型コロナウイルス第5波の影響があるかどうかは左右されるが、ワクチン接種が進んできたことが、好要因である。運営するホテル内の宴会やレストランの予約状況に、接種を終えた医療従事者の利用が目立つ。
		観光型ホテル（専務）	・若い世代にもワクチン接種が広まり、活気付くと予想するが、例年秋のシーズンに動く団体の宿泊が復活するかが不安である。
		旅行代理店（職員）	・ワクチン接種人口が増え、旅行需要が今以上に増加すると考えている。
		タクシー運転手	・2～3か月中には、ワクチン接種の効果が現れると期待している。
		通信会社（営業担当）	・ワクチン接種も進み、旅行等で人の動きも活発になる。
		通信会社（企画担当）	・ワクチン接種による景況感の見通しは不透明であるが、受注案件の内容や状況では、コロナ禍を前提とした事業に対する需要が増えている。
		通信会社（営業担当）	・ワクチン接種が順調に進めば、人の往来も少し良くなる。
		ゴルフ場（従業員）	・日本人プレーヤーの優勝により、数年はゴルフブームが続くと予想され、若年層プレーヤーも増加傾向にある。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他サービスの動向を把握できる者〔介護サービス〕（管理担当）	・全国的なワクチン接種の拡大で、サービス現場に安心感が出てくることが考えられるが、一方、人材不足の深刻さは、懸念材料として残る。
		商店街（代表者）	・夏は東京オリンピック・パラリンピックが開催されるが、当市もまん延防止等重点措置が継続されると考えられるため、余り期待はできない。
		商店街（代表者）	・ワクチン接種が進んでも、外出自粛慣れ等で人の流れが戻らない。また、新型コロナウイルスの新規感染者は減少せずに増加傾向になっており、収束する気配がない。
		商店街（代表者）	・変わらず悪い商況は、継続される。
		百貨店（総務担当）	・コロナ禍の状況が、回復しなければ厳しい。
		百貨店（企画担当）	・人流の抑制が続く、そのため買物の意欲が変わらないのではないかと予測している。
		百貨店（企画担当）	・ワクチン接種の進展により、感染再拡大が抑制され、旅行や帰省等の需要により、景気が回復することを期待するが、実際の景気回復までは、まだ時間が掛かる。
		百貨店（企画担当）	・新型コロナウイルスの感染状況やワクチンの接種状況、及び東京オリンピックの影響等先行きが不透明である。
		百貨店（営業担当）	・ワクチン接種副反応への不安や3密回避で来店への急回復は難しく、慎重な行動や生活防衛意識は依然継続しているが、購買来客数、客単価、商品単価は好調である。店頭での紳士雑貨やリビング用品、家電製品等自家需要商品、また、し好性の高い舶来雑貨や時計美術工芸等は依然堅調である。物産催事を見直し、高額な工芸品で従来にない若い層の来店及び購買の促進を図る。一方、ワクチン接種促進と3密防止の徹底では不安は残り、県内外の往来回復が遅れ、自家需要中心の購買は継続する。
		百貨店（販売促進担当）	・新型コロナウイルスの影響が今後も続き、来客数に現れると予想される。
		百貨店（売場担当）	・前年の売上の比較では、3月の全店舗合計は108.8%であったが、今月は90%となっている。前々年との比較では80%と落ちているが、7～8月には90%に推移するとみている。東京オリンピックの年は、購買力が落ちてくるので、期待できず現状維持となると予想している。
		百貨店（経営企画担当）	・緊急事態宣言が解除されて以降、来客数に回復の兆しがあるものの、コロナ禍以前の水準からは3割弱低い水準までの回復しかしておらず、この傾向は継続することが見込まれる。
		スーパー（総務担当）	・コロナ禍の感染者数が落ち着いていけば、巣籠りの反動による外出や外食が増え、食品スーパーマーケットでは売上がダウンすると考えられるが、東京オリンピック景気で下支えされることも予想される。いずれにせよ、新型コロナウイルスの感染状況次第で、景気は強く左右される。
		コンビニ（経営者）	・ワクチン接種も多くなっているが、現状では新規感染者数が減少するような状況にはない。この状態が来年まで継続するのではないかと危機感を抱いている。
		コンビニ（店長）	・2019年度数値まで回復しなければ、回復とはいえないため、最低2年は変わらない。
		衣料品専門店（店長）	・店内では、新型コロナウイルスの影響で、商品購入をせずに、ワクチン接種の話題になっている。
		衣料品専門店（取締役）	・東京オリンピックは開催されることになり、感染爆発の可能性もあり、先行き不透明である。ワクチン接種は進んでいくと思われるが、欧州のサッカー試合でも感染者数が増加しており、安心できる状態ではないと懸念している。
		家電量販店（店長）	・新型コロナウイルスの感染が収束するまでは、状況は変わらない。
		家電量販店（店員）	・巣籠り需要もそろそろ一段落してきたようで、現状の売上は若干悪く、しばらくこの状態が続くと予想している。
		乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルス等状況に好材料がなければ、このまま何も変わらない。
		乗用車販売店（総務担当）	・半導体不足の影響が懸念されるが、一方で新型車の投入が予定されており、何とか前年並みの新車販売台数を確保したい。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		住関連専門店（経営者）	・若者へのワクチン接種も順調に進んでおり、活気が出ると予想されるが、東京オリンピックと都市部での感染者数増加が、今後の景気に大きく左右される。
		スナック（経営者）	・まん延防止等重点措置が7月の中旬には終了する予定であるが、ワクチン接種が行き渡らない限り本来の来客数は戻らない。東京オリンピックも観来客数に制限があり、景気向上にはつながらない。現在、営業自粛期間中のため、これ以上悪くはならないと考えられるため、景気は変わらない。
		タクシー運転手	・今後イベントが始まるが、余り期待ができない。
		通信会社（統括者）	・6月の携帯電話の販売台数は、前年を下回る予想をしているが、第2四半期の販売見込みは夏商戦が順調に推移すると見込んでおり、前年並みを予想している。
		通信会社（業務担当）	・緊急事態宣言が発出されると売上低下につながるため、今後の感染状況に左右されると予測する。
		通信会社（企画担当）	・現在の販売量の維持が見込まれる。
		観光名所（従業員）	・東京オリンピック・パラリンピックが、景気押し上げの外的要因となることを期待しているが、新型コロナウイルスの感染リバウンドも懸念されるため、先行き不透明である。
		美容室（経営者）	・2～3か月先は夏の暑い季節になり、例年横ばいの状態が続く秋から忙しくなるが、現在ではコロナ禍であるため、底辺を漂っている状態で、全く客の動きがない。そのため、業界は困窮しており、何かアイデアを出していかなければいけない。東京オリンピックが客の動きにつながるか先行き不透明である。
		理容室（経営者）	・4月以降から転勤就職により客が一度に減少し、新規の客の来店がほぼなくなってしまい、減少した分のマイナスが継続している状態である。新型コロナウイルスの影響もあり、新規の客は望めず、今後が懸念される。
		美容室（店長）	・新型コロナウイルスワクチン接種の話題が多いが、すぐに景気が良くなるとは考えられない。
		設計事務所（所長）	・仕事量は余り変わらず、少ないなりにコンスタントに続いているため、2～3か月先も状況は変わらない。
		設計事務所（代表）	・新型コロナウイルスの影響が継続する。
		住宅販売会社（従業員）	・ウッドショックの影響による住宅価格の上昇が一部で報道されて以降、しばらくは買い控えが続く。
		商店街（代表者）	・コロナ禍の影響による商店街全体の落ち込みは否めない。コロナ禍が収束に向かっても、すぐには元の状態には戻らない。
		一般小売店〔青果〕（店長）	・当地では、一旦新規感染者数が減少したが、再び新型コロナウイルス感染者数が増えている状況になっており、客の購買意欲にも影響が出てくる。また、東京オリンピックが落ち着いても変異株の不安もあり、厳しい状況が継続する。
		一般小売店〔精肉〕（店員）	・卸先飲食店の座席数減少や時短営業により、販売量の予測が付かない。
		一般小売店〔茶〕（販売・事務）	・これから先の3か月は真夏日となり、売上には期待できない。ワクチン接種が完了してもすぐには元に戻らない。
		百貨店（業務担当）	・行事やイベントが今年も中止になっており、人の動きはいまだに止まったままで、その水準が普通になりつつある。今後、消費行動が元に戻るまでには、相当の時間が掛かると予想される。
		スーパー（企画担当）	・足元の景況感を考慮すると、先々が見通せないというのが正直なところである。消費者も新しい生活様式に慣れてきており、慌てて買い込むことがなくなっている。売上高の伸長は、よほどのことがない限り厳しい状況である。
		スーパー（経理担当）	・緊急事態宣言の解除やワクチン効果等で経済活動が活発化すれば、旅行や外食等が元に戻り、内食を担うスーパーマーケットは全般的に客は減るが、都市部の店舗では、更に客が戻ってくる。
		コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスの感染が、いつまで継続するか分からず、疲れが出ている。財布のひもも締めてきている状況である。
		住関連専門店（従業員）	・実店舗での営業形態のため、例年どおりならば猛暑日になると来客数が大きく減少する。また、東京オリンピックや夏休みでの新型コロナウイルスの感染状況への影響も、本年は大きな懸念材料である。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		高級レストラン（経営者）	・時短営業の要請があつてから、どん底であつたため、時短営業要請がない7～8月は、現状より良くなるとは考えられるが、景気が戻るとは思われない。東京オリンピック開催もあるが、先行きは懸念される。
		ゴルフ場（営業）	・新型コロナウイルスの感染が落ち着いているようであるが、東京オリンピック後は、再び感染者数増加で緊急事態宣言の発出により、再び人の動きが制限され、景気は悪くなると予想している。
		設計事務所（所長）	・地方では仕事に対する対価は上がらず、人件費や材料費、加えて、生活必需品の価格は上昇しているため、可処分所得が下がっており、この傾向はまだ続く。
		住宅販売会社（従業員）	・ウッドショックの問題が日本で話題となり、木材価格が非常に高騰している。現在請負契約をしている工事の価格の転嫁がしにくいことで、利益を圧迫してくる。下手すれば、リフォーム工事等で赤字受注になってしまう状況になる可能性がある。3か月先は利益が取りにくく、景気は悪くなる。
	×	一般小売店〔生花〕（経営者）	・生花のギフトが主力の生花店であるため、これから猛暑となり、生花のギフトを控える傾向にあり、消費するイベントもお盆くらいであるため、コロナ禍で良くなる状況にはない。
	×	スーパー（統括者）	・今後は、ワクチン接種も進み、人の流れも大幅に増大していくと予測され、今まで逆風だった業界が追い風となり、スーパーマーケットやドラッグストア関連のような小売業が容易でない戦いになると予測する。
	×	乗用車販売店（代表）	・新型コロナウイルスの影響で悪くなっていく。
	×	その他飲食の動向を把握できる者〔酒卸売〕（経理）	・東京オリンピック開催等で、更に新型コロナウイルスが感染拡大するおそれがある。
	×	タクシー運転手	・東京オリンピックが始まるが、再び新型コロナウイルスの感染拡大の懸念がある。当地での消費動向は、まだまだ悪い状態で推移している。
	×	その他サービスの動向を把握できる者（所長）	・客の手持ち工事が激減しており、予定操業時間がたもてないことが予想される。
企業 動向 関連 (九州)		電気機械器具製造業（経営者）	・主要取引先からの更なる増産に対応するために、設備や人材の増強要請を受けている。
		輸送用機械器具製造業（営業担当）	・海外向け車両を中心に、計画に対して増産になり、繁忙が続いている。
		食料品製造業（経営者）	・前年と比べれば商品の引き合いが強くなっており、ワクチン接種後に向けての消費拡大に期待している。
		化学工業（総務担当）	・新型コロナウイルスの終息状況次第である。
		金属製品製造業（事業統括）	・引き合い数は、前年比15～20%増加している。
		一般機械器具製造業（経営者）	・半導体の動きがどこまで良くなるか、また、どれだけ需要に応えられるかにより、その他の電機部品に関しても若干の上向きがあると予想される。
		電気機械器具製造業（取締役）	・回復し始めている状態かどうか疑心暗鬼である。
		電気機械器具製造業（総務担当）	・世界的な半導体不足から、半導体関連事業の生産が好調で、取引先のフォーキャスト情報も右肩上がりである。
		その他製造業〔産業廃棄物処理業〕	・コロナ禍も若干落ち着いたため、取引先では生産ラインのシフトを2～3交代制で稼働中のところもあり、生産量も1.5倍～2倍に上がっている。
		輸送業（総務担当）	・ワクチン接種が若年層にも普及すれば、気分的には上昇する。市場は人間の心理に左右される面もあるため、今よりは良くなるのではないかと推測する。
	経営コンサルタント（社員）	・緊急事態宣言解除後は、消費が徐々に増えていく。	
	農林水産業（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況にもよるが、梅雨明けには、若干回復してくると期待している。東京オリンピック効果もあり、若干であるがハラル商品の引き合いもある。ただし、ワクチン接種が行き渡る秋口にならなければ、本格的回復にはならないと危惧している。収益は合理化や経費節約で、何とか赤字を免れているが、厳しい状況であることには変わりない。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		繊維工業（営業担当）	・展示会が少なくなり、仕事量につながるには時間が掛かる。最低賃金が上がり、中小企業の経営が維持されるか懸念される。
		家具製造業（従業員）	・新型コロナウイルスに対するワクチン接種が、年代問わず急速に進まない限り、今後の見通しが立たない状況はまだまだ続く。しかし、来期以降の案件情報は、多少増えている。
		出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・全体的な納期後倒しが目立つ。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・受注関係は、夏に向かうため余り期待はできない。ワクチン接種の状態では、祝い品等の購買も若干出てくるとは思われるが、期待をするほどではないと予想される。
		一般機械器具製造業（経営者）	・引き合いや見積りの状況が、前月と余り変わらない。
		建設業（社員）	・工事自体は、まだ発注されるとは考えられるため、景気も良さそうに見えるが、決してそうではなく、受注したい工事が受注できない状態である。今は、一層営業活動を実施していく。
		輸送業（従業員）	・コンテナや半導体不足は、一朝一夕で解決する問題ではないため、景気がすぐに好転するとは考えにくい。
		通信業（経理担当）	・ワクチン接種が進んでも、劇的な改善は予想しにくい。
		金融業（従業員）	・公共工事は高水準で推移しているが、新型コロナウイルスの影響で、飲食店やホテル、旅館及び旅行業等では厳しい状態が続いており、先行きの不安感も払拭されていない。
		金融業（調査担当）	・新型コロナウイルスワクチンの職域接種も始まり、長らく漂う閉塞感の打破に向けて期待は高まるものの、急速な景気回復は見込めない。前年休止となった各種イベントや学校行事等は徐々に再開されつつあり、新しい生活様式を模索する動きが顕在化している。
		金融業（営業）	・全体としては、景気回復にはまだ時間を要するが、ワクチンが行き渡った国の景気が回復してくると、製造業から立ち直ってくると考えられる。
		金融業（営業担当）	・ワクチン接種は確実に進んでいるが、新型コロナウイルスの変異株が増加傾向であり、再び感染者がかなりの確率で増加する可能性がある。そのため、この2～3か月の景気は、全業種及び消費に変化はないと予想される。
		金融業（調査担当）	・緊急事態宣言解除が行われ、集団ワクチン接種が本格化しているが、接種完了にはもう少し時間が掛かりそうである。また、東京では新型コロナウイルス新規感染者のリバウンド兆候がみられ、今後の感染者数の推移次第では、経済に再び影を落とす可能性があることから、サービス業等の回復にはもう少し時間が必要である。
		新聞社〔広告〕（担当者）	・景気が良くなる好材料がないため、変わらない。
		広告代理店（従業員）	・新型コロナウイルスの影響で、景気回復まで1～2年ほど掛かり、息切れしてきた企業が増えている。
		広告代理店（役員）	・客における経営数字の回復が、当社の収益に反映されにくいことが慣習化しており、3か月後予想がまだまだ厳しい。
		経営コンサルタント（代表取締役）	・ワクチン接種が進み、東京オリンピックの開催等好材料はあるが、確信が持てない状況である。先行きが見えず、状況が不透明なため、判断ができない。
		経営コンサルタント（社員）	・当分は、新型コロナウイルスの影響で営業が難しいため、状況は変わらない。
		経営コンサルタント（代表取締役）	・自社Webのアクセスや問合せ件数に変化がない。
		その他サービス業〔物品リース〕（職員）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進むことで若干の回復は見込まれるが、ワクチン接種による効果が、経済的どの程度影響を及ぼすかが不透明である。
		建設業（従業員）	・売上減少に伴い、悪くなると予想される。
		通信業（職員）	・前年度はコロナ禍によるIT需要が高まり、受注量が増えたが、今年度は需要はあるものの、半導体不足により納品ができず、案件が来年度へずれ込む可能性がある。
		不動産業（従業員）	・賃貸部門の入居率が、低下傾向で推移している。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	x	その他サービス業〔コンサルタント〕（代表取締役）	・市町村は、前年度に新型コロナウイルス対策のために予算化できなかった必須業務は、今年度の4～5月に既に発注済みのものが多い。現在、ワクチン接種に予算を割り当てているため、新たに補正予算で追加される業務が見込めない状況にある。このため、更に景気が悪くなると予想される。
雇用 関連 (九州)		求人情報誌製作会社（編集者）	・7月11日までのまん延防止等重点措置が解かれ、また、コロナ禍の影響がほぼなくなるという前提で、景気は急速に上向くと考えている。とにかく夏の需要をいかに取り込んでいくかが各社のテーマであり、同時に人の確保が大きな課題になる。
		人材派遣会社（社員）	・ワクチン接種率も増え、加えて、時短営業等の規制もなくなり、人の往来が以前よりは多くなっている。旅行客も徐々に増加し、商業施設等でも人手は増えている。
		人材派遣会社（社員）	・自治体でのワクチン接種や民間の職域接種も始まっており、まん延防止等重点措置が解除されれば夏の暑い時期も重なり、飲食店では客足が良くなるのではないかと考えられる。
		新聞社〔求人広告〕（社員）	・緊急事態宣言も解除され、ワクチン接種も進みつつあり、2～3か月先の景気は良くなる。しかし、人の動きが活発になると、経済活動も活発になるが、広告宣伝の動きは、まだ慎重な企業が多い。特に、新型コロナウイルス感染者数と密接な関係がある、旅行関係の広告は、一時期のゼロからは回復しつつあるが、動きが鈍い。春先に、一旦獲得した客が、結局キャンセルとなり、東京オリンピックによる感染拡大が危惧されるなか、かつてのような広告宣伝活動に戻るには、まだ時間が掛かりそうである。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・新型コロナウイルスについては、ワクチン接種が進んでおり、飲食店の時短要請等もなくなり、消費も活発になると考えられる。東京オリンピックや夏休みも景気上昇に寄与する。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・緊急事態宣言が解除され、ワクチン接種が年内までに進むことで、企業活動が徐々に再開されると予想する。景気も少しずつ回復するとは考えられるが、新型コロナウイルス発生以前に戻るには数年掛かるのではないかと懸念される。
		職業安定所（職員）	・ワクチン接種等の新型コロナウイルス感染対策が進んでおり、雇用情勢の更なる改善が見込まれ、新規求人数は増加傾向にある。
		人材派遣会社（社員）	・異動や産休に伴う社員の不補充枠等で派遣受注が動いているが、新規受注等はなかなか入らない。
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの感染状況に求人数が間接的な影響を受けていることから、ワクチン接種が進み、希望者が摂取を終了し、感染が抑制されれば、景気が回復すると予想している。しかし、現在はワクチン接種が途中であるため、今後大規模な感染拡大がなければ、現状維持で推移する。
		職業安定所（職員）	・求人数の現状が通常レベルと判断する。
		民間職業紹介機関（職員）	・前月は、ワクチン接種も進み経済活動が復活し、2～3か月では明るい予想をしていたが、変異株等の感染拡大の可能性もあり、コロナ禍の収束も見通せない状況となり、企業の積極的な人員増加はしないと予想される。
		人材派遣会社（社員）	・ワクチン接種会場案内業務終了後の動向がみえない。
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの感染拡大が長期化していることから、体力が続かない企業が見え始めていることに加えて、雇用調整助成金が縮減されれば、経営困難に陥る企業が少なからず出ることが予測される。
	学校〔大学〕（就職支援業務）	・緊急事態宣言は解除となったが、引き続きまん延防止等重点措置を講じられるなど、新型コロナウイルスの感染拡大の影響が続いている。また、ワクチン接種のめどはついてきたが、業績の低迷から抜け出すには、もうしばらく時間が掛かると推測される。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	x	*	*

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (沖縄)		観光型ホテル（企画担当）	・ホテルの6月の販売室数は前年比23%減なのに対し、6月末時点での9月の予約室数は前年比25%増とプラスに転じている。
		百貨店（店舗企画）	・前年の8月は緊急事態宣言が発出され、本年はその反動で良くなるとみているが、それとは別にワクチンの職域接種の動きが活発になりつつあるので、気分的にも上昇傾向になることを期待したい。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルス対策による自粛のため、近隣での買物客が増えてきたので、弁当総菜を増やしていく。
		コンビニ（店長）	・県内は感染拡大予防のため、飲食店や大型ショッピングセンターの20時閉店が続いている。しかし、7月12日から緊急事態宣言が解除され営業時間も通常になれば、各店の営業の通常化と、ワクチンの普及が進むことで今よりは良い景気になるとみている。
		コンビニ（代表者）	・ワクチン接種の拡充により、10月以降くらいから観光客も戻り、県内経済も少しずつ回復すると考える。
		コンビニ（副店長）	・来月に予定どおりに緊急事態宣言が解除され、ワクチン接種者も増えれば人流が増えると期待したい。
		衣料品専門店（経営者）	・梅雨も明け、緊急事態宣言が解除され、今よりも人の動きは活発になるとみている。
		家電量販店（総務担当）	・緊急事態宣言の終了とワクチン接種が進むことで客の行動も変化が期待される。
		観光型ホテル（代表取締役）	・緊急事態宣言が解除され、夏休みにも入ることから旅行者数は増えるとみられ、若干良くなると考えている。しかし、2019年の同時期と比べてまだ4割程度と予測している。
		通信会社（営業担当）	・今後新型コロナウイルスの感染が落ち着き、ワクチン接種も広がっていけば客足も戻ってくると期待している。9月には新機種の発売も予想されるので、秋から年末にかけては市場も活気付くのではないだろうか。
		観光名所（職員）	・7月の連休は航空便も増便しているため多少良くなるのではないかと考えている。あとは新型コロナウイルスの感染状況次第である。
		その他サービス[レンタカー]（営業）	・先行きの予約状況は上向きに推移しており、新型コロナウイルスのワクチン接種が進んでいることで今後の需要が期待できる。
		住宅販売会社（役員）	・ワクチン接種の進み具合にもよるが、現在よりは客の動きが活発になり取引件数も上向くとみられる。
		一般小売店[酒]（店長）	・具体的な政策がない飲食関連の人たちにワクチン接種すべきである。
		スーパー（企画担当）	・新型コロナウイルス新規感染者数や緊急事態宣言の期間にもよるが、しばらくは不安定な状況が続くとみられる。
		衣料品専門店（経営者）	・今月は緊急事態宣言の延長など、もろもろの状況が重なっているのか、客が少なく、売上がない状況が続いている。景気は悪いままである。
		乗用車販売店（経理担当）	・人気車種の生産が遅れているので、販売、売上が伸びない。
		スーパー（販売企画）	・将来の景気判断は新型コロナウイルスの感染状況とワクチン接種状況による影響が大きいとみているが、いずれにしても先の見通しが分かりにくい状況が続いている。
		旅行代理店（マネージャー）	・緊急事態宣言中で県民は自粛中だが、観光客は増えてきている。宣言全解除後、数週間から数か月でまた元に戻るのを繰り返している。全く先がみえない。
		住宅販売会社（代表取締役）	・工事契約件数、契約金額共に減少傾向にある。また、投資案件に関する金融機関の融資姿勢が厳しくなっている。
	x	商店街（代表者）	・現在まん延している新型コロナウイルスに関する規制関係で飲食及び他の一般の営業まで大変危機的状況にある。ワクチンが早く国民に行き渡り、まん延が終息することを願っている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	x	その他飲食〔居酒屋〕 (経営者)	・アフターコロナの観光関連の戻りを見越して、資金力に余裕のある本土企業が、閉鎖した店舗や新規店舗の開業準備に動き始めている。飲食業が新型コロナウイルスの温床のようにたたかれているので、スタッフが退職し、採用を出しても感染を恐れて、アルバイトもなかなか採用できない。また、賃金の上昇、材料の値上げなど、飲食には逆風が吹いている。
企業 動向 関連		食料品製造業(役員)	・7月の緊急事態宣言の解除、夏場の観光のシーズン到来や、7月以降の東京オリンピック、パラリンピック開催もあり、沖縄県への観光客の増加が期待できる。
(沖縄)		建設業(経営者)	・見込み度の高い客の相談が増えてきている。
		輸送業(代表者)	・宮古島、石垣島の建設関連は、新型コロナウイルスの感染拡大で戦々恐々としているが、民需部門では大型ホテル等で多少回復している。官需部門でも、宮古島の港湾関連や石垣島の自衛隊関連の建設等で生コンの出荷が安定している。ただし、新規参入船の定着で供給過多が発生し、燃料費高騰の転嫁先がなく苦慮している。
		輸送業(経営企画室)	・緊急事態宣言が終了し、一時は景気上昇するが東京オリンピック開催で再度感染者数の増加、変異株の発生等で再度緊急事態宣言が出るとみられる。そのため、現在の緊急事態宣言下と変わらない状態が継続していくものとみられる。
		広告代理店(営業担当)	・ワクチン接種が進むなかで、その効果に不安感を抱く声もあり、それが全ての要因か否かは不明であるが、県内企業の販促活動は、相変わらず低迷状態が続いている。
		会計事務所(所長)	・ワクチン接種が進み、集団免疫が浸透するにはまだまだ時間を要する。
		窯業土石業(取締役)	・新型コロナウイルスの影響及び資材値上げ等により、民間設備投資の減少が懸念される。
		x	-
雇用 関連			
(沖縄)		人材派遣会社(経営者)	・企業の活動はワクチン接種率の向上により上がっていくものとの期待で、やや良くなると判断している。
		人材派遣会社(総務担当)	・ワクチン接種が進んでいくなかで、求人案件が増加すると予想している。
		求人情報誌製作会社(営業担当)	・緊急事態宣言が延長せず順調に解除されると、消費者の動きが増加し、求人数なども増えてくる。
		学校〔大学〕(就職支援担当)	・3か月後くらいにはワクチン接種が進み、経済活動が元に戻ることを予想される。
		求人情報誌製作会社(営業)	・夏シーズンを繁忙期として人材確保を計画、再開している企業は少ない。緊急事態宣言解除後もほぼ同数の求人数の推移と予測している。又は新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては求人数の減少も考えられる。
		職業安定所(職員)	・夏、秋の観光シーズンに向けての採用回復の兆しはあるが、新型コロナウイルスの感染状況で今後は不透明である。
		学校〔専門学校〕(就職担当)	・なかなか落ち着かない新型コロナウイルス、そして7月下旬に控えている東京オリンピックもあり、企業が活発に動き出すとは考えにくいいため、現状維持だと考えている。
	x	-	-